

研究業績

■ 河田 惠 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
津波災害 増補版	単著	2018年2月	岩波書店	津波災害(岩波新書 No.1708), pp.240
想定外を想定する	分担執筆	2018年2月	双葉社	患者が訊くその2, 倉本聡, pp.87-115
Catastrophic	分担執筆	2017年12月	Elsevier / Butterworth-Heinemann	THE FUKUSHIMA AND TOHOKU DISASTER: A Review of the Five-Year Reconstruction Efforts, pp.1-28
第20章 社会安全学の深化のために	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	社会安全学入門, 関西大学社会安全学部, pp.256-265
都市災害	分担執筆	2018年6月	京都大学学術出版会	教育現場の防災読本, 「防災読本」出版委員会, pp.96-105
世界の自然災害	分担執筆	2018年6月	京都大学学術出版会	教育現場の防災読本, 「防災読本」出版委員会, pp.105-114
For Deepening of Societal Safety Sciences	分担執筆	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.217-224
(学術論文)				
変貌する災害列島と縮災⑳ 大震法の見直しと政府のガイドライン		2018年1月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.622, 26p.
新春対談「危機管理と基礎自治体」		2018年1月	交野市	広報 かのの, No.788, pp.2-4
タイムラインの我が国における活用		2018年1月	一般社団法人 消防防災科学センター	季刊『消防防災の科学』, 第131号, 冬季号, pp.12-16
変貌する災害列島と縮災㉑ いま国難災害が起こればどうなるのか～想像力の致命的欠如～		2018年2月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.623, 27p.
変貌する災害列島と縮災㉒ 国民迎合型政治の限界		2018年3月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.624, 28p.
巻頭言 国難災害と地方自治体の連携・調整		2018年3月	中央文化社	地方議会人, 3月号 第48巻第10号, pp.6-7
巻頭言 巨大災害に備える		2018年3月	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構	21世紀ひょうご, Vol.24, pp.1-2
瀬戸内海における南海トラフ巨大地震の揺れと津波被害		2018年3月	公益財団法人瀬戸内海環境保全協会	瀬戸内海, No.75, pp.4-8
序章		2018年3月	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構	事例に学ぶ生活復興, 東日本大震災の生活復興プロジェクト報告書(復興庁2017年度委託事業), pp.5-10
巨大災害に向けて, 何を備えるべきか?		2018年3月	一般社団法人 日本倉庫協会	日本倉庫時報, 第1289号, pp.1-7
変貌する災害列島と縮災㉓ 防災法事のすすめ		2018年4月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.625, 29p.
自治体防災の要諦(1) 災害対策本部の立ち上げ		2018年4月	日本経済新聞社	日経グローバル, No.338, pp.46-47
変貌する災害列島と縮災㉔ 災害時の想定外被害を避ける2月		2018年5月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.626, 30p.
自治体防災の要諦(2) 首長のリーダーシップ		2018年5月	日本経済新聞社	日経グローバル, No.340, pp.52-53
変貌する災害列島と縮災㉕ 名探偵ボワロに勝てますか?		2018年6月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.627, 31p.
巨大災害に向けて, 何を備えるべきか?		2018年6月	一般社団法人 日本倉庫協会	倉庫, No.151, pp.6-19
「防災省」設置で被害を小さくする努力を		2018年6月	公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構	NIRA 私の構想, No.36, pp.14-15

自治体防災の要諦 (3) 災害関連法の背景と課題		2018年6月	日本経済新聞社	日経グローバル, No.342, pp.42-43
変貌する災害列島と縮災⑧ 大川小学校の判決に思う		2018年7月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.628, pp.22
広域東海地震と南海地震の時間差発生による原油処理能力低下と燃料生産量の不足について		2018年7月	日本災害情報学会	災害情報, No.16-1, pp.61-72
避難行動要支援者名簿を活用した制度の構築プロセス		2018年7月	日本災害情報学会	災害情報, No.16-1, pp.105-115
自治体防災の要諦 (4) タイムラインの準備と活用		2018年7月	日本経済新聞社	日経グローバル, No.344, pp.52-53
東京直下&南海トラフで「ライフライン」は全滅へ		2018年8月	株式会社 テーミス	THEMIS, No.310, pp.23-24
変貌する災害列島と縮災⑨ 福島原発裁判の前提条件		2018年8月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.629, 22p.
自治体防災の要諦 (5) 実践的訓練の重要性		2018年8月	日本経済新聞社	日経グローバル, No.346, pp.60-61
変貌する災害列島と縮災⑩ 大阪北部地震の教訓		2018年9月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.630, 22p.
過去の教訓を活かした自治体の災害対応力強化と住民避難の考え方		2018年9月	特定非営利活動法人建設政策研究所	建設政策, No.181, pp.14-19
自治体防災の要諦 (6) 川の洪水氾濫と海の高潮氾濫		2018年9月	日本経済新聞社	日経グローバル, No.348, pp.46-47
変貌する災害列島と縮災⑪ ダム操作規定と「ダムの決壊」		2018年1月	ウォータアンドライフ社	Water&Life, No.631, 22p.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(招待講演)				
災害と危機管理・都市防災	単独	2018年1月13日	NTT-LS	平成29年度防災士育成研修 (大阪府泉佐野市エブノ泉の森ホール)
災害に強い率先市民になろう	単独	2018年1月18日	東大阪市	東大阪市防災講演会 (東大阪市岩田町イコーラム市立男女共同参画センター)
いま企業に求められる防災・減災対策～全体最適による災害支援ロジスティックへの期待～	単独	2018年1月19日	一般財団法人中部生産性本部	2017年度物流管理研究部会第5回例会 (愛知県名古屋市中部生産性本部セミナールーム)
行政の災害対応・津波のしくみと被害	単独	2018年1月20日	NTT-LS	平成29年度防災士育成研修 (東京都港区新橋 Learning Square 新橋)
危機管理総論	単独	2018年1月21日	日本危機管理士機構	危機管理士2級講義 (東京都千代田区明治大学グローバルフロント)
災害教訓の継承と自己決定力向上～安全安心なまちづくりを目指して～	単独	2018年1月24日	災害対策セミナー実行委員会	地域防災シンポジウム (兵庫県神戸市神戸国際会議場)
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2018年1月27日	防災士研修センター	防災士研修 (大阪府狭山市文化会館)
学校における危機対応について	単独	2018年1月29, 30日	京都府総合教育センター北部研修所	中堅教諭等資質向上研修 (京都府京都市伏見区京都府総合教育センター)
地震防災・減災・縮災	単独	2018年1月31日	土木学会	第17回地震災害マネジメントセミナー (東京都新宿区四谷土木学会講堂)
「防災に関するボランティア活動」について	単独	2018年2月5日	社会福祉法人島本町社会福祉協議会	ボランティア運営委員会研修会 (大阪府島本町桜井島本町ふれあいセンター)
滋賀県の災害環境	単独	2018年2月6日	滋賀県	滋賀県知事を囲む勉強会 (大津市)
政府の災害対策の最新動向	単独	2018年2月6日	おおさかATCグリーンエコプラザ	セミナー企業対策の必要性～「災害理解」から「対策の実行」(大阪府大阪市住之江区おおさかATCグリーンエコプラザ)
防災・減災, 危機管理に関する最近の話題について	単独	2018年2月8日	株式会社パスコ	災害対応プロジェクト講演 (東京都目黒区株式会社パスコ本社)
なぜ, 日本人は災害に無関心なのか?	単独	2018年2月9日	エグジビジョンテクノロジー株式会社	第22回震災対策技術展in横浜 (神奈川県横浜市パシフィコ横浜)
『日本が潰れる』～国難災害をどう迎えるか～	単独	2018年2月9日	関西広域連合広域防災局	第22回震災対策技術展in横浜 (神奈川県横浜市パシフィコ横浜)

研 究 業 績

巨大災害に備えるために～地域でわたしたちができること～	単独	2018年2月10日	枚方市	地域リーダ育成研修会（大阪府枚方市枚方市立地域活性化支援センター）
最近の災害から学ぶこと	単独	2018年2月11日	名張市	防災講演会（三重県名張市防災センター）
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2018年2月17日	防災士研修センター	JA 共済連愛媛県本部防災士育成養成講座（愛媛県松山市ピュアフル松山勤労会館）
巨大災害に向けて、何を備えるべきか？	単独	2018年2月20日	日本倉庫協会	中小倉庫業経営者セミナー（東京都千代田区経団連会館）
熊本地震の教訓と新たな危機管理手法について	単独	2018年2月20日	関東地域づくり協会	関東地域づくり講演会（東京都港区虎ノ門「発明会館」）
明治維新150年の最大の脅威——首都直下型地震から始まるわが国の衰亡——	単独	2018年3月2日	同友クラブ	時事問題懇談会（東京都千代田区同友クラブ）
「都市防災」「災害と危機管理」	単独	2018年3月16日	NTT-LS	防災士育成研修（東京都港区 Learning Square 新橋）
南海トラフ巨大地震への備え——レジリ学園関西校への期待	単独	2018年4月10日	内閣官房国土強靱化推進室	レジリ学園（大阪府大阪市グランフロント大阪）
高層化する都市の防災対策	単独	2018年4月28日	愛知県関大校友会	講演（愛知県名古屋市東京第一ホテル錦）
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2018年5月19日	防災士研修センター	防災士研修講座・大阪5月コース（大阪府大阪市シキボウホール）
2017年ハリケーン・ハーヴィ災害～史上最大の被害になった原因と教訓～	単独	2018年5月31日	「震災対策技術展」大阪事務局	第5回「震災対策技術展」大阪（大阪府大阪市グランフロント）
ハリケーン・ハーヴィ調査	単独	2018年5月31日	LSO	第5回「震災対策技術展」大阪（大阪府大阪市グランフロント）
日本がつぶれる	単独	2018年6月1日	関西広域連合	第5回「震災対策技術展」大阪（大阪府大阪市グランフロント）
インフラ（河川・道路・港湾）における災害対策	単独	2018年6月5日	JICA 関西	H30度 JICA 研修（兵庫県神戸市 JICA 関西）
地震防災上の現在の課題	単独	2018年6月11日	芦屋川カレッジ学友会	芦屋川カレッジ学友会講演事業（兵庫県芦屋市芦屋市立「ルナホール」）
津波のしくみと被害、行政の災害対応	単独	2018年6月14日	NTT-LS	H30年度防災士育成研修（愛知県名古屋市 NTT ドコモ東海支社）
これからの防災、地域で進める防災	単独	2018年6月17日	守口市立錦中学校	守口市立錦中学校区防災講演会（大阪府守口市守口市立錦中学校）
防災・減災・縮災のあり方について	単独	2018年6月20日	兵庫県議会自由民主党議員団	勉強会（兵庫県庁3号館）
南海地震、命を守る不可欠の防災、減災対策	単独	2018年6月24日	戸ノ内町北区まちづくり協議会	まち協委員会（兵庫県尼崎市戸ノ内コミュニティセンター）
わが国の国難災害対策のあるべき姿	単独	2018年6月29日	日本応用地質学会	創立60周年記念シンポジウム（東京都墨田区 KFC ホール）
「都市防災」「河川氾濫と被害」	単独	2018年6月30日	防災士研修センター	防災士研修講座（大阪府堺市北区役所）
人づくり・町づくりを目指す防災・減災教育	単独	2018年7月4日	宮城県総合教育センター	安全担当主幹教諭研修会（宮城県名取市宮城県総合教育センター）
国難災害を迎撃できる防災省を創設する	単独	2018年7月17日	内外情勢調査会	内外情勢調査会武相支部特別講演（神奈川県町田市ホテルラポール千寿閣）
中小企業のBCP	単独	2018年7月18日	NTT ドコモ	中小企業法人向け新規顧客開発セミナー（大阪府大阪市 TKP カーデンシティ大阪梅田）
大阪府北部地震	単独	2018年7月24日	JAPIC	JAPIC 防災委員会（東京都中央区鉄鋼会館）
「都市防災」「津波災害・高潮災害」「BCP-事業継続計画」	単独	2018年7月29日	防災士研修センター	防災士研修講座（沖縄県那覇市那覇市役所本庁舎）
自治体の災害対応力の強化	単独	2018年8月2日	NPO 建設政策研究所関西支部	第17回地方議会議員研修会（大阪市中央区エルおおさか）
「都市防災」「土砂災害と対策」	単独	2018年8月5日	防災士研修センター	8月大阪コース（大阪府大阪市シキボウホール）
南海トラフ地震への備えについて	単独	2018年8月7日	兵庫県まちづくり技術センター	平成30年度防災特別講演会（兵庫県防災エキスパート研修会）（兵庫県神戸市兵庫県民会館）

中小企業のBCP	単独	2018年8月9日	NTTドコモ	中小企業法人向け新規顧客開発セミナー (香川県高松市高松センタービル)
「これから想定される自然災害」「タイムラインを用いた高潮と洪水災害の縮災」	単独	2018年8月21日	土木学会	土木学会高校土木夏期講習会(大阪府高槻市関西大学高槻ミュージキャンパス)
「防災総論Ⅰ」「防災総論Ⅱ」	単独	2018年8月25日	福岡市	平成30年度「博多あん・あん塾」(福岡県福岡市福岡市民防災センター)
危機管理総論	単独	2018年8月26日	日本危機管理士機構	危機管理士2級講義(東京都千代田区ちよだプラットフォームスクウェア本館)
大規模自然災害への事前の備えについて	単独	2018年9月5日	兵庫県まちづくり技術センター	平成30年度防災特別講演会(兵庫県防災エキスパート研修会)(兵庫県神戸市兵庫県民会館)
「津波のしくみと被害」「行政の災害対応」	単独	2018年9月6日	NTT-LS	防災士育成研修(東京都港区 Learning Square 新橋)
中小企業のBCP	単独	2018年9月10日	NTTドコモ	中小企業法人向け新規顧客開発セミナー (福岡県福岡市TKPカンファレンスシティ福岡)
必ずやってくる南海地震に備える	単独	2018年9月11日	守口市会議員事務局	河田教授防災セミナー(大阪府守口市守口市役所本庁舎)
西日本豪雨被災地の現状と市民防災のあり方	単独	2018年9月15日	健康まちづくり推進協会	防災市民サミット2018(兵庫県神戸市勤労会館)
2018年大阪北部地震と7月豪雨を教訓とした災害対策	単独	2018年9月18日	宮城県腎不全医療資材研究会	宮城県腎不全医療資材研究会35周年記念講演会(宮城県仙台市TKPガーデンシティ仙台)
大規模災害と地域コミュニティ	単独	2018年9月22日	千里山コミュニティ協議会	防災講座(大阪府吹田市吹田市立千里山コミュニティセンター)
国難と地域の災害に備える	単独	2018年9月23日	兵庫県広域防災センター	平成30年度ひょうご防災リーダー講座(兵庫県三木市兵庫県広域防災センター)
西日本豪雨の教訓と被災地の復興	単独	2018年9月26日	山陽新聞社	山陽時事問題懇談会9月例会(岡山県笠岡市笠岡グランドホテル、岡山市岡山ブラザグランドホテル)
切迫する巨大災害～原子力発電所の危機管理と所長に求められるリーダーシップ	単独	2018年9月28日	原子力安全推進協会	平成30年度発電所長研修(東京都港区原子力安全協会三田ベルジュビル)
「津波のしくみと被害」「行政の災害対応」	単独	2018年9月30日	NTT-LS	防災士育成研修(東京都港区 Learning Square 新橋)
中小企業のBCP	単独	2018年10月3日	NTTドコモ	中小企業法人向け新規顧客開発セミナー (福岡県福岡市TKPカンファレンス博多)
「都市災害」「津波災害・高潮災害」	単独	2018年10月7日	防災士研修センター	防災士研修講座(大阪府大阪市新梅田研修センター)
災害リスクに目覚めよ～“想定外”に備えるために	単独	2018年10月9日	共同通信社	共同通信社さざらぎ会(大阪府大阪市ホテルグランヴィア大阪)
企業に求められるBCP対策～大規模災害発生時の対応と危機管理～	単独	2018年10月10日	中国経済連合会	中国経済連合会行財政委員会(広島県広島市ホテルグランヴィア広島)
大規模地震について	単独	2018年10月15日	日立製作所	日立グループリスク対策全体会議(東京都台東区上野イーストタワー)
今年起こった4つの災害の教訓について	単独	2018年10月17日	JAPIC	JAPIC防災委員会(東京都中央区鉄鋼会館)
大都市地震研究最前線と企業における対策について	単独	2018年10月17日	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	企業経営ソリューションセミナー(東京都中央区損保ジャパン興亜(株)日本橋ビル)
「津波災害のしくみと被害」「行政の災害対応」	単独	2018年10月18日	NTT-LS	防災士育成研修(東京都港区 Learning Square 新橋)
これから吹田市で起こりうる災害と縮災対策の基本	単独	2018年10月19日	災害時要配慮者を支える市民会議	減災イベント(大阪府吹田市千里ニュータウンプラザ)
「都市災害」「災害と危機管理」	単独	2018年10月23日	NTT-LS	防災士育成研修(香川県高松市高松センタービル)
大阪北部地震と南海トラフ地震	単独	2018年10月24日	大阪府	特定給食講演会(大阪府大阪市大阪市立住吉区民センター)
大規模自然災害への備えと消防の役割	単独	2018年10月27日	奈良県	自治体消防70周年記念奈良県消防大会 (奈良県橿原市かしはら万葉ホール)

研究業績

防災〔自治体の危機管理〕	単独	2018年11月2日	広島県	平成30年度防災研修（広島県広島市広島県自治総合研修センター）
国難災害に備える	単独	2018年11月6日	自治体災害対策全国会議実行委員会	平成30年度（第8回）自治体災害対策全国会議（兵庫県神戸市兵庫県公館）
災害事例から学ぶ、一人でも多くの命を救うための自治体防災	単独	2018年11月8日	リードエグゼビジョンジャパン株式会社	オフィス防災EXPO（大阪府大阪市インテックス大阪）
「津波のしくみと被害」「行政の災害対応」	単独	2018年11月8日	NTT-LS	防災士育成研修（大阪府泉佐野市エブノ泉の森ホール）
大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号、北海道地震を経験した南海地震対策の強化	単独	2018年11月9日	株式会社防災ログ	防災・減災展2018名古屋（愛知県名古屋市ウインク愛知）
大阪北部地震を教訓とした南海地震・津波への対処	単独	2018年11月9日	山下後援会	山下ひろあきを励ます会（大阪府大阪市シェラトン都ホテル大阪）
災害に備えた大学における危機管理体制	単独	2018年11月9日	関大財務局	2018年度12大学経理部長・課長会議（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
タイムライン防災と避難問題	単独	2018年11月10日	春日井市	春日井安全アカデミー（愛知県春日井市役所）
マンションライフと災害～いま何をすべきか～	単独	2018年11月11日	アクトアモーレ管理組合	ローレルスクエア高槻自主防災会（大阪府高槻市ローレルスクエア高槻）
中小企業のBCP	単独	2018年11月13日	NTTドコモ	中小企業法人向け新規顧客開発セミナー（愛知県名古屋市TKPガーデンシティプレミアム名古屋新幹線口）
新たな南海地震像と津波災害～減災社会を築く	単独	2018年11月14日	大阪府中小企業団体中央会	11月シティプラザ大阪（大阪府大阪市シティプラザ大阪）
防災体制について学ぶ	単独	2018年11月17日	四日市市	四日市市防災大学基調講演（三重県四日市市総合会館）
防災に強いまちづくり	単独	2018年11月19日	全国市町村国際文化研修所	第3回市町村議会議員特別セミナー（滋賀県大津市全校市町村国際文化研修所）
西日本豪雨の教訓－防災・減災のためにできること	単独	2018年11月21日	京都新聞社	北京都政経文化懇話会11月例会（京都府福知山市サンプラザ万助）
大阪で心配な巨大災害	単独	2018年11月22日	一般社団法人大阪府防災通信協会	平成30年度「防災講演会」（大阪府大阪市NHK大阪ホール）
災害文化の復活～伝統的な自助・共助の復活と新たな企業防災の姿～	単独	2018年11月26日	富士通エフ・ピー・アイ	防災講演会（東京都港区シーバンスS館）
海外進出企業に求められる「減災」の考え方	単独	2018年11月27日	共同通信社	海外危機管理セミナー2018（東京都港区汐留メディアタワー）
京都で心配な自然災害	単独	2018年11月29日	京都府遊技業協同組合	防災講演会（京都府京都市ANAクラウンプラザホテル京都）
災害時に備えて不動産業者が持つべき知識	単独	2018年11月30日	全宅連近畿地区連絡会	研修会（大阪府大阪市ホテルエルセラーン大阪）
「奈良県の地震災害と土砂災害」「災害文化と災害文明の乖離」	単独	2018年12月2日	奈良県	奈良県自主防犯・防災リーダー研修（奈良県奈良市奈良県農協会館）
これからの災害の変化と防災	単独	2018年12月3日	高槻市民生委員児童委員協議会	研修会（大阪府高槻市総合センター）
国難災害を迎撃する～首都直下地震、南海トラフ巨大地震に向かい合う～	単独	2018年12月4日	株式会社イトーキ	ITOKI PRESENTATION129（東京都中央区日本橋高島屋三井ビルディング）
防災省を創設して国難に備える	単独	2018年12月4日	水月会	第34回水月会政策勉強会（東京都千代田区衆議院第一議員会館）
中小企業のBCP	単独	2018年12月6日	NTTドコモ	中小企業法人向け新規顧客開発セミナー（兵庫県神戸市TKP三宮ビジネスセンター）
南海地震への備え	単独	2018年12月8日	守口市立第一中学校	守口市立第一中学校区教育フォーラム（大阪府守口市守口市立第一中学校）
福井県で起こる災害への対応	単独	2018年12月15日	福井県	福井県防災啓発研修（福井県越前市朝日多目的ホール）
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2018年12月16日	防災士研修センター	防災士研修講座（大阪府大阪狭山市文化会館）
巨大災害に備えて～家庭、地域、自治体における危機管理のあり方	単独	2018年12月17日	株式会社内外ニュース	内外ニュース北九州懇談会12月例会（福岡県北九州市リーガロイヤルホテル小倉）

大規模災害と企業の危機管理対策	単独	2018年12月18日	BERC	BERC 関西部会（大阪府大阪市関西大学梅田キャンパス）
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2018年12月22日	防災士研修センター	防災士研修講座・大阪12月コース（大阪府大阪市シキボウホール）
ボランティア・NPOの活用	単独	2018年1月25日	関西大学	2017年度河田防災塾第9回（梅田キャンパス）
新たな危機管理の手法～タイムライン・ふりかえりの活用～	単独	2018年3月15日	関西大学	2017年度河田防災塾第10回（梅田キャンパス）
地震災害	単独	2018年4月26日	関西大学	2018年度河田防災塾初級編（梅田キャンパス）
地震災害	単独	2018年5月31日	関西大学	2018年度河田防災塾中級編（梅田キャンパス）
津波災害	単独	2018年6月21日	関西大学	2018年度河田防災塾初級編（梅田キャンパス）
津波災害	単独	2018年7月26日	関西大学	2018年度河田防災塾中級編（梅田キャンパス）
洪水災害	単独	2018年9月27日	関西大学	2018年度河田防災塾初級編（梅田キャンパス）
洪水災害	単独	2018年10月25日	関西大学	2018年度河田防災塾中級編（梅田キャンパス）
高潮災害	単独	2018年11月29日	関西大学	2018年度河田防災塾初級編（梅田キャンパス）
高潮災害	単独	2018年12月20日	関西大学	2018年度河田防災塾中級編（梅田キャンパス）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 防災科学技術研究所・首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト	分担	2017～2021年	6,000 (25,000)	首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ活用に向けた連携体制の構築
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本災害情報学会（元会長）理事，名誉会員				
日本自然災害学会（元会長）理事，評議員				
土木学会名誉会員・フェロー				
日本地震工学会				
日本自治体危機管理学会				
日本集団災害医学会				
日本災害復興学会				
地域安全学会				
アメリカ土木学会（ASCE）会員，アメリカ地球物理学連合（AGU），国際水理学会（IAHR）会員				
(社会貢献活動)				
土木学会，調査研究部門／原子力土木委員会／J232津波評価部会（f II）委員				
土木学会，調査研究部門／構造工学委員会／鉄道工学連絡小委員会／委員				
土木学会，企画部門／論説委員会委員				
土木学会，レジリエンスの確保に関する技術検討委員会 委員				
日本自然災害学会，評議員				
日本地震学会，国際測地学協会及び地震学・地球内部物理学協会合同総会開催にかかる組織委員会委員				
内閣府，中央防災会議専門委員				
内閣府，中央防災会議防災対策実行会議委員				
内閣府，南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応に係るアドバイザー				
大阪府，大阪府防災会議委員				
大阪府，南海トラフ地震対応強化策検討委員会 委員長				
三重県，防災会議専門部会「防災・減災対策検討会議」委員				
新潟県，防災立県推進戦略顧問				

研 究 業 績

<p>奈良県, 地域防災計画検討委員会 委員 高知県, 石油基地等地震・津波対策検討委員会 委員 高知県, 南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー 兵庫県, ひょうご安全の日推進委員会, 委員, 企画委員長 兵庫県, 兵庫県防災会議委員 大阪市, 大阪港地震・津波対策連絡会議, オブザーバー 堺市, 堺市防災会議委員 岡山県, 平成30年7月豪雨災害検証委員会 委員長 関西広域連合, 関西広域防災計画策定委員会 委員長 関西広域連合, 広域計画等フォローアップ委員会 委員 関西広域連合, 我が国の防災・減災体制のあり方に関する懇話会 座長 鳥取県, 鳥取県政アドバイザースタッフ (独) 日本学術振興会平成30年度博士課程教育リーディングプログラム委員会専門委員 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 経営諮問会議 委員長 東北大学, 災害科学国際研究所共同利用・共同研究運営委員会 委員 全国知事会地方自治先進政策センター, 頭脳センター専門委員 (財) 防災研究協会, 業務運営委員 (社) 日本プロジェクト産業協議会, 日本創成委員会/特別委員会(緊急タスクフォース), 副委員長 (公益) ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 人と防災未来センター展示改修検討委員会委員長 (公益) 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団選考委員 (公財) 兵庫県住宅再建共済基金運営協議会委員 濱口梧陵国際賞(国土交通大臣賞) 選考委員会委員長 東日本大震災被災者の生活復興プロジェクト・生活復興委員会及びワーキングチーム座長 山辺・県北西部広域環境衛生組合新ごみ処理施設整備検討委員会委員</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項) 兵庫県立大学特任教授 (2017年～現在) 人と防災未来センター センター長 (2002年～現在) 公益財団法人 ひょうご21世紀研究機構 副理事長 (2008年～現在) 特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 理事長 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 理事長 特定非営利活動法人 人・家・街 安全支援機構 理事長 第72回(平成30年度)神戸新聞平和賞受賞</p>
<p>(テレビ出演:大阪北部地震など4連続災害に関係して) クローズアップ+ NHK 6月20日(水) 22:00-22:25 (生放送) やさしいニュース テレビ大阪 6月22日(金) 10:30-11:15 (同日夕刻) ウェークアップぶらす よみうりテレビ 6月23日(土) 8:00-8:40 (生放送) ウェークアップぶらす よみうりテレビ 7月14日(土) 8:00-8:40 (生放送) 視点・論点 広域災害にどう備えるか NHK 7月25日(水) 17:00-20:00収録 30日放送 BS11「報道ライブ」日本BS放送 7月31日(火) 20:59-21:54 (生放送) 日曜討論 NHK 8月26日(日) 9:00-10:00 (生放送) 闊論! 倒論! 討論! 2018日本よ, 今… 日本文化チャンネル桜(You Tube, ニコニコチャンネル, Fresh! オフィシャルサイト, インターネット放送So-TV) 8月30日(木) 19:00-22:15 (9月1日(土)夜公開) BS11「報道ライブ」日本BS放送 9月3日(月) 20:59-21:54 (生放送) キャスト(台風関連番組) ABC朝日放送 9月4日(火) 14:00-17:00 (生放送) ウェークアップぶらす よみうりテレビ 9月8日(土) 8:00-8:40 (生放送) おはようパーソナリティ道上洋三です MBSラジオ 9月10日(日) 8:00-8:20 (生放送) 教えて! NEWS ライブ正義のミカタ ABC朝日放送 10月4日(木) 21:15-22:45 (10月6日(土) 9:30-11:00) かんさい熱視線 台風21号 NHK 10月12日(金) 19:30-20:00 (生放送) ウェークアップぶらす よみうりテレビ 12月22日(土) 8:00-9:15 (生放送)</p>

■ 安部 誠治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(翻訳書) 위험한 신간선	単著	2018年10月	정보와 사람 (ソウル)	BAE Gi-Mok 訳『新幹線が危ない』世界書院、2000年の翻訳書
(分担執筆著書) 第1章 社会安全学とは何か	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部、社会安全学入門、pp.3-15, 安部誠治, 小澤守, 城下英行
第15章 政府の防災・減災活動	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部、社会安全学入門、pp.193-210, 安部誠治, 奥村与志弘, 小山倫史, 近藤誠司, 城下英行, 高島毛敏雄
What Do Societal Safety Sciences Aim at?	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.3-13, S. Abe, M. Ozawa, H. Shiroshita
Government Systems for Disaster Managemant	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.169-184, S. Abe, T. Koyama, S. Kondo, Y. Okumura, H. Shiroshita, T. Takatorige
(論文) タクシー事業における事故防止・安全確保の課題	単著	2018年3月	自動車技術会	『Journal of Society of Automotive Engineers of Japan』Vol.72.3, 109-114頁.
近代日本における海員審判の意義と限界——船舶事故調査の視点から——	共著	2018年3月	関西大学社会安全学部	『社会安全学研究』第8号, 19-42頁. 大須賀英郎・安部誠治.
(その他, 論考・研究資料等) 安部誠治さんに関く 鉄道の役割と安全を考える	単著	2018年3月	新日本出版社	『経済』No.270, 14-28頁.
事故調査	単著	2018年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『社会安全学入門』198-200頁.
座談会 安全プラン2020 踏まえた事故防止	共著	2018年4月	物流ニッポン新聞社	『物流ニッポン』2018年4月5日, 8-10面. 吉永隆博, 酒井博, 千原武美, 庄子清一, 思博文, 安部誠治.
鉄道の役割と安全確保の課題	単著	2018年6月	日本民営鉄道協会	『みんてつ』Vol.66, 2018年夏号, 4-7頁.
鉄道の役割と地下鉄の安全を考える——Osaka Metro の課題——	単著	2018年6月	大阪公共交通研究所	『都市と公共交通』2018年6月号, 23-30頁.
大学は自然災害とどう向き合うか	単著	2018年11月	日本私立大学連盟	『大学時報』2018年11月号, 34-41頁.
運輸事業における人材不足と安全確保の課題	単著	2018年12月	国土交通省	講演記録「運輸事業の安全に関するシンポジウム 2018」2018年10月2日開催, 22-32頁.
(委託研究) 海外鉄道機関のヒューマンエラーに関する調査と分析 (韓国語)	共著	2018年12月		韓国鉄道公社委託, 全90頁の報告書のうち1-17頁を分担. 李容相・安部誠治.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会招聘講演) 事故・インシデントの発生・再発防止と事故調査	単独	2017年10月26日	日本災害情報学会・日本災害復興学会	日本災害情報学会20周年記念・日本災害復興学会10周年記念合同大会シンポジウム, 於・東京大学.
(海外招聘講演) The Role of Education System for Disaster Prevention: Lessons from Graduate School of Societal Safety Sciences at Kansai University	単独	2018年3月13日	ACE Agency for National Seismic Disaster Prevention and Research Institute for Mega Construction	於・韓国 高麗大学

研 究 業 績

日本における鉄道安全と安全システム構築の教訓——韓国への示唆——	単独	2018年6月1日	韓国鉄道技術研究院・高麗大学社会災害安全研究センター	『安全文化の向上のための国際学術大会』於・ソウル.
(講演) 運輸事業における人材不足と安全確保の課題	単独	2018年10月2日	国土交通省	運輸事業の安全に関するシンポジウム2018 基調講演, 於・昭和女子大学人見記念講堂.
以下, フリー記入				
(学会賞受賞) 2018年日本交通学会賞	共著		日本交通学会	受賞著作: 分担執筆『総合研究 日本のタクシー産業: 現状と改革に向けての分析』慶應義塾大学出版会, 2017年7月刊.
(所属学会) 公益事業学会 (理事) 日本交通学会 交通権学会 日本リスクマネジメント学会 鉄道史学会 日本安全学教育研究会				
(社会貢献活動) 近畿運輸局・大阪府タクシー準特定地域合同協議会会長 (2018年6月まで) 東北運輸局・仙台市タクシー特定地域協議会会長 (継続) 近畿運輸局・大阪市域交通圏タクシー特定地域協議会会長 (2018年6月まで) 原子力安全推進協会・原子力防災訓練検討委員会委員 (継続) 事業用自動車事故調査委員会委員 (継続) 近畿運輸局/大阪労働局・トラック輸送における取引環境・労働時間改善大阪府地方協議会会長 (継続) 国土交通省・軽井沢スキーバス事故対策検討委員会委員 (継続) JR西日本・新幹線重大インシデントに係る有識者会議座長 (新規) 自動車事故対策機構・指導講習業務検討委員会議長 (新規)				

■ 一 井 康 二

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書) 第6章 自然災害	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.64-71, 一井康二, 林能成, 小山倫史, 高橋智幸
第14章 防災・減災・縮災のための公的システム	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.187-191, 高野一彦, 一井康二, 永田尚三, 山崎栄一
Natural Disasters	共著	2018年12月	ミネルヴァ書房	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.57-71, K. Ichii, Y. Hayashi, T. Koyama, T. Takahashi.
Public Systems for Disaster Management	共著	2018年12月	ミネルヴァ書房	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.153-167, K. Takano, K. Ichii, S. Nagata, E. Yamasaki.
(学術論文) A simple framework for planning emergency routes in small townships in response to earthquake disasters	共著	2018年3月	関西大学 社会安全学部	Koji Ichii and Yu Nandar Hlaing, Journal of Societal Safety Sciences, No.7, pp.43-54, 2018. (査読有)
Cyclic threshold shear strain in pore water pressure generation in clay in situ samples	共著	2018年6月	Japanese Geotechnical Society	Koji Ichii and Takeko Mikami, Soils and Foundations, Volume 58, Issue 3, pp.756-765, 2018. (査読有)
地盤改良によるK値増大を考慮した岸壁構造物の動的遠心模型実験	共著	2018年9月	公益社団法人 土木学会	森鼻章治, 高橋英紀, 森川嘉之, 高野大樹, 斎藤智志, 鈴木亮彦, 竹内秀克, 一井康二, 土木学会論文集B3 (海洋開発), 74巻 (2018) 2号, p.I_844-I_849. (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) ミニショベルを用いた簡便な地盤調査法の実現可能性の実験的検討	共著	2018年12月	(公社)地盤工学会 中国支部	地盤と建設, 一井康二・宮地裕暁・廣部玲央, 公益社団法人地盤工学会中国支部論文報告集, Vol.36, No.1 (2018), pp.137-144, 査読有 (研究ノート)
ミニショベルのバケットへの土砂付着防止技術に関する実験的検討	共著	2018年12月	(公社)地盤工学会 中国支部	地盤と建設, 一井康二・黄新華, 公益社団法人地盤工学会中国支部論文報告集, Vol.36, No.1 (2018), pp.145-151, 査読有 (研究ノート)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Rescue Time index for Emergency response in Mandalay City, Myanmar	共同	2018年3月14日	日本リスク研究学会	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018, 関西大学ミューズキャンパス, 大阪府高槻市, (Yu Nandar Hlaing, Koji Ichii, Kyaw Zaya Htun)
Performance Based Seismic Design in ISO23469, and Its Possible Future Update	単独	2018年6月1日	JSCE	The Third CICHE-JSCE Joint Workshop in 2018 ~Hazard's Risk Management & Innovation in Civil Engineering~, Central Taiwan Science Park Campus, Feng Chia University, Taiwan
掘削機械バケットを用いた地盤調査手法に関する研究	単独	2018年6月7日	国土技術研究センター	第18回 JICE 研究開発助成成果報告会, 一般財団法人国土技術研究センター, 東京

研 究 業 績

(招待講演) An Index to Judge the Appropriateness of Model Parameters for Analysis Considering Liquefaction	共同	2018年 2月20日	Istanbul Technical university, JSCE-Turkey section	The 4th JOINT SYMPOSIUM: Seismic Actions for Designing Geotechnical Works ISO-23469, Istanbul,Turkey. (Koji Ichii and Toshiki Murakami)
BCPのための地震時被害予測の考え方	単独	2018年 6月22日	関西大学 社会安全学部	2018年度関西大学社会安全学部大阪連続セミナー、関西大学梅田キャンパス
Seismic Design of Quay Wall in Japan	単独	2018年 8月 3日	全南大学校	Special lecture on seismic design of port structure, Chonnam National University, Korea
地震による建造物の被災、それから地盤災害	単独	2018年 8月21日	公益社団法人 土木学会	平成30年度第52回夏期講習会、関西大学高槻ミュージックキャンパス
Importance of student exchange with various background for disaster mitigation ~ From my experience of performance-based seismic design ~	単独	2018年 9月10日	バンドン工科大学	Public Lecture on Soil Dynamics, Earthquake Engineering, and Disaster Mitigation, Institut Teknologi Bandung, Indonesia
Performance-based seismic design and Importance of student exchange with various background for disaster mitigation	単独	2018年 9月12日	パダン州立大学	Public Lecture on Soil Dynamics, Earthquake Engineering, and Disaster Mitigation, Universitas Negeri Padang, Indonesia
知ってるつもり耐震設計と耐震診断	単独	2018年11月17日	関西大学	第28回高槻ミュージックキャンパス公開講座、高槻ミュージックキャンパス
Discussion on the appropriateness of model parameters for liquefaction analysis for PBD	単独	2018年11月27日	カンタベリー大学、 土木学会 地震工学委員会	1st NZ-Japan Joint Symposium on Structural and Geotechnical Earthquake Engineering, University of Canterbury, Christchurch, New Zealand.
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	分担	2017~2019年	600 (1,500)	一斉遠心実験・数値解析による社会基盤施設の地震時挙動予測手法の高精度化 (代表:飛田哲男)
以下、フリー記入				
(所属学会) 土木学会 地盤工学会 日本地震工学会 日本地すべり学会 国際地盤工学会				
(社会貢献活動) 広島大学大学院工学研究科・客員教授(2017年度後期) 和歌山県石油コンビナート等防災本部専門員 大阪市港湾審議会委員 一般社団法人FLIPコンソーシアム理事および特別顧問 中部電力株式会社原子力安全技術研究所アドバイザー・コミッティ委員 一般財団法人防災研究協会非常勤研究員 関西ライフライン研究会副座長 一般財団法人沿岸技術研究センター・湾岸域における海岸保全施設の維持管理への新技術適用に関する検討会委員				

■ 小澤 守

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書)				
第1章 社会安全学とは何か	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.3-15, 安部誠治, 小澤守, 城下英行
第5章 人間・自然・人工物	単著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.55-63,
第7章 社会災害	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.81-96, 小澤守, 辛島恵美子, 小山倫史, 中村隆宏, 西村弘
What Do Societal Safety Sciences Aim at?	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.3-13, S. Abe, M. Ozawa, H. Shiroshita
Human, Nature, and Artificial Products	単著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.49-55
Social Disasters and Damages	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.73-86, T. Nakamura, E. Kanoshima, T. Koyama, H. Nishimura, and M. Ozawa
(学術論文)				
垂直下降流の限界熱流束予測モデル	共著	2018年	日本機械学会	日本機械学会論文集, Vo.84, No.859, pp.1-7, 川副祥規, 網健行, 梅川尚嗣
(その他, 論考・研究資料等)				
ボイラー技術の史的展開 (第26回)	単著	2018年2月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.407, pp.29-38
ボイラー技術の史的展開 (第27回)	単著	2018年4月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.408, pp.33-41
ボイラー技術の史的展開 (第28回)	単著	2018年6月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.409, pp.32-40
ボイラー技術の史的展開 (第29回)	単著	2018年10月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.411, pp.20-39
ボイラー技術の史的展開 (第30回)	単著	2018年12月	日本ボイラ協会	ボイラ研究, No.412, pp.29-36
人と熱の関わり方の足跡(その2)ボイラ技術の展開 — 高効率化への挑戦と破裂との戦い	単著	2018年7月	日本伝熱学会	伝熱, Vol.57, No.204, pp.70-77
ブラックアウトはなぜ起きた? 北海道電力が抱える「脆弱性」の本質	単著	2018年9月	講談社	現代ビジネス https://gendai.ismedia.jp/articles/-/57460
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
Re-Flooding in Single- and Parallel-Channel Systems at High Temperature	共同・単独	2018年3月	The Heat Transfer Society of Japan	The 10th International Conference on Boiling and Condensation Heat Transfer, Paper No.2002, T. Yoshimi, A. Okawara
Classification of Critical Heat Flux Mechanisms for Downward Flow	共同・単独	2018年3月	The Heat Transfer Society of Japan	The 10th International Conference on Boiling and Condensation Heat Transfer, Nagasaki, paper No.2006, Nagasaki, Y. Kawazoe, T. Ami, H. Umekawa
Dynamic Simulation of Pressure Drop Oscillation in a Gas-Liquid Two-Phase Flow System	共同・単独	2018年4月		8th European-Japanese Two-Phase Flow Group Meeting, Takeyuki Ami, Mayuko Kitagawa, Hisashi Umekawa
(招待講演)				
ボイラー技術の展開と破裂との戦い	単独	2018年11月	日本ボイラ協会	日本ボイラ協会平成30年度(第68回)全国工作責任者大会, 京都
近年の品質偽装・検査懈怠問題の本質と標準化	単独	2018年7月	BERC	関大梅田キャンパス

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 戦略的基盤技術高度化支援事業	分担	2016-2018年	333 (関西大学配分 合計7,386, 事業全 体合計90,000)	水素混合燃料焚き小型高性能ボイラの開発
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本機械学会 (フェロー, 名誉会員)				
The American Society of Mechanical Engineers (正会員)				
日本伝熱学会 (名誉会員)				
日本混相流学会 (正会員)				
火力原子力発電技術協会 (正会員)				
日本工学アカデミー (正会員)				
(社会貢献活動)				
(一社) 省エネルギーセンター管理研修講師				
日本電気制御機器工業会「セーフティバースチックアセッサ (防爆) 認証委員会」委員				
日本電気制御機器工業会「機械安全に関する要員能力及びその認証手順の国際標準化評価委員会」委員				
日本電気制御機器工業会「平成29年度機械安全に関する要員能力基準 JIS 原案作成委員会」委員				
大阪大学非常勤講師				
関西電力「原子力安全検証委員会」委員				

■ 辛 島 恵美子

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書) 第2章 科学技術の発展と人間社会	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編：社会安全学入門 2018 p16-29, 辛島恵美子, 西村弘, 河野和宏
第7章 社会災害	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門 pp81-96, 小山倫史, 小澤守, 中村隆宏, 辛島恵美子, 西村弘
Advancement in Science and Technology and Human Societies	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.15-26, H. Nishimura, E. Kanoshima, K. Kono
Social Disasters and Damages	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.73-86, T. Nakamura, E. Kanoshima, T. Koyama, H. Nishimura, M. Ozawa
(学術論文) メンタルヘルス再考…ストレスチェック制度の功罪	単著	2018年8月	日本安全学教育研究会	日本安全学教育研究会誌 VO.11 2018 pp109-114
メンタルヘルス対策の課題…労働者と企業の安全の観点から	単著	2018年12月	科学技術社会論学会	第17回年次研究大会予稿集 pp98-99
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) メンタルヘルス再考…ストレスチェック制度の功罪	単独	8月20日	日本安全学教育研究会	第13回日本安全学教育研究会セミナー (金沢大学医学部記念会館)
メンタルヘルス対策の課題…労働者と企業の安全の観点から	単独	12月9日	科学技術社会論学会	第17回年次研究大会 (成城大学)
(招待講演) 現代社会における「こころの病」のグレーゾーンとその対策	単独	2018年6月6日	尼崎工業会	平成30年度安全衛生研修会
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本鉄鋼協会 科学技術社会論学会 日本安全教育学会 日本安全学教育学会				
(社会貢献活動) 財団法人 生存科学研究所 評議員 NPO 法人 安全学研究所 理事 和歌山県防災会議委員 和歌山県石油コンビナート等撫最本部部員				

研究業績

■ 亀井克之

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 生活リスクマネジメントのデザイン リスクコントロールと保険の基本	単著	2018年5月	法律文化社	145p.
(分担執筆著書) リスクマネジメント	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『社会安全学入門 理論・政策・実践』第11章、亀井克之・林能成、pp.136-146.
クライシスマネジメント	単著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『社会安全学入門 理論・政策・実践』第13章、pp.162-173.
社会安全学研究の国際的動向 フランス語圏	単著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『社会安全学入門 理論・政策・実践』補章3、pp.273-278.
Risk Management	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata (eds), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.121-150, K. Kamei, Y. Hayashi.
Crisis Management	単著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata (eds), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.141-150.
(学術論文) オリンパス事件の分析 ― リスクマネジメントの観点から ―	共著	2018年3月	関西大学社会安全学部	『社会安全研究』No.8、三島恒平・亀井克之・佐藤督、pp.3-18。(査読あり)
中小企業経営者の健康資産 ― 日仏比較研究 ―	単著	2018年5月	千倉書房	日本経営学会『経営学論集』第88集、pp.(03)1-2。(査読なし)
リスクマネジメントの新たなフレームワークの試み ― 理論的考察と医療機関における事例 ―	単著	2018年8月	日本情報経営学会	『日本情報経営学会誌』38(3)、特集AICBM時代の医学研究、ヘルスケアとサイバーセキュリティ、pp.28-39(特別寄稿)
(その他、論考・研究資料等) 偉大な裁判官「ロード・マンズフィールド」	共著	2018年7月	ソーシャル・リスクマネジメント学会	『実践危機管理』第33号、(原文)亀井利明・(解説・注釈)亀井克之、pp.6-10.
スポーツと地域と人づくり ― いすみ健康マラソンの事例 ―	共著	2018年3月	関西大学経済・政治研究所	『セミナー年報2017』、亀井克之・増田明美・杉本厚夫、p.31-47.
スポーツと地域と人づくり ― アルビレックス新潟の事例 ―	共著	2018年3月	関西大学経済・政治研究所	『セミナー年報2017』、亀井克之・中野幸夫・杉本厚夫・増田明美、p.49-69.
決断力にみるリスクマネジメントの本質	単著	2018年9月	大阪能率協会	『産業能率』2018年9-10、Vol.682、pp.6-7.
従業員の離職を防ぐ体制をつくっていますか	執筆協力	2018年1月	あんしん財団	尾久裕紀、あなたの職場に潜むビジネスリスク 従業員の離職 『あんしんLife』2018年1月号 vol.547 pp.28-29.
災害などが発生した時すぐに対処できますか	執筆協力	2018年2月	あんしん財団	尾久裕紀、あなたの職場に潜むビジネスリスク 災害・社会情勢の変化 『あんしんLife』2018年2月号 vol.548 p.24-25.
労働者が健康で安全に働ける職場ですか	執筆協力	2018年3月	あんしん財団	尾久裕紀、あなたの職場に潜むビジネスリスク 労働安全衛生 『あんしんLife』2018年3月号 vol.549 pp.26-27.
AMAROK 経営者健康あんしんプロジェクト	執筆協力	2018年5月	あんしん財団	『あんしんLife』2018年5月号 vol.551 p.17.
日本中小企業経営者の心と体、働き方 vol.1	執筆協力	2018年8月	あんしん財団	『あんしんLife』2018年8月号 VOL.554 pp.8-9.
日本中小企業経営者の心と体、働き方 vol.2	執筆協力	2018年9月	あんしん財団	経営者が気を付けるべき自己認識 『あんしんLife』2018年9月号 VOL.555 pp.10-11.

日本中小企業経営者の心と体, 働き方 vol.3	執筆協力	2018年10月	あんしん財団	経営者の生活と肥満リスク 『あんしんLife』 2018年10月号 vol.556 pp.14-15.
日本中小企業経営者の心と体, 働き方 vol.4	執筆協力	2018年11月	あんしん財団	リスクを避ける睡眠習慣 『あんしんLife』 2018年11月号 vol.557 pp.14-15.
日本中小企業経営者の心と体, 働き方 vol.5	執筆協力	2018年12月	あんしん財団	経営者ならではのストレスにどう対処するか 『あんしんLife』 2018年12月号 vol.558 pp.16-17.
リスクマネジメントの基本	単著	2018年3月	経済法令研究会	銀行業務検定試験公式テキスト, 金融リスクマネジメント2級, pp.1-44.
たかつきの防災 目指せ! 未来の防災リーダー	監修	2018年6月	高槻市総務部危機管理室	高槻市防災副読本, 高槻市立小学校5年生配布, 24p.
新任役員 亀井克之取締役	単著	2018年1月	株式会社アドバンスクリエイティブ	『創』株式会社アドバンスクリエイティブ社内報, 第54号, p.5
Japan Risk Management Society, Japan	単著	2016年	日本経済学会連合	Information Bulletin of the Union of the National Economic Associations in Japan, No.36, pp.66-82.
(エッセー)				
南仏の黒いダイヤモンド—1998年12月第1回メネルブ村のトリュフ市から—	単著	2018年1月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.82/2018新年号(「太陽と健康の文化」[南仏閑話]第29回), pp.11-12.
ニーム・世界中のだれもが知っている製品の発祥地—ローマ時代の水道橋ポン・デュ・ガールを渡って水が運ばれた街—	単著	2018年4月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.83/2018春号(「太陽と健康の文化」[南仏閑話]第30回), pp.17-18.
事業承継・フランス語圏国際サミットに参加して—カナダ・ケベック州・モントリオールにて—	単著	2018年7月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.84/2018夏号(「太陽と健康の文化」[南仏閑話]第31回), pp.27-28.
ワイン・建築・アートのマリアージュ—シャトー・ラ・コスト—	単著	2018年10月	株式会社扶洋NEXT編集委員会	『NEXT』Vol.85/2018秋号(「太陽と健康の文化」[南仏閑話]第32回), pp.19-20.
太陽と健康の文化・南仏で見つけた健康で生き生きした中小企業経営者・個人事業主(6)—総集編—南仏の元気で健康な経営者群像	単著	2018年7月	あんしん財団	AMAROK JAPAN ESSAY
(関西大学冊子)				
オリンピックから広がる学び 大きなスポーツイベントにはリスクマネジメントが不可欠	単著	2018年	関西大学入試センター	『大学で何が学べるか? ナニマナ2019』, p.13.
三兄弟が巣立って	単著	2018年8月	関西大学教育後援会	『葦』2018夏号 No.170, p.16.
防災・危機管理に関する身体表現(体操・ダンス)の開発 Dance for Safety	単著	2018年8月	関西大学社会連携部	『関西大学地域連携事例集』Vol.4 2017, p.44
大阪北部地震で杜安生が活躍	単著	2018年10月	関西大学広報委員会	学部・研究科トピックス 『関西大学通信 Kandai Style』Vol.470, p.10.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(国内学会)				
アントレプレナーと健康に関する日仏比較 健康経営とリスクマネジメント	単独 単独	2018年5月26日 2018年6月23日	日仏経営学会 日本リスクマネジメント学会	第71回全国大会 相模女子大学 創立40周年記念 春季大会, 統一論題報告, 第42回全国大会 専修大学神田キャンパス
ファミリービジネスにおける健康経営と地域貢献	単独	2018年9月1日	ファミリービジネス学会	ファミリービジネス学会2018年度全国大会, 慶應義塾大学日吉キャンパス来賓舎
新たなリスクとリスク対応	総合司会・ 問題提起	2018年9月29日	日本リスクマネジメント学会	創立40周年記念 秋季大会 第43回全国大会 関西大学高槻ミューズキャンパス
中小企業経営者の健康調査	共同	2018年10月24日	日本公衆衛生学会	第77回日本公衆衛生学会ビッグパレットふくしま, 金子信也・亀井克之
(国際学会)				
Design for Safety	共同	2018年1月31日 -2月1日	Royal College of Art, Lloyd's Register Foundation.	Design for Safety Symposium, Royal College of Art, UK

研究業績

Overview of Risk Management in the Live Music Business	単独	2018年3月31日	Korean Risk Management Society	Korean Risk Management Society, Seoul, Korea
Le repreneuriat international : Le meilleur des pratiques d'ici et d'ailleurs-JAPON-	単独	2018年5月31日	Centre de transfert d'entreprise du Québec	SOMMET INTERNATIONAL DU REPNEURIAT, Palais des Congrès de Montréal, Canada.
10 ans de recherche sur la santé au travail des dirigeants de PME et des entrepreneurs	共同	2018年10月25日	AIREPME	CIFEPME, Université de Toulouse, France.
中小企業経営者の健康マネジメント ―日仏共同研究より― シンポジウム趣旨説明・調査概要	単独	2018年11月15日	日本経済新聞社	共催：一般財団法人あんしん財団，後援：フランス大使館・フランス商工会議所，シンポジウム「中小企業経営者の健康マネジメント ―日仏共同研究より―」，基調報告・コーディネーター，イイノホール。
中小企業経営者の健康マネジメント ―日仏共同研究より― シンポジウム趣旨説明・調査概要	単独	2018年11月16日	日本経済新聞社	共催：一般財団法人あんしん財団，後援：フランス大使館・フランス商工会議所，シンポジウム「中小企業経営者の健康マネジメント ―日仏共同研究より―」，基調報告・コーディネーター，ハービスホール。
(招待講演) 学生生活とリスクマネジメント	単独	2018年4月3日	大阪医科大学	大阪医科大学 大学安全対策室 新入生オリエンテーション 危機管理教育講演，大阪医科大学
企業・組織のリスクマネジメント総論	単独	2018年4月20日	関西大学 社会安全学部	関西大学社会安全学部 大阪連続セミナー第2回，関西大学梅田キャンパス
決断力にみるリスクマネジメント	単独	2018年4月21日	千里山会計学研究会	第97回講演会 関西大学 経商研究棟4階F会議室
リスクマネジメントとコンプライアンス	単独	2018年10月20日	大阪府工業協会	経営マネジメントビジネススクール，大阪府工業協会
大学・学校法人における危機管理～日大アメフト問題から考えるリスクマネジメント～	単独	2018年11月8日	リード エグジビジョン ジャパン株式会社	第2回関西 教育ITソリューション EXPO，第2回 関西 学校施設・サービス展，インテックス大阪
「危機管理とリーダーシップ」―ソーシャル・リスクマネジメントの展開―	単独	2018年11月30日	大阪実業教育協会	第2回産業界教育に関する講演会，大阪府教育センター
(研究報告) 『ブランド創造都市』大阪の再構築に向けた課題―安全―	単独	2018年7月18日	関西大学教育研究高度化促進費，関西大学経済・政治研究所	関西大学経済・政治研究所 第227回産業界セミナー，関西大学教育研究高度化促進費公開セミナー，『ブランド創造都市』大阪の再構築に向けた課題―食，健康・スポーツ，安全―，関西大学梅田キャンパス。
英国チェルシー・ウェストミンスター病院におけるホスピタルアート	単独	2018年8月1日	堺市と関西大学との地域連携事業・関西大学大学院社会安全研究科PDM	堺市と関西大学との地域連携事業「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識増進への貢献，第2回講演会，耳原総合病院 みみはらホール。
ベルリン・マラソン，東北みやぎ復興マラソン調査に基づいて	単独	2018年11月7日	関西大学経済・政治研究所	関西大学 経済・政治研究所 第11回公開セミナー，「第8回大阪マラソンに向けて市民マラソンを考える」，関西大学 梅田キャンパス
「走り始めて私はこう変わった」全社で大阪マラソンに取り組むアドバンス・クリエイトの場合	単独	2018年11月7日	関西大学経済・政治研究所	関西大学 経済・政治研究所 第11回公開セミナー，「第8回大阪マラソンに向けて市民マラソンを考える」，関西大学 梅田キャンパス

社会安全学研究 第9巻

2025年大阪万博決定：『ブランド創造都市』 大阪の再構築に向けた課題 ―安全―	単独	2018年12月14日	関西大学教育研究高度化促進費、関西大学経済・政治研究所	関西大学教育研究高度化促進費公開セミナー、経済・政治研究所 第14回公開セミナー、「2025年大阪万博決定：『ブランド創造都市』大阪の再構築に向けた課題―食・スポーツ・安全―」、関西大学梅田キャンパス。
(総合司会・通訳等) 事業継承と個人保証 経営者の心身への影響	総合司会	2018年5月7日	関西大学経済・政治研究所	関西大学 経済・政治研究所 第1回公開セミナー、津島晃一講演、関西大学東京センター
ルノー史研究50年の視点から なぜルノー・日産のアライアンスのみが生き残り成功したのか？	総合司会	2018年5月20日	関西大学 経済・政治研究所	公開研究会、渋沢財団 招聘研究者 バトリック・フリダグソン氏講演、関西大学 東京センター
海外における安全管理と健康管理	総合司会	2018年6月6日	関西大学経済・政治研究所	関西大学 経済・政治研究所、第2回公開セミナー、外務省 石瀬基行講演、関西大学千里山キャンパス第1学舎
堺市・耳原総合病院におけるホスピタルアートの取り組み	コーディネーター	2018年6月25日	関西大学と堺市との地域連携事業、関西大学経済・政治研究所	堺市と関西大学との地域連携事業「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識増進への貢献」第1回講演会、関西大学経済・政治研究所 第4回 公開セミナー、耳原総合病院 院長 奥村伸二講演、関西大学 堺キャンパス
南フランス発 健康経営の新たな視点・日仏比較研究に学ぶオーナー経営者・個人事業主の健康	総合司会	2018年7月31日	関西大学経済・政治研究所	関西大学 経済・政治研究所 第6回公開セミナー、第1部 あんしん財団・大妻女子大学「AMAROK 経営者健康あんしんアクション」講演会、関西大学東京センター
トップランナーと市民との交流に学ぶ「健康」	コーディネーター	2018年7月31日	関西大学経済・政治研究所	関西大学 経済・政治研究所 第6回公開セミナー、第2部 吉田香織・M高史・白方健一トーク・セッション、関西大学 東京センター
海外旅行・留学における安全管理と健康管理	総合司会	2018年10月17日	関西大学経済・政治研究所	経済・政治研究所 第9回公開セミナー、外務省 森和也講演、関西大学 千里山キャンパス 第3学舎。
英国におけるホスピタルアートの展開 Art for the Health in the UK	総合司会	2018年12月6日	堺市と関西大学との地域連携事業・関西大学大学院社会安全研究科 PDM	堺市と関西大学との地域連携事業 第3回講演会「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識増進への貢献、第3回PDMセミナー、昼の部、Clive Parkinson 講演、関西大学高槻ミュージックキャンパス
英国におけるホスピタルアートの展開 Art for the Health in the UK	総合司会	2018年12月6日	堺市と関西大学との地域連携事業・関西大学大学院社会安全研究科 PDM	堺市と関西大学との地域連携事業 第3回講演会「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識増進への貢献、第3回PDMセミナー、夕方の部、講演 Clive Parkinson、耳原総合病院 みみはらホール
(その他) スポーツ・健康と地域社会研究班平成30年度活動報告	単独	2018年3月26日	関西大学経済・政治研究所	平成30年度顧問との懇談会、関西大学 児島惟謙館
防災ゲームで一緒に楽しく学ぼう	協力	2018年6月24日	関西大学 社会安全学部	第4回高槻ミュージックキャンパス祭、学生団体KUMCによる企画、関西大学高槻ミュージックキャンパス
老朽化したブロック塀に代替する木の塀「スーパーフェンス」の展示	共同	2018年9月8日	防災フェアINたかつき実行委員会	防災フェアINたかつき2018、協力 高槻市・港製器工業株式会社、高槻市生涯学習センター展示ホール

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題/領域番号:17K02374	研究分担者	2017～2020年度	1,300 (4,160)	コンサートイベントのリスクマネジメントに関する理論的・実証的研究, 研究代表者 八木良太
国際交流助成基金による関西大学と協定大学間の共同研究助成 (ルーベン・カトリック大学)	研究代表者	2016～2017年度	700 (1,560)	中小企業のCSRと地域社会における変革 Management Corporate Social Responsibility of SMEs and Change Management at Community
関西大学 教育研究高度化促進費	共同研究者	2016～2018年度	1,000 (3,780)	「ブランド創造都市」大阪の推進と発信 — 食・安全・健康 —
大妻女子大学・あんしん財団 共同調査	共同研究者	2017～2019年度	4,796 (16,015)	AMAROK 経営者健康あんしんアクション
堺市と関西大学との地域連携事業	研究代表者	2018年度	970	「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識向上への貢献
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本リスクマネジメント学会 副理事長・事務局長 日仏経営学会 常任理事 ファミリービジネス学会 理事 ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事 日本経営学会 日本商品学会 日本中小企業学会 日本保険学会 情報経営学会 事業承継学会 リスク研究学会 スポーツ社会学会 PL 研究学会 AIREPME (Association Internationale de Recherche en Entrepreneuriat et PME) フランス語圏国際アントレプレナーシップ・中小企業学会 副会長				
(社会貢献活動) 日本経済学会連合 評議員 経営学関連学会連絡協議会 委員 モンペリエ大学・経営学部・企業家活動研究所 Labex Entreprendre, 学術委員会委員 Université Montpellier, Laboratoire d'Excellence Entreprendre (Labex Entreprendre), membre de comité scientifique フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長 関西大学経済・政治研究所, スポーツ・健康と地域社会研究班, 主幹 株式会社 アドバンスクリエイト 社外取締役 関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問 通訳案内士・フランス語 (大阪府 第1139号 1996年6月28日交付) 通訳案内士・英語 (関西広域連合 第EN01034号 2017年12月28日交付)				
(非常勤講師) 九州大学 ビジネススクール「経営リスクマネジメント担当」 大阪医科大学 看護学部「くらしと安全・危機管理」担当				
(その他業績として記載を希望する事項) 中央商工 展示協力, 関西大学防災DAY, 関西大学千里山キャンパス, 2018年10月25日 (高槻市教育委員会・防災教育事業協力) 2018年11月19日, 高槻市立奥坂小学校5年生が高槻ミュージズキャンパスを訪問し施設見学と社会安全学部生との合同防災実習 (記事作成協力) 「RM 講座 11月24日開催予定」『産業能率』大阪能率協会, 2018年7-8夏季号 Vol.681, p.30掲載				

- (記事作成協力) 「リスクマネジメント 特別セミナー (Active Autumn Seminar) — 心と命 — の報告」『産業能率』大阪能率協会, 2018年11-12立冬号 Vol.683, p.30掲載
- (記事作成協力) 「OMA「リスクマネジメント講座」のご案内 2018年11月24日 ソーシャルリスクマネジメント学会全国大会 愛知芸術文化センター」『大阪能率』大阪能率協会, 2018年11-12立冬号 Vol.683, p.32掲載
- (記事作成協力) 「JARMS 日本リスクマネジメント学会で報告」『大同生命 社報』 2018.8・9 vol.633/p.15掲載
- (報道) 「日本リスクマネジメント学会 9月に40周年迎える — 亀井克之副理事長に聞く」『保険毎日新聞』 2018年3月15日 10面掲載
- (報道) 「関西大学社会安全学部 保険業界寄付講座に期待 高人気, 学生は抽選で受講 日新火災, アドバンスクリエイト他が提供」『保険毎日新聞』 2018年3月30日 10面掲載
- (報道) 「セクハラ疑惑 識者は 社員保護 時代の要請」『読売新聞』 2018年4月20日 朝刊33面掲載
- (報道) 八木良太「書評 亀井克之著『決断力にみるリスクマネジメント』」『保険毎日新聞』 2018年5月1日 11面掲載
- (報道) 「Japan shies away from #Me Too reform after harassment of female reporter」『フィナンシャルタイムズ』 2018年5月6日 3面掲載
- (報道) 「「危機管理学部」擁する日本大学は、なぜ危機管理に失敗したのか プロ指摘する「過ち」の理由」J-CAST ニュース 2018年5月18日
- (報道) 「日大対応遅く不誠実」『読売新聞』 2018年5月23日 朝刊23面掲載
- (報道) 「日大お粗末対応」『産経新聞』 2018年5月25日 朝刊27面掲載
- (報道) 「SRM学会関東部会開催 多彩なテーマで研究報告」『保険毎日新聞』 2018年5月29日 6面掲載
- (報道) 「巻頭特集 日大「悪質タックル」核心証言, ぜんぶ書く! 事件」『週刊現代』 2018年6月9日号 p.39掲載
- (報道) 「人手不足倒産」が4割増で過去最高に, 企業努力ではもう止められない」ビジネス+IT 2018年10月2日配信
- (報道) 「低い安全意識 あぜん」『読売新聞』 2018年6月15日 朝刊35面掲載
- (報道) 「加計と日大は相似形」『毎日新聞』 2018年6月18日 朝刊27面掲載
- (報道) 「加計問題の被害者は納税者だ」『毎日新聞 web ロング版』 2018年6月18日
- (報道) 「日大アメフト部問題 危機を組織改善の契機に」『岐阜新聞』 2018年6月23日 朝刊18面掲載
- (報道) 「日大アメフト部問題 危機を組織改善の契機に」『新潟日報』 2018年6月23日 朝刊11面掲載
- (報道) 「危機を改善の契機に 日大アメフト部問題」『秋田さきがけ』 2018年6月29日 朝刊9面掲載
- (報道) 「日大アメフト部から学ぶ」『山梨日日新聞』 2018年6月29日 朝刊13面掲載
- (報道) 「物議醸す日大アメフト問題 危機は組織改善の契機 学び, 生かし 好転へ」『静岡新聞』 2018年6月29日 夕刊9面掲載
- (報道) 「危機を改善の契機に 日大アメフト部問題」『大阪日日新聞』 2018年7月4日 朝刊7面掲載
- (報道) 「日本リスクマネジメント学会 創立40周年記念春季全国大会・第42回全国大会 健康経営とRM テーマに報告」『保険毎日新聞』 2018年7月5日 10面掲載
- (報道) 「容疑者逃走から1ヶ月」「大阪府警“ずさん管理”」「市民の安全揺るがす不祥事」市民の信頼回復に情報開示の必要性をコメント 朝日放送テレビ「キャスト」, 2018年9月13日放送
- (報道) 「日本リスクマネジメント学会 創立40周年記念・第43回全国大会開催 “新たなリスクとリスク対応”で討議」『保険毎日新聞』 2018年10月23日 6面掲載
- (報道) 「RM学会 全国大会開く」『インシュランス 損保版』 2018年10月25日 pp.18-19掲載
- (報道) 「RM学会 全国大会 統一論題 新たなリスクとリスク対応 第43回大会 関西大学高槻キャンパスで開催」『インシュランス 損保版』 2018年11月8日 pp.18-19掲載
- (報道) 「おかやまマラソン 好アクセス, 高い満足度 初心者も親しみやすい大会」『朝日新聞』 2018年11月10日 朝刊23面掲載
- (報道) 「日新火災 関西大学で寄付講座 安全・安心な社会を支える保険制度」『保険毎日新聞』 2018年12月11日 10面掲載
- (報道) 「中小企業経営者の健康マネジメント〜日仏共同研究より〜」「経営者の健康が企業存続の鍵」シンポジウムにおいて調査概要を発表 『日本経済新聞』 2018年12月18日 朝刊14面掲載
- (報道) 「亀井ゼミ・大阪マラソン」『たつをの1 day グッディ』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2018年12月1日放送
- (報道) 「亀井ゼミ・国際交流」『たつをの1 day グッディ』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2018年12月8日放送
- (報道) 「亀井ゼミ・気仙沼イカワデニム/大阪北部地震」『たつをの1 day グッディ』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2018年12月15日放送
- (報道) 「亀井ゼミ・東北みやぎ復興マラソン」『たつをの1 day グッディ』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2018年12月22日放送
- (コーディネーション) パリ第2大学パンテオン校 修士課程第2学年 企業家活動コース (Master 2 PARIS 2 Panthéon stratégie et entrepreneuriat) 35名 日本研修旅行, 2018年5月15日 アドバンスクリエイト本社・関西大学高槻ミュージックキャンパス, 5月17日 神戸 アールボッシュ・京都リサーチパーク・堀場製作所
- (コーディネーション) フランス柔道連盟・西部選抜チーム40名 日本研修旅行, 2018年10月31日・11月1日 関西大学体育会柔道部との合同練習。
- (通訳) 駐日ルワンダ大使ヴェネティア・セブダンディ講演, 2018年5月29日, 関西大学 高槻ミュージックキャンパス

研 究 業 績

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 社会安全学入門	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	第4章 近代社会と学問の成立 (pp.40-51)、第10章 リスク分析の方法 (pp.127-135) を担当
Science of Societal Safety	分担執筆	2018年12月	Springer	Chapter 4 Modern Societies and Establishment of Scholarship (pp.37-46)、Chapter 10 Methods in Risk Analysis (pp.113-120) を担当
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 粒子モデルを用いた避難シミュレーション	単独	2019年1月25日	関西大学	第23回 先端科学技術シンポジウム、関西大学100周年記念会館
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2016~2018年	500 (3600)	高密度群集の歩行経路追跡システムの開発と歩行者シミュレーションモデルの高精度化
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機会学会 粉体工学会 日本混相流学会 可視化情報学会 日本災害情報学会 交通工学研究会 日本建築学会				
(社会貢献活動) セミナー「関大の知にふれる」, 「人ごみに潜む危険について学ぶ」 尼崎北高等学校 (2018年10月22日)				

■ 越山 健治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 社会安全学入門	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部、第1部人間社会と社会安全学 第3章2 現代社会におけるリスク評価と対策、pp.35-39
Sheltering Status a Year After the Multiple Disaster in Fukushima	分担執筆	2018年8月	Springer	Resettlement Challenges for Displaced Populations and Refugees, Editors: Asgary, Ali, pp.153-162
(分担執筆著書) Contemporary Societies and Risk	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.27-35, S. Tsuchida, S. Kondo, K. Koshiyama
(その他、論考・研究資料等) 仮住まいの復興デザインに関する論考	単著	2018年9月	日本建築学会	2018年日本建築学会東北大会・都市計画委員会研究協議会
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Integrated Viewpointforhousing recovery program by categorizing of public housing provision after disaster	単独	2018年5月13日	四川大学	International Conference for Decade Memory of the Great Wenchuan Earthquake with 4th International Conference on Continental Earthquakes, China
Sheltering Characteristics after the Great East Japan Earthquake	単独	2018年10月2日	IDRim	The 9th Conference of the international society for integrated disaster risk management, Australia
近年の災害後の避難所避難者人数の推移	単独	2018年10月23日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第20回学会大会予稿集、pp.118-119
(招待講演) 高まる災害リスクに地域でどう備えるか 公園を活用した安全・安心を考えよう 災害と向き合うまちづくり	単独 単独 単独	2018年5月30日 2018年6月17日 2018年10月18日	滋賀県長浜市 大阪府高槻市 大阪府立市岡高等学校	長浜市防災講演会 高槻市安満遺跡公園安満人倶楽部 講座 関大セミナー 「関大の知にふれる」
Family Finance in the Evacuation Life 1 year after F1 Accident	単独	2018年11月15日	日本財団・関西大学・南カルフォルニア大学	Symposium on Population Migration and Repatriation Following Major Disasters, LA, USA
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費 基盤研究(B)	代表	2018~2020年度	3500 (13200)	巨大災害を迎え撃つ防災計画体系の構築
科学研究費 基盤研究(A)	分担	2016~2020年度	150 (450)	福島第一原子力発電所事故を教訓とした大規模緊急広域避難対策に関する社会情報学研究
科学研究費 基盤研究(A)	分担	2018~2021年度	1000 (4000)	水害時における避難行動理論の構築
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本建築学会 都市計画委員会 事前復興・災害対策小委員会 日本都市計画学会 関西支部総務委員会 地域安全学会 学術委員会 日本火災学会 都市住宅学会 日本自治体危機管理学会				

研 究 業 績

日本災害情報学会 編集委員会

日本災害復興学会

(社会貢献活動)

高槻市 まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 委員

高槻市総合計画審議会 委員

大阪府耐震改修促進計画審議会 委員

京都市地域コミュニティ活性化推進審議会 委員

京都府防災会議 戦略的地震防災対策推進部会 委員

■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 第8章 環境リスク	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp97-203, 高鳥毛敏雄, 永松伸吾, 広瀬幸雄.
第15章 政府の防災・減災活動	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp200-202, pp202-204, 小山倫史, 奥村与志弘, 阿部誠治, 高鳥毛敏雄, 近藤誠司, 城下英行.
50年の研究活動の歩みから 保健師の未来を語る	共著	2018年11月	萌文社	全国保健師活動研究会企画・編集, 保健師の未来を語る ― 自治体に働く保健師の現在・過去・未来, PHNブックレット No.20, pp51-57.
Environmental Risks	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.87-97, T. Takatorige, Y. Hirose, S. Nagamatsu.
Government Systems for Disaster Management	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.169-184, T. Koyama, S. Abe, S. Kondo, Y. Okumura, H. Shiroshita, T. Takatorige.
(学術論文) 英国の地方自治体における公衆衛生 総合性と専門性, リーダーシップ性	単著	2018年4月	医学書院	公衆衛生, Vol.82, No.4, 320-324.
(その他, 論考・研究資料等) 日本における結核多発地域とその特性	単著	2018年1月	東京医学社	成人病と生活習慣病, Vol.48, No.1, 46-50.
保健所は公衆衛生の拠点となっているのか〜総合的, 即応性, 科学的, 教育的役割を検証する	単著	2018年12月	全国保健師活動研究会	第50回全国保健師活動研究会報告書, 70-74.
母親の出産前の栄養補助剤摂取状況と児童の自閉スペクトラム障害のリスク: ストックホルムにおける児童の地域コホート研究 Antenatal nutritional supplementation and autism spectrum disorders in the Stockholm youth cohort: population based cohort study BMJ. 2017 Oct 4;359:j4273. doi: 10.1136/bmj.j4273.	翻訳監修	2018年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_01ta.html
アルツハイマー病発症リスクの修正可能な経路: メンデルランダム化解析 Modifiable pathways in Alzheimer's disease: Mendelian randomisation analysis. BMJ. 2017 Dec 6;359:j5375. doi: 10.1136/bmj.j5375.	翻訳監修	2018年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_02ta.html
健康的な食習慣の遵守と遺伝的リスクの長期的な体重増に及ぼす影響: 2つのコホート研究に基づく遺伝子・食事の相互作用の分析 Improving adherence to healthy dietary patterns, genetic risk, and long term weight gain: gene-diet interaction analysis in two prospective cohort studies BMJ. 2018 Jan 10;360:j5644. doi: 10.1136/bmj.j5644.	翻訳監修	2018年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_03ta.html

研 究 業 績

結核のバイオマーカーの最近の現状：感染予防から発病、治癒まで Update on tuberculosis biomarkers: From correlates of risk, to correlates of active disease and of cure from disease Respirology. 2018 Feb 18. doi: 10.1111/resp.13272. [Epub ahead of print]	翻訳監修	2018年4月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_04ta.html
乳児突然死症候群と骨格筋電位依存性ナトリウムチャンネル NaV1.4障害との関連性 — 症例対照研究による検討 — Dysfunction of NaV1.4, a skeletal muscle voltage-gated sodium channel, in sudden infant death syndrome: a case-control study Lancet. 2018 Mar 28. pii: S0140-6736(18)30021-7. doi: 10.1016/S0140-6736(18)30021-7.	翻訳監修	2018年5月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_05ta.html
社会経済階層間における脳卒中の初回入院率、ケアの質及び生命予後の差に関する検討：英国成人44,000,000例の全国コホート研究 Socioeconomic disparities in first stroke incidence, quality of care, and survival: a nationwide registry-based cohort study of 44 million adults in England Lancet Public Health. 2018 Apr; 3(4): e185-e193. doi: 10.1016/S2468-2667(18)30030-6. Epub 2018 Mar 15.	翻訳監修	2018年6月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_06ta.html
希少疾病に対する新生児スクリーニングの採用の国家の推奨と系統的レビューの実施との関連性 Association between use of systematic reviews and national policy recommendations on screening newborn babies for rare diseases: systematic review and meta-analysis. BMJ. 2018 May 9; 361:k1612. doi: 10.1136/bmj.k1612.	翻訳監修	2018年7月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_07ta.html
ペニシリン・アレルギーを有する患者におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌及びクロストリジウム・ディフィシル感染リスクの分析 — 地域のマッチド・コホート研究による — Risk of meticillin resistant Staphylococcus aureus and Clostridium difficile in patients with a documented penicillin allergy: population based matched cohort study. BMJ. 2018 Jun 27; 361:k2400. doi: 10.1136/bmj.k2400.	翻訳監修	2018年8月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_08ta.html
軽度・中等度の慢性閉塞性肺疾患の末梢気道病変の分析：横断研究 Small airways disease in mild and moderate chronic obstructive pulmonary disease: a cross-sectional study Lancet Respir Med. 2018 Aug; 6(8): 591-602. doi: 10.1016/S2213-2600(18)30196-6. Epub 2018 Jul 4.	翻訳監修	2018年9月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_09ta.html

南アフリカの薬剤耐性結核患者におけるベダキリンの死亡率に及ぼす影響の検討：後ろ向きコホート研究 Effect of bedaquiline on mortality in South African patients with drug-resistant tuberculosis: a retrospective cohort study Lancet Respir Med. 2018 Sep; 6(9): 699-706. doi: 10.1016/S2213-2600(18)30235-2. Epub 2018 Jul 11.	翻訳監修	2018年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_10ta.html
1990-2016年のパーキンソン病による世界、地域及び国別の社会負担の検討：2016年の世界疾病負担に関するシステムティックレビューによる分析 Global, regional, and national burden of Parkinson's disease, 1990-2016: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2016 Lancet Neurol. 2018 Oct 1. pii: S1474-4422(18)30295-3. doi: 10.1016/S1474-4422(18)30295-3. [Epub ahead of print]	翻訳監修	2018年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_11ta.html
幼年期から家庭の所得不平等の軌跡と幼年期の自傷及び青年期の暴力のリスク変化：地域住民のネスティッド症例対照研究 Family income inequalities and trajectories through childhood and self-harm and violence in young adults: a population-based, nested case-control study Lancet Public Health. 2018 Oct; 3(10): e498-e507. doi: 10.1016/S2468-2667(18)30164-6.	翻訳監修	2018年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2018/bunken_12ta.html
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 阪神淡路大震災における健康課題	単独	2018年2月3日	日本疫学会	第28回日本疫学会学術総会(福島市)
最近の大学生の結核リテラシーの現状と課題の検討	単独	2018年6月23日	日本結核病学会	第93回日本結核病学会総会(大阪市・国際会議場)
日本の結核対策と社会医学の発展との関連	単独	2018年7月21日	日本社会医学会	第59回日本社会医学会総会(栃木県・獨協医科大学)
シンポジウム 次代の社会医学を考える	共同	2018年7月22日	日本社会医学会総会	第59回日本社会医学会総会(栃木県・獨協医科大学)
シンポジウム 原子力災害と公衆衛生——地域の復興の現状と課題——	共同	2018年10月24日	日本公衆衛生学会	第77回日本公衆衛生学会総会(郡山市)
(招待講演) 結核感染症とその対策のポイント——薬局・薬剤師への期待——	単独	2018年7月24日	吹田市薬剤師会	吹田市立保健センター
公衆衛生と保健師	単独	2018年9月27日	大阪府健康医療部	保健師中堅期研修「公衆衛生看護研修」 大阪府庁 新別館北館
英国の Health & Well-being 社会の創造 社会実験500年間の到達点——宗教・思想・経済・団体・科学・企業・生態・環境・グローバル社会——	単独	2018年12月9日	健康価値創造研究会	第17回健康価値創造研究会 (公財) 生存科学研究所(東京・銀座)
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会医学会・理事長 日本公衆衛生学会・理事 日本公衆衛生学会・感染症対策委員会・副委員長 日本公衆衛生学会・災害・緊急時公衆衛生活動委員会・委員 日本結核病学会・代議員				

研 究 業 績

(社会貢献活動)

大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師
関西看護大学・非常勤講師
大阪府医師会調査委員会・委員
大阪府教育委員会事務局・学校保健指導医（技師）
大阪府感染症審議会・結核対策部会・委員
大阪市結核対策評価委員会・委員
大阪府立学校職員健康審査会・常任委員
大阪府立学校結核対策審議会・委員
東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員
豊中市民病院運営審議会・会長
高槻市地域包括ケア推進会議委員長
高槻市保健医療審議会・委員
高槻市感染症診査協議会・委員
枚方市健康増進計画審議会・会長
公益法人大阪公衆衛生協会・専務理事
公益法人大阪公衆衛生協会・保健企画部会・会長
公益法人大阪成人病協会・評議員
ストップ結核パートナーシップ日本・理事
医学書院 雑誌公衆衛生・編集委員

■ 高野 一 彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 社会安全学入門 ― 理論・政策・実践 ―	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編、第14章第1節(1)「法とは何か ― 法の体系と安全」、同(2)「企業と社会安全」pp.177-179、第16章第3節「BCPと危機管理」pp.217-220を担当。
Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters	分担執筆	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), What Is Law? System of Law (pp.153-154), Corporations and Societal Safety (pp.154-155), BCP and Crisis Management (pp.190-192)を担当。
(論考・研究資料等) コンプライアンス担当者の為の法令部会	単著	2018年7月	経営倫理実践研究センター	経営倫理91号, pp.34-35
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会・学術団体の発表) 内部通報制度の活性化が企業を救う ― 通報者保護の重要性 ―	単独	2018年11月5日	日本経営倫理士協会	日本経営倫理士協会主催、関西大学社会安全学部共催、特別シンポジウム『「内部通報」の浸透・定着 いよいよ「認証制度」導入 ―』における講演、於関西大学東京センター（東京）
(招待講演) リスクマネジメントとクライシスマネジメント概論	単独	2018年12月25日	株式会社アデランス	グローバルCSR広報研修、於アデランス本社（東京）
ビジネスエシックス ― 経営幹部として知っておくべきコンプライアンス上の論点 ―	単独	2018年12月12日	東日本電信電話株式会社様	2018年度経営幹部CSR研修「リスクマネジメント」における講演、於NTT中央研修センター（東京他）
経営者として知っておくべきコンプライアンス上の論点と経営倫理	単独	2018年12月2日	株式会社大和証券グループ本社	大和経営アカデミー、於大和証券多摩研修センター（東京）
コンプライアンス経営の重要性	単独	2018年9月7日	中日本高速道路株式会社	中日本高速道路 所長研修「リスクマネジメント・コンプライアンス」における講演、於NEXCO中日本人財開発センター（東京）
GDPR（EU一般データ保護規則）と企業の危機管理	単独	2018年9月4日	中外製薬株式会社	アドバイザーコミッティーでの講演、於中外製薬本社（東京）
企業を取り巻く社会からの要請の変化と企業の対応 ― 情報・ハラスメントをキーワードに ―	単独	2018年7月4・10・12日	エム・ユー不動産調査株式会社	エム・ユー不動産調査コンプライアンス講演会、於同社大阪支社（7月4日）、名古屋支社（7月10日）、東京本社（7月12日）
近年の企業不祥事 ― その原因と予防・事後対応に関して ―	単独	2018年5月9日	ダイキン工業株式会社	ダイキン工業第110回CLO会議における講演と全体ディスカッションのファシリテーター、於ダイキン工業本社（大阪）
コンプライアンス研修	単独	2018年3月1日	株式会社ローソン	ローソングループ役員・部門長コンプライアンス研修での講演、於ローソン本社（東京）
企業を取り巻く社会からの要請の変化と企業の対応 ― 情報・企業グループをキーワードに ―	単独	2018年2月27日	関西電力株式会社	関西電力グループCSR研修における講演、於関西電力本社（東京）
コンプライアンス経営の重要性	単独	2018年2月17日	中日本高速道路株式会社	中日本高速道路 部長研修「リスクマネジメント・コンプライアンス」における講演、於NEXCO中日本人財開発センター（東京）

研 究 業 績

資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C)	代表	平成28～30年度	1500 (3,500)	「新しい個人情報保護法制とグローバル企業の情報法コンプライアンスの研究」
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本経営倫理学会 理事 (2011年6月～2017年6月), 常任理事 (2017年6月～現在)				
情報ネットワーク法学会 監事 (2012年1月～現在), サイバー法務研究会 主査 (2018年12月～現在)				
日本リスクマネジメント学会 評議員 (2008年9月～現在), 監事 (2016年9月～現在)				
ソーシャルリスクマネジメント学会 理事 (2013年～現在)				
日本リスク研究学会 会員				
企業法学会 会員				
法とコンピュータ学会 会員				
日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員				
(社会貢献活動)				
経営倫理実践研究センター フェロー (2010年4月～11年3月), 主任研究員 (2011年4月～12年3月), 上席研究員 (2012年4月～現在)				
日本経営倫理士協会 理事 (2013年7月～現在)				
神戸市 個人情報保護審議会 委員 (2016年2月～現在)				
情報法制研究所 参与 (2016年5月～現在)				
株式会社アデランス 社外取締役 (2016年5月～現在)				
関西電力株式会社 経営監査委員会 社外委員 (2014年7月～現在)				
公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員 (2014年11月～現在)				
中外製薬株式会社 アドバイザリーコミッティーメンバー (2016年1月～現在)				
西日本旅客鉄道株式会社 アドバイザー (2018年3月～現在)				
(その他業績として記載を希望する事項)				
✓ CSR レポート等の第三者意見等の執筆				
「第三者意見」所収「ハウス食品グループCSRレポート2018」2018年, P.21				
「第三者意見」所収「タクマCSR報告書2018」2018年, P.73				
「第三者意見」所収「ゲンゼ統合レポート2018」2018年, P.29				
「第三者意見」所収「日本ガイシNGK Report 2018」2018年, P.78				
※その他, 「社会からの期待」所収「JR西日本 CSR REPORT 2018 ― 企業考動報告書 ―」P.60など				

■ 高橋 智幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書) 第6章 自然災害	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.64-80, 林能成, 一井康二, 小山倫史, 高橋智幸
Natural Disasters	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.57-71, K. Ichii, Y. Hayashi, T. Koyama, T. Takahashi
(学術論文) Real-time tsunami detection with oceanographic radar based on virtual tsunami observation experiments	共著	2018年7月17日	MDPI	Remote sensing, 10(7), 1126, Kohei Ogata, Shuji Seto, Ryotaro Fuji, Tomoyuki Takahashi and Hirofumi Hinata, 査読有, https://doi.org/10.3390/rs10071126
Sediment transport modeling of multiple grain sizes for the 2011 Tohoku tsunami on a steep coastal valley of Numanohama, northeast Japan	共著	2018年11月1日	ELSEVIER	Marine Geology, Vol.406, pp.77-91, Aditya Riadi Gusman, Tomoko Goto, Kenji Satake, Tomoyuki Takahashi and Takeo Ishibe, 査読有, https://doi.org/10.1016/j.margeo.2018.08.003
強い非定常流れにおける飽和浮遊砂濃度を考慮した津波土砂移動モデルの改善	共著	2018年11月10日	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I_325-I_330, 山下啓, 菅原大助, 有川太郎, 嶋原良典, 高橋智幸, 今村文彦, 査読有, https://doi.org/10.2208/kaigan.74I_325
1局の海洋レーダを用いた津波波峰推定法の検討とその適用例	共著	2018年11月10日	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I_511-I_516, 門廻充侍, 高橋智幸, 日向博文, 藤良太郎, 今村文彦, 査読有, https://doi.org/10.2208/kaigan.74I_511
津波堆積物に基づく津波波源推定データベースの構築	共著	2018年11月10日	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I_541-I_546, 高橋智幸, 川崎浩司, 平田賢治, 査読有, https://doi.org/10.2208/kaigan.74I_541
太平洋・日本近海での長期海面変動特性と海面上昇の将来予測	共著	2018年11月10日	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp. I_1369-I_1374, 鷺田正樹, 山下隆男, 高橋智幸, 査読有, https://doi.org/10.2208/kaigan.74I_1369
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) サンゴ礁再生を目的としたマイクロ水力発電システム	単独	2018年1月19日	関西大学先端科学技術推進機構	第22回関西大学先端科学技術シンポジウム, 関西大学100周年記念会館, 吹田市
Estimation of variance of measured tsunami height distribution based on field survey following the 2011 Tohoku earthquake tsunami	単独	2018年4月9日	European Geosciences Union	European Geosciences Union General Assembly 2018, EGU2018-5026, Vienna, Austria
津波堆積物に基づく波源推定データベースの紹介	共同	2018年5月24日	日本地球惑星科学連合	2018年連合大会, HDS10-27, 高橋智幸, 川崎浩司, 平田賢治, 千葉市
水理実験データから得られた粒径と反射波による津波堆積物への影響に関する数値実験	共同	2018年5月24日	日本地球惑星科学連合	2018年連合大会, HDS10-28, 山本阿子, 高橋智幸, 原田賢治, 櫻庭雅明, 野島和也, 千葉市
Development of the Tsunami Observation and Prediction System Using Ocean Radar and Others at Hamaoka NPS	共同	2018年6月6日	Asia Oceania Geosciences Society	15th Annual Meeting AOGS, IG03-A002, Yoshihito Tanaka and Tomoyuki Takahashi, Honolulu, USA
Feasibility Study on Tsunami Source Estimation from Observed Water Level Change by Machine Learning	単独	2018年6月6日	Asia Oceania Geosciences Society	15th Annual Meeting AOGS, IG03-A005, Honolulu, USA

研究業績

Numerical Simulation of Tsunami-Induced Sediment Transport Considering Saturation Concentration in Suspension with Strong Unsteady Flow	共同	2018年6月4日	Asia Oceania Geosciences Society	15th Annual Meeting AOGS,IG03-A019, Kei Yamashita, Daisuke Sugawara, Taro Arikawa, Yoshinori Shigihara, Tomoyuki Takahashi and Fumihiko Imamura, Honolulu, USA
Examination for Moment Magnitude of the Small Tsunami Observable by Oceanographic Radar Installed in Wakayama Prefecture	共同	2018年6月6日	Asia Oceania Geosciences Society	15th Annual Meeting AOGS, IG03-A020, Shuji Seto, Tomoyuki Takahashi, Hirofumi Hinata, Ryotaro Fuji, Fumihiko Imamura, Honolulu, USA
Numerical Experiment on Validation of Tsunami Sediment Transport Model for Various Sand Grains Using Hydraulic Experiment Data	共同	2018年6月6日	Asia Oceania Geosciences Society	15th Annual Meeting AOGS, IG03-A021, Ako Yamamoto, Tomoyuki Takahashi, Kenji Harada, Masaaki Sakuraba and Kazuya Nojima, Honolulu, USA
Hydraulic Experiment on Spatial Distribution of Tsunami Deposits and Hydraulic Characteristics of Tsunami	共同	2018年6月6日	Asia Oceania Geosciences Society	15th Annual Meeting AOGS,IG03-A036, Kenji Harada, Tomoyuki Takahashi, Ako Yamamoto, Masaaki Sakuraba, Kazuya Nojima, Junpei Mineta, Honolulu, USA
津波統合モデル解析の高度化	単独	2018年7月21日	東北大学災害科学国際研究所	IRIDeS 金曜フォーラム, 仙台市
シナリオによって変化する津波・水害シミュレーション情報の適切な提示手法に関する研究	共同	2018年11月3日	地域安全学会	研究発表会(秋季), 牧紀男, 馬場俊孝, 高橋智幸, 柄谷友香, 川崎浩司, キム・ミンスク, 静岡市
深層学習による津波波源推定の実現可能性	単独	2018年12月21日	東京大学他	第8回巨大津波災害に関する合同研究集会, 東京
(招待講演) 津波防災研究ポータルサイトの紹介	単独	2018年5月24日	日本地球惑星科学連合	2018年連合大会, HDS10-07, 千葉市
浜岡原子力発電所における津波監視システムの開発: 海洋レーダの性能評価と津波予測	共同	2018年5月24日	日本地球惑星科学連合	2018年連合大会, SCG67-11, 田中良仁, 上原史洋, 日向文博, 高橋智幸, 藤良太郎, 林健次, 千葉市
FUNDAMENTAL STUDY ON INFLUENCE OF TSUNAMI SOURCE HETEROGENEITY ON TSUNAMI HEIGHT DISTRIBUTION ALONG A COAST	単独	2018年9月6日	European Seismological Commission	36th General Assembly, ESC2018-S35-130, Valletta, Malta
最近の水害から岡山の洪水対策を考える	単独	2018年9月15日	関西大学他	特別講演 ー 岡山の自然災害を考える ー, 岡山市
東日本大震災後の津波防災研究	単独	2018年9月22日	社会空間情報科学研究センター	社会基盤 WG, 吹田市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	代表	2017年～2019年	3,000 (12,900)	激甚被災地探索を目的とした津波波源推定への機械学習の適用可能性
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	分担	2017年～2019年	300	津波災害に対するまちづくりを含めた統合的減災システムの設計・評価と社会実装の検討
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2017年～2019年	400	津波堆積物の形成過程に基づく来襲津波の評価手法の開発
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2016年～2018年	500	仮想津波観測実験に基づく海洋レーダ津波計測性能検証と津波防災への展開
中部電力原子力安全技術研究所 公募研究(一般)	分担	2017年～2019年	442 (738)	津波計測レーダネットワーク構築のための海洋レーダと観測技術の開発
東北大学災害科学国際研究所リソースを活用した共同研究助成	代表	2018年	688	津波統合モデル解析の高度化
東北大学災害科学国際研究所リソースを活用した共同研究助成	分担	2018年	0	津波統合モデルを用いた津波による地形変化の確率的評価手法の構築

関西大学先端科学技術推進機構 研究グループ	分担	2016年～2018年	0 (0)	微弱電流を用いたサンゴ再生促進技術の開発
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本地震学会				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会				
可視化情報学会				
日本地球惑星科学連合				
歴史地震研究会				
American Geophysical Union				
(社会貢献活動)				
土木学会 原子力土木委員会 委員				
土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長				
土木学会 海岸工学委員会 委員				
土木学会 海岸工学委員会 津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会 委員長				
土木学会 海岸工学委員会 論文集編集小委員会 委員				
土木学会 減災アセス小委員会 委員				
土木学会 海洋開発論文集査読小委員会 委員				
日本自然災害学会 科学編集委員会 委員				
The IUGG Joint Tsunami Commission Member				
Journal of Disaster Research Editorial Board Member				
文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員				
国土交通省 東北地方整備局リバーカウンセラー				
総務省 インドネシア国における津波・海洋レーダーの導入に向けた調査検討委員会 委員				
防災科学技術研究所 津波ハザード・リスク情報の高度利用に関する委員会 委員				
大阪府 石油コンビナート等防災計画進行管理検討部会 専門員				
福井県 津波浸水想定設定に関するアドバイザー				
高槻市 都市計画審議会 委員				
吹田市 総合計画審議会 委員				
特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 理事				
財団法人防災研究協会 非常勤研究員				

研究業績

■ 土田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 安全とリスクの心理学：ころがつくる安全のかたち	編著	2018年9月	培風館	1頁-185頁 (担当部分：1頁-36頁, 89頁-119頁, 155頁-174頁)
(学術論文) 人間のリスク認識	単著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編)『社会安全学入門』30頁-31頁
社会問題の解決におけるリスク認識の重要性	単著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編)『社会安全学入門』32頁-33頁
Contemporary Societies and Risk	共著	2018年12月	Springer	Abe, S., Ozawa, M., Kawata, Y. (eds.), "Science of Societal Safety: Living at Time of Risks and Disasters", pp.27-36. (Tsuchida, S., Kondo, S., Koshiyama, K.)
(その他, 論考・研究資料等) リスク認知と安全概念	単著	2018年6月	和歌山県医師会	和歌山県医報：第762号
福島復興に向けた「風評被害」への対応：春の年会での理事会セッション	共著	2018年9月	日本原子力学会	日本原子力学会誌：第60巻, 9号, 542頁-548頁 (寿楽浩太・土田昭司・下道國・神里達博)
リスクコミュニケーションを社会心理学から考える	単著	2018年10月	大阪ニュークリアサイエンス協会	第67回放射線科学研究会資料集, 21頁-27頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) The effect of metacognition on help-seeking intentions by the scene imagination method: Preliminary survey in high school students	共同	2018年3月13日	Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018 (関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市]) (Shizuma, T., Tsuchida, S.)
A study on Disaster related death associated with the Great East Earthquake in Fukushima Prefecture	共同	2018年3月13日	Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018 (関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市]) (Kubo, M., Tsuchida, S.)
Attitude of Japanese Citizens toward Decommissioning of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: Risk Perception and Trust	共同	2018年3月13日	Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018 (関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市]) (Urayama, K., Tsuchida, S.)
Mass Panic phenomena at Disasters in China in comparison to Japan and the US.	共同	2018年7月18日	Iwate University, Tsinghua University, Harvard University	The Global Conference on the International Network of Disaster Studies in Iwate, Japan "Iwate Conference" (いわて県民情報交流センター「アイーナ」[岩手県盛岡市]) (Tsuchida, S., He, Y.)
God's Altruism: Cultural difference of responsibility for safety	単独	2018年7月30日	Decision Research	Workshop on Compassion Research and Pro-social Decision Making (Decision Research [Eugene, USA])
要配慮者の地域防災活動への関与に影響する要因の検討	共同	2018年8月25日	日本応用心理学会	日本応用心理学会第85回大会 (大阪大学 [大阪府吹田市]) (静間健人・土田昭司)
東日本大震災の復興におけるリーダーの在り方についての考察：サーバント・リーダーシップと実践研究	共同	2018年10月28日	日本災害復興学会	日本災害復興学会10周年記念大会 (東京大学 [東京都文京区]) (久保稔・土田昭司)
(招待講演) リスク認知と安全概念	単独	2018年2月10日	和歌山県医師会	第136回ライフサイエンス懇話会 (和歌山県民文化会館 [和歌山県和歌山市])
安全概念とリスクコミュニケーション	単独	2018年2月19日	電源開発株式会社	電源開発株式会社研修 (大電源開発株式会社本店 [東京都中央区])

社会安全学研究 第9巻

Collective Behaviors in War	単独	2018年3月13日	関西大学	関西大学教育研究緊急支援経費シンポジウム「朝鮮半島における軍事的緊張についてのリスク分析的検討：リスク分析学のアジアにおける新展開と地域性と多様性の融合に向けて」(関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市])
Psychology and Risk Analysis (Keynote Speech)	単独	2018年3月14日	The Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis Asia Conference 2018 (関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市])
社会心理学の視点からのアプローチと対処策の展望	単独	2018年3月26日	日本原子力学会	日本原子力学会春の年会「企画シンポジウム：福島復興に向けた「風評被害」への対応」(大阪大学 [大阪府吹田市])
トリチウム水問題についての社会科学的側面	単独	2018年5月9日	福島復興・廃炉に貢献する学協会連絡会 (ANFURD)	「トリチウム水の取扱い」に関する勉強会 (TKP 新橋カンファレンスセンター [東京都港区])
消費者教育と高齢者を見守る地域ネットワークの構築	単独	2018年6月12日	高知県	平成30年度高知県消費生活相談員研修 (高知県立消費生活センター [高知県高知市])
人はどうして賢く怖がることが出来ないのか?: 社会心理学から考える	単独	2018年8月25日	関西大学	関西大学グリーンキャンパス社会安全学部 (関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市])
リスクマネジメント研修	単独	2018年10月16日	若狭湾エネルギー研究センター	経済産業省「平成30年度原子力の安全性向上を担う人材育成事業」(若狭湾エネルギー研究センター [福井県敦賀市])
原子力の平和利用に関わるリスク心理とコミュニケーション	単独	2018年10月23日	東京大学	東京大学大学院工学研究科 先進原子力特別講義第三 (東京大学 [東京都文京区])
リスクコミュニケーションを社会心理学から考える	単独	2018年10月26日	大阪ニュークリアサイエンス協会	第67回放射線科学研究会 (住友クラブ [大阪府大阪市])
People of Fukushima after NPP Disaster	単独	2018年11月15日	Japan Foundation, Kansai University, University of Southern California	Symposium on Population Migration and Repatriation Following Major Disasters (University of Southern California [Los Angeles, USA])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
関西大学教育研究緊急支援経費	代表	2018年3月	2,537 (2,537)	朝鮮半島における軍事的緊張についてのリスク分析的検討：リスク分析学のアジアにおける新展開と地域性と多様性の融合に向けて
東北電力株式会社「受託研究」	代表	2018年度	1,533 (1,533)	EMF コミュニケーションの動向調査研究
科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) [基礎研究 (C)]	代表	2018年度 -2021年度	910 (3,900)	中国における災害時パニックおよび災害時クレーズの発生要因についての研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
The Society for Risk Analysis				
日本リスク研究学会				
日本原子力学会				
日本行動計量学会				
日本心理学会				
日本社会心理学会				
日本グループ・ダイナミックス学会				
日本応用心理学会				
日本消費者行動研究学会				
(社会貢献活動)				
The Society for Risk Analysis, Councilor				
(一社) 日本原子力学会, 理事, 社会・環境部会部会長				

研 究 業 績

(公益財) JR 西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員
(財) 電気安全環境研究所, 経済産業省パンフレット「電磁界と健康」監修委員
(財) 電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員
(財) 電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー
(財) 大阪科学技術センター, 「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員
高槻市, 「高槻市消費者教育推進研究会」オブザーバー

(その他業績として記載を希望する事項)

The Society for Risk Analysis より Presidential Merit Award を受賞 (2018年12月)

The Society for Risk Analysis Asia Conference 2018 (2018年3月) Chair, Organizing Committee

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書) 第8章 環境リスク	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.97-109, 高鳥毛敏雄, 永松伸吾, 広瀬幸雄
第9章 戦争・犯罪・テロ	単著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.110-123
第16章 防災・減災・縮災のための民間システム	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.211-224, 桑名謹三, 菅磨志保, 高野一彦, 永松伸吾, 中村隆宏
Environmental Risks	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.87-97, T. Takatorige, Y. Hirose, S. Nagamatsu
War, Crimes, and Terrorism	単著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.99-109
Systems for Disaster Management in the Private Sector	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.185-196, M. Suga, K. Kuwana, S. Nagamatsu, T. Nakamura, K. Takano
(学術論文) Estimation of the Fiscal Impact on Japanese Governments of Anticipated Nankai Trough Megathrust Earthquake	共著	2018年8月	Faculty of Economics, Kyushu University	『経済学研究院ディスカッション・ペーパー』MIYAZAKI, Takeshi, NAGAMATSU, Shingo 全26頁, DP2018-1 (共同研究につき, 本人担当部分抽出不可能)
Societal Issues in Urban Earthquake Disasters: Lessons of the 2018 Osaka Earthquake	共著	2018年8月	Earthquake Engineering Research Institute	EERI, Learning from Earthquakes, NAGAMATSU, Shingo GOLTZ, James, MATSUKAWA, Anna, 全26頁 (共同研究につき, 本人担当部分抽出不可能)
(その他, 論考・研究資料等) 台風21号の教訓: 大水害に備えて広域避難の態勢を	単独	2018年9月	株式会社アゴラ研究所	アゴラ・言論プラットフォーム (WEB) http://agora-web.jp/archives/2034877.html
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Return Migration after Catastrophic Disasters: A Case of Fukushima Nuclear Power Plant Accident	共同	2018年3月13日	The Society for Risk Analysis	Asia Conference 2018, "Communication and collaboration in diversity of risk reseaches in East Asia," Kansai University, Takatsuki Muse Campas
Return Migration after 2011 Fukushima Nuclear Disaster	共同	2018年7月8日~11日	Natural Hazards Center	43rd Annual Natural Hazards Research and Applications Workshop, Omni Interlocken Resort, Colorad, Denver, United States
Return Migration after Fukushima Nuclear Acciden	共同	2018年10月2日	Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society	University of South New Wales (UNSW), Sydney, Australia
Effect of the Housing Recovery Process on the People Who Faced Damages Caused by the Great East Japan	共同	2018年10月2日	Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society	University of South New Wales (UNSW), Sydney, Australia
How did the Impact of Two Earthquake Risk Assessments on Land Price Changed?	共同	2018年10月3日	Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society	University of South New Wales (UNSW), Sydney, Australia

研究業績

Preserving Disaster Monument: Is It a Price Worth Paying?	共同	2018年10月3日	Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society	University of South New Wales (UNSW), Sydney, Australia
Return Migration and Decontamination after the 2011 Fukushima Nuclear Power Plant Accidents	共同	2018年11月9日	North American Regional Science Conference	Hyatt Regency San Antonio, TX, United States
(招待講演) 米国における災害検証について (基調講演)	単独	2018年10月26日	日本災害情報学会・ 日本災害復興学会	日本災害復興学会10周年記念大会・日本 災害情報学会20周年記念大会合同大会記 念シンポジウム, 東京大学本郷キャンパ ス安田講堂
Population Repatriation of Migrants Following the 2011 Fukushima Nuclear Power Plant Disaster	共同	2018年11月15日	Japan Foundation, Kansai University, and University of Southern California Bedrosian Center on Governance	Symposium on Population Migration and Repatriation Following Major Disasters, University of Southern California, Los Angeles, United States.
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科研費基盤 B	代表	2017年度～ 2019年度	5,600 (16,250)	疑似実験的手法を用いた防災政策の実証 的評価
科研費基盤 B	分担	2016年度～ 2018年度	300 (17,680)	自然災害安全性指標 (GNS) 構築のため の脆弱性評価の確立と防災戦略への反映
科研費基盤 B	分担	2018年度～ 2020年度	300 (17,160)	巨大災害を迎え撃つ防災計画体系の構築
科研費基盤 A	分担	2018年度～ 2020年度	1,000 (44,720)	水害時における避難行動理論の構築
関西大学教育研究促進費	代表	2017年度～ 2018年度	1,416 (2,618)	災害移民に関する国際的研究連携体制の 構築
Interrectural Exchange Program, The Japan Foundation, Center for Global Partnership	分担	2017年度～ 2018年度	USD 44,363 (85,379)	A Comprehensive Framework for Assessing and Responding to Disaster- Related Migration
学術研究振興資金 (日本私立学校振興・共 済事業団)	代表	2018年度	600,000 (600,000)	災害移民に関する国際比較研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公共政策学会				
日本経済学会				
日本計画行政学会				
地域安全学会				
日本自然災害学会				
日本リスク研究学会				
日本災害復興学会				
日本行政学会				
日本災害情報学会				
(社会貢献活動)				
地盤工学会関東支部 自然災害に対する安全性指標 (GNS) の開発とその利活用に関する研究委員会 委員				
国土技術研究センター 河川研究会 委員				
明石市国民保護協議会 委員				
地域安全学会 学術委員				
日本災害復興学会 理事				

■ 中 村 隆 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 第7章 社会災害	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編), 社会安全学入門, pp.81-96, 小澤守, 辛島恵美子, 小山倫史, 西村弘
第16章 防災・減災・縮災のための民間システム	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編), 社会安全学入門, pp.211-224, 桑名謹三, 菅摩志保, 高野一彦, 永松伸吾
ヒューマンエラー防止のための教育訓練	分担執筆	2018年5月	エス・ティー・エス	芳賀 繁(監修) ヒューマンエラーの理論と対策 pp.175-181
人的災害とヒューマンエラー	分担執筆	2018年9月	培風館	土田昭司(編著) 安全とリスクの心理学 pp.37-58
Social Disasters and Damages	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, & Y. Kawata, (Eds.), Science of Societal Safety; Living at times of risks and disasters, pp.73-86
Systems for Disaster Management in the Private Sector	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, & Y. Kawata, (Eds.), Science of Societal Safety; Living at times of risks and disasters, pp.185-196
(学術論文) 模擬飛行実験における航空機操縦未熟練者の技能習熟度と認知課題成績および自己評価との関連性	共著	2018年8月	日本プラント・ヒューマンファクター学会	ヒューマンファクターズ Vol.23 No.1, pp.12-29, 初谷友希, 中村隆宏 (査読有) 共同研究につき, 本人担当部分抽出不可能
(その他, 論考・研究資料等) 東京オリンピック・パラリンピックに向けて巨大空港の救急医療体制を考える	共著	2018年4月	東京法令出版	プレホスピタル・ケア第31巻第2号(通算144号) pp.36-39, 北村伸哉, 松尾晋一, 青木悟郎, 滝脇博之
安全管理におけるヒューマンエラーへの対応	単著	2018年11月	日本冷凍空調学会	冷凍 Vol.093 No.1093, pp38-41
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 関西大学社会安全学部における 安全教育～実践的教育の展開～	単独	2018年7月31日	関西工学教育協会	関西工学教育協会機械分科会 大阪大学中之島センター
(招待講演) 災害・事故への備えとヒューマンエラー	単独	2018年6月1日	震災対策技術展	第5回震災対策技術展セミナー 大阪コングレコンベンションセンター
災害防止とヒューマンエラーへの対応	単独	2018年6月8日	東急建設株式会社大阪支店	東急建設大阪支店2018年度安全衛生大会 ヴィアール大阪
事故・災害防止のためのヒューマンエラーへの対応について	単独	2018年6月15日	北大阪労働基準協会支部	北大阪安全大会 北大阪商工会議所
事故・災害防止のためのヒューマンエラーへの対応	単独	2018年6月21日	人事院近畿事務局	平成30年度安全対策会議 大阪中之島合同庁舎
事故・災害を防ぐために「人」には何ができる?何ができない?	単独	2018年7月2日	関西電力株式会社	関西電力安全衛生大会 関西電力本店
人はなぜ事故を起こすのか?—事故・災害防止のためのヒューマンエラーへの対応	単独	2018年7月6日	中部電力株式会社	中部電力株式会社安全講演会 東桜会館多目的ホール
事故・災害を防ぐために「人」には何ができる?何ができない?	単独	2018年10月17日	関西電力株式会社滋賀電力本部	関西電力滋賀地域安全文化圏推進会 関西電力滋賀支社
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会 正会員 日本応用心理学会 正会員 日本人間工学会 正会員				

研 究 業 績

日本交通心理学会 正会員
産業組織心理学会 正会員
日本ヒューマンインタフェース学会 正会員
土木学会 正会員
電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員
日本航空医療学会 正会員
日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員

(その他業績として記載を希望する事項)

東北大学大学院 東北電力受託研究プロジェクト「組織安全と現場における作業実態と手順書の関係に着目したヒューマンファクタ研究」
技術情報交換研究会 2018年4月～

東京電力パワーグリッド株式会社 リスクアセスメントにおける課題・問題点への改善指導、他 2018年4月～2019年3月

一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師 2018年6月1日～11月30日

東京電力ホールディングス株式会社ビジネスソリューション・カンパニー人財・組織開発センター 「安全教育研修」の実施に伴う指導・
評価 ～2019年3月

茨城県経営者協会 第8回「ヒューマンエラー防止セミナー」講師 2018年10月12日 水戸プラザホテル

一般社団法人全国登録教習機関協会 高所作業車運転業務従事者「危険再認識教育」に係る講師養成研修 講師・総合指導 2018年9月
19日～20日@アイチ研修センター新治教習所

大阪府交通安全協会 安全運転管理者講習 講師 2018年4月～2019年3月

東京電力ホールディングス株式会社 DVD 「隠れた危険は2段階でブロック」監修 2018年8月

■ 西村 弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書) 第2章 科学技術の発展と人間社会	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.16-29, 辛島恵美子, 西村弘, 河野和宏
第7章 社会災害	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.81-96, 小山倫史, 小澤守, 中村隆宏, 西村弘
Advancement in Science and Technology and Human Societies	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.15-26, E. Kanoshima, H. Nishimura, K. kono
Social Disasters and Damages	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.73-86, T. Koyama, M. Ozawa, T. Nakamura, H. Nishimura
(その他, 論考・研究資料等) 交通研究の来し方・行く末 — 科学と学問をめぐる交通学徒の一考察 —	単著	2018年7月	関西大学社会安全学部 社会安全研究センター	『社会安全学研究』第9号, 2019年3月 (2018年7月WEB公開済み)
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会 日本海運経済学会 港湾経済学会 交通権学会 公益事業学会 日本物流学会 日本環境会議 (理事)				
(その他業績として記載を希望する事項) 公益財団法人 地域再生センター (通称あおぞら財団) 評議員 高槻市産業振興審議会委員 京都市域タクシー準特定地域協議会会長 広島交通圏タクシー特定地域協議会会長 大阪タクシーセンター 評議員 近畿貸切バス適正化センター 諮問委員会委員長 大阪市域タクシー特定地域協議会会長				

研究業績

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書) 第6章 自然災害	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.64-80, 林能成, 一井康二, 小山倫史, 高橋智幸
第11章 リスクマネジメント	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.136-146, 亀井克之, 林能成
Natural Disasters	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.57-71, K. Ichii, Y. Hayashi, T. Koyama, T. Takahashi
Risk Management	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.121-128, K. Kamei, Y. Hayashi
(学術論文) 稍深発地震のためのオンライン地震警報基準の検討	共著	2018年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, vol.8 pp.71-80, 山村紀香と共著。(査読有)
地球科学者の社会的課題への向き合い方～鳥津康男博士の足取りから考える～	単著	2018年6月	地学史談話会	地学史談話会会報, vol.50, pp.31-34. (査読無)
「南海トラフ地震情報」の社会的影響の評価に関する学際研究プロジェクトの取り組み?どのように「理科」の情報を「社会」に活かすか?	共著	2018年8月	産業技術総合研究所	GSJ地質ニュース, vol.7, no.8, pp.191-198, 大谷竜・橋本学・堀高峰・川端信正・隈本邦彦・岩田孝仁・横田崇・谷原和憲・福島洋・兵藤守・入江さやかと共著。(査読無)
(その他, 論考・研究資料等) 書評: 東京は世界最悪の災害危険都市 (水谷武司著, 東進堂)	単著	2018年11月	日本地震学会	日本地震学会ニュースレター, 71巻 NL4号, p.19.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 常時微動計測から見た2種類のため池埋立地地盤の特徴	単独	2018年2月19日	高知大学理工学部	地震時複合災害のメカニズム解明に向けた技術開発に関する研究集会, 高知大学朝倉キャンパス
静岡県における1707年宝永地震の震度分布の再検討	共同	2018年9月23日	歴史地震研究会	歴史地震研究会大分大会, J:COM ホルトホール大分 (高橋那奈と共同)
墓石転倒率から見た2018年大阪府北部の地震における地震動分布の特徴	共同	2018年10月9日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会, ビックパレット福島 (川辺智士・中家愛梨と共同)
日本の地震学および地震防災の発展における20世紀前半に台湾で発生した地震の重要性	単独	2018年12月7日	日本地震工学会・他	第15回日本地震工学シンポジウム, 仙台国際センター
(招待講演) 歴史に見る南海トラフ地震 — 被害の様相と未来への教訓 —	単独	2018年7月14日	大和心のつどひ	第五三九回例会, 難波神社.
地震予知による防災の夢と現実	単独	2018年8月21日	土木学会	平成30年度実施土木学会第52回夏期講習会, 関西大学高槻ミューズキャンパス.
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本地震学会, 海外渡航旅費助成金審査委員, 代議員 歴史地震研究会, 総務委員長 American Geophysical Union Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会				
(社会貢献活動) 安全環境委員会・委員 (2013-) 静岡大学防災総合センター客員教授 (2016-) 日本金属プレス工業協会, 理事 (2016-)				

■ 広瀬 幸雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 社会安全学入門	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編 第8章第3節 環境リスクとその対策、第12章第1節リ スクコミュニケーション、第19章社会安 全のためのガバナンス・合意形成を担当
(学術論文) NIMBY型公共計画の合意形成ゲームの開 発	共著	2018年3月	関西大学社会安全学 部	社会安全学研究, 8巻, 83-90頁 広瀬幸 雄・大沼進・横山実紀
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) The framing effects of compensation on acceptance of NIMBY facility: A scenario experiment of High level radioactive waste geological repository.	共同	2018年3月14日	Society for Risk Analysis	Society for Risk Analysis, Asia Conference, Osaka, Japan
Psychological approach for siting a NIMBY facility: Assessing public acceptance of a geological repository for radioactive wastes.	共同	2018年6月29日	International congress of applied psychology	29th congress of applied psychology, 29th, June, Montreal Canada
無知のヴェールによる決定方法は社会的受 容を高めるか? 日本における高レベル放射 性廃棄物地層処分候補地選定を題材とした 仮想シナリオ調査.	共同	2018年11月10日	日本リスク研究学会	第31回日本リスク研究学会年次大会講演 論文集, pp.135-140. コラッセ福島, 福 島市
無知のヴェールはNIMBY問題の合意形成 に何をもたらすか?: 指定廃棄物処分立地 ゲームを用いた定性的分析.	共同	2018年11月18日	JASAG学会	日本シミュレーション&ゲーミング学会 全国大会報告集2018年秋号, 4-9. 熊本学 園大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	代表	2016年~2018年	3600千円 (14000千円)	高レベル放射性廃棄物地層処分の合意形 成での手続き的・分配的公正機能の日欧 比較
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本シミュレーション&ゲーミング学会 日本社会心理学会 日本心理学会 土木学会 日本リスク研究学会				
(その他業績として記載を希望する事項) 2018年3月8日 科学技術融合振興財団第7回 FOST 社会貢献賞受賞				

研究業績

■ 元吉 忠 寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書) 第4章 近代社会と学問の成立	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編) 社会安全学入門 pp.40-51. 川口寿裕, 元吉忠寛
第17章 被災者支援	単著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編) 社会安全学入門 pp.225-234.
災害の心理	単著	2018年9月	培風館	土田昭司(編著) 安全とリスクの心理学 pp.59-87.
Modern Societies and Establishment of Scholarship	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, & Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety; Living at times of risks and disasters. pp.37-46. T. Kawaguchi, T. Motoyoshi.
Supporting Disaster Victims	単著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, & Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety; Living at times of risks and disasters. pp.197-205.
(その他、論考・研究資料等) 災害時、人は「情報」だけでは動かない	単著	2018年12月	全国保険医団体連合会	月刊保団連, 1283, 1.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 災害情報の提示におけるリスク情報と自己スキーマの影響	単独	2018年1月18日	関西大学先端科学技術推進機構	第22回関西大学先端科学技術研究シンポジウム
災害自己効力感と防災意識の関連	単独	2018年9月25日	日本心理学会	日本心理学会第82回大会, 仙台国際センター
Effect of housing recovery process on the people who faced damages caused by the Great East Japan Earthquake.	共同	2018年10月3日	The Integrated Disaster Risk Management Society	The 9th Conference of the international Society for Integrated Disaster Management, Sydney, Australia
(招待講演) 子どもたちを災害から守るために備えること	単独	2018年3月23日	高槻市	子どもを持つお母さんのための減災講座, 南大冠公民館
人はなぜ避難指示に従わないのか	単独	2018年9月15日	関西大学	特別講演— 岡山の自然災害を考える—, 岡山コンベンションセンター
人はなぜ逃げ遅れるのか?	単独	2018年11月4日	大阪府診療放射線技師会	大阪府診療放射線技師会府民公開講座, ホテルグランヴィア大阪
災害から命を守るためにできること	単独	2018年12月8日	大阪府	大阪府温暖化「適応」推進事業, 摂津市コミュニティプラザ
安全な場所に逃げる人を増やしたい	単独	2018年12月9日	大阪市	みんな仲間だ! フェスティバル2018大阪市立男女共同参画センター中央館, クレオ大阪中央
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2017~2019年度	600千円	原発事故に関連する放射線不安はなぜ消えないのか: 精神影響長期化のメカニズムの解明
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会 日本教育心理学会 日本グループ・ダイナミックス学会 日本社会心理学会(編集委員) 日本リスク研究学会				

Society for Risk Analysis
American Psychological Association
(社会貢献活動)
兵庫県, 学校防災アドバイザー
(その他業績として記載を希望する事項)
大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター共同研究員

研 究 業 績

■ 山 川 栄 樹

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 改訂新版 数理学入門	単著	2018年3月	電気書院	
(分担執筆著書) 第10章 リスク分析の方法 Methods in Risk Analysis	共著 共著	2018年4月 2018年12月	ミネルヴァ書房 Springer	関西大学社会安全学部、社会安全学入門、pp.127-135、山川栄樹、川口寿裕 S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.113-120, E. Yamakawa, T. Kawaguchi
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 循環灌漑を実施する水田地域における大型 鰻脚類の生息状況の特徴	共同	2018年12月16日	琵琶湖博物館・近江 地域学会生きもの豊 かな農村づくり研究 会・日本生態学会近 畿地区会 共催	第9回びわ湖地域の水田生物研究会
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本甲殻類学会 日本陸水学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会 システム制御情報学会				

■ 山崎 栄一

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 社会安全学入門	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	社会安全学部編 担当部分「1(3)国・自治体と社会安全」179頁～180頁「3標準化と規格」184頁～191頁
福祉権保障の現代的展開 生存権のフロンティアへ	共著	2018年6月	日本評論社	尾形健編 担当部分「自然災害における社会保障」161～188頁
教育現場の防災読本	共著	2018年6月	京都大学学術出版会	中井仁監修 担当部分「第2章 災害と法律(うち、「第4節 防災関連特別法の例——土砂災害防止法」は中井仁との共著)」123～156頁
Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters (Trust)	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.) 14.1.3 Central and Local Governments and Societal Safety pp.155-156. 14.3 Standardization and Standards pp.160-163.
(その他、論考・研究資料等)				
第1回 消防とは何か?	単著	2018年6月	東京法令出版	月刊消防 2018年6月号 54～57頁
第2回 法とは何か?	単著	2018年7月	東京法令出版	月刊消防 2018年7月号 58～62頁
第3回 行政法の世界 その1	単著	2018年8月	東京法令出版	月刊消防 2018年8月号 54～57頁
第4回 行政法の世界 その2	単著	2018年9月	東京法令出版	月刊消防 2018年9月号 46～50頁
第5回 消防法の世界	単著	2018年10月	東京法令出版	月刊消防 2018年10月号 82～85頁
ブックレビュー 岡本正著『災害復興法学の体系:リーガルニーズと復興政策の軌跡』(勁草書房,2018年)	単著	2018年12月	第一法規	自治実務セミナー2108年12月号 57頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
研究プロジェクトの進行状況と課題	単独	2018年3月10日	科研費合同研究会議	立木科研・山崎科研合同研究会 同志社大学新町キャンパス 湊水館 1階会議室
Legal system for supporting disaster victims in Japan: Lesson and Problem from the Great East Japan Earthquake	単独	2018年5月13日	四川大学法学院	2018年 banaqia 災害法学シンポジウム 四川大学法学院
自然災害と自治体法務	単独	2018年5月19日	京都行政法研究会	職員会館かものがわ 中会議室
災害関連法体系基礎	単独	2018年6月6日	人と防災未来センター	災害対策専門研修(自治体職員向け) 国際健康開発センター
自然災害における社会保障	単独	2018年6月10日	福祉権研究会	同志社大学今出川キャンパス 徳照館(とくしょうかん) 1階会議室
日本におけるマルチハザード的危機管理法制度の可能性——マルチを担保する法制度とは何か?	単独	2018年6月17日	日本公共政策学会	企画委員会セッションⅧ 「マルチハザード型危機管理体制の最新動向」 桜美林大学
2016年～2018年までの研究成果	単独	2018年8月18日	科研費合同研究会議	山地科研合同研究会 神戸労働会館 4階 応接室
Research meeting Natural Disaster and Personal Information	ファシリテーター 単独	2018年11月23日	School of law at Canterbury University and Faculty of Societal Safety Sciences at Kansai University	DISASTER COUNTERMEASURE AND RECOVERY IN NEW ZEALAND AND JAPAN: LOOKING BACK AND LOOKING FORWARD To academic exchange between NZ and Japan (1st) Canterbury University (NZ)

研究業績

Natural Disaster and Personal Information	単独	2018年12月1日	Asian Law and Society Association (ALSA)	2018 Asian Law and Society Association (ALSA) conference (Law in the Asian Century) Socio-Legal Issues in Disaster Response: The Cases of Japan, the Philippines and New Zealand Bond University (AUS)
Research meeting	ファミリーター	2018年12月19日	School of law at Canterbury University and Faculty of Societal Safety Sciences at Kansai University	DISASTER COUNTERMEASURE AND RECOVERY IN NEW ZEALAND AND JAPAN: LOOKING BACK AND LOOKING FORWARD To academic exchange between NZ and Japan (2nd) Canterbury University (NZ)
(招待講演) 被災者支援 災害と応急対応	単独	2018年1月27日	防災士研修センター	防災士研修講座 大阪狭山市文化会館 SAYAMA ホール
避難行動要支援者をめぐる法制度～自治体の役割と課題～	単独	2018年1月29日	全国市町村研修財団	全国市町村国際文化研修所
予防行政と行政法	単独	2018年2月13日	岐阜県	岐阜県消防学校
被災者支援	単独	2018年2月17日	防災士研修センター	防災士研修講座 岡山ふれあいセンター
被災者支援 災害と応急対応	単独	2018年2月23日	防災士研修センター	防災士研修講座 シキボウホール
個人情報保護法の改正について	単独	2018年2月25日	平尾校区まちづくり協議会	平成29年度堺市地域まちづくり支援事業 平成29年度平尾校区地区防災計画策定に向けた基礎調査モデル事業報告会
災害関連法体系基礎	単独	2018年4月23日	三重県・三重大学 みえ防災・減災センター	平成30年度 市町防災担当職員を対象とした防災講座 三重大学
被災者支援 災害と応急対応	単独	2018年6月16日	防災士研修センター	防災士研修講座 広島県情報プラザ
防災の仕組みについて (災害法制)	単独	2018年6月18日	兵庫県	兵庫県 平成30年度 福祉専門職対象 防災対応力向上研修 兵庫県福祉センター 203会議室
防災の仕組みについて (災害法制)	単独	2018年6月26日	兵庫県	兵庫県 平成30年度 福祉専門職対象 防災対応力向上研修 姫路駅前じばさんびる
防災の仕組みについて (災害法制)	単独	2018年7月9日	兵庫県	兵庫県 平成30年度 福祉専門職対象 防災対応力向上研修 西宮市民会館
被災者の生活支援制度 被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2018年7月21日	兵庫県	平成30年度 阪神地域ひょうご防災リーダー講座 伊丹商工プラザ4階 会議・研修室 A
被災者の生活支援制度 被災者生活・災害時要援護者対策	単独	2018年7月22日	兵庫県	平成30年度 但馬地域ひょうご防災リーダー講座 豊岡市役所 本庁舎2階 大会議室
防災の仕組みについて (災害法制)	単独	2018年8月10日	兵庫県	兵庫県 平成30年度 福祉専門職対象 防災対応力向上研修 姫路駅前じばさんびる
これからの消防法学の展望	単独	2018年8月18日	神戸大学	第236回神戸大学 RCUSS オープンゼミナール 神戸市役所4号館(危機管理センター)1階会議室
災害と法	単独	2018年8月28日	大阪府立大学工業高等専門学校	大阪府立大学工業高等専門学校
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2017～2019年	400 (3,500)	災害後における支援団体への個人情報提供システムの構築
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	分担	2016～2018年	200 (11,700)	被災者支援レジーム/復興まちづくりの国際比較研究—ジェンダーの視点から

社会安全学研究 第9巻

文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	分担	2017～2020年	300 (11,900)	アジア災害地域のコミュニティ参加型減災社会制度基盤の比較研究
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	分担	2017～2019年	300 (3,600)	災害復興における多様な連携・協働を推進するシステムの構築に関する研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本公法学会				
日本社会保障法学会				
日本公共政策学会				
日本災害復興学会（学会誌編集委員会副委員長 法制度委員会委員長）				
日本災害情報学会				
地域安全学会				
日本火災学会				
地区防災計画学会（幹事）				
(社会貢献活動)				
総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員				
兵庫県 災害時要援護者支援指針改訂に係る検討会 委員				
大分県 再生可能エネルギー導入評価委員会 委員				
高槻市 行財政改革推進委員会 委員				
高槻市 個人情報保護運営審議会 委員				
大阪府立大学 評価委員会 委員長				
RASA（地域原子力防災支援協議会） 理事				
NPO 法人 障害者自立支援センター ドリームロード 監査				
(その他業績として記載を希望する事項)				
2018年度 関西大学学術研究員として、2018年4月から8月まで関西学院大学災害復興制度研究所、2018年9月から2019年3月まで Canterbury University School of Law に留学				
ラジオ出演				
サロン・ド・防災 テーマ：私たちの災害対策基本法 FM Salus				
2018年5月毎週日曜日（4週）9：40～ 15分間				
地域安全学会 第33号・第34号 の論文査読者				
関西学院大学災害復興制度研究所 指定研究員として法制度研究会を主催				

研 究 業 績

■ 岡 本 満 喜 子

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 職位による不安全行動の発言理由にかかる意識の相違	共同	2018年6月17日	日本交通心理学会	日本交通心理学会第83回鶴岡大会
(招待講演) 「人」に起因する事故防止のための安全管理体制構築	単独	2018年11月27日	小田急グループ	2018年度小田急グループバス分科会講演会
ヒューマンエラー防止に向けた取り組み —安全文化醸成の視点から—	単独	2018年10月16日	(独)自動車事故対策機構	第13回NASVA安全マネジメントセミナー
ヒューマンファクターの理解/組織事故とヒューマンエラー/事例の分析方法	単独	2018年9月10日	山形県看護協会	平成30年度医療安全管理者養成研修プログラム
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2016~2018年		反転学習を活用した自己に有利な判断スキーマ変容教育デザインの開発
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本交通心理学会 日本応用心理学会 日本産業・組織心理学会 日本交通科学学会				
(社会貢献活動) 運輸安全委員会委員 2017年10月~現在				

■ 奥村 与志弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 第15章 政府の防災・減災活動	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編, 社会安全学入門, pp.193-210, 小山倫史, 安部誠治, 近藤誠司, 奥村与志弘, 城下英行, 高鳥毛敏雄.
災害直後の行政	分担執筆	2018年6月15日	京都大学学術出版会	「防災読本」出版委員会著「教育現場の防災読本」, pp.165-181.
学校防災教育の例 ～愛知県田原市の小学校～	分担執筆	2018年6月15日	京都大学学術出版会	「防災読本」出版委員会著「教育現場の防災読本」, pp.352-354.
Government System for Disaster Management	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.169-184, T. Koyama, S. Abe, S. Kondo, Y. Okumura, H. Shiroshita, T. Takatorige.
(学術論文) 杭基礎建物の被災状況を踏まえた2011年東北地震津波による女川町の地盤応答特性の推定	共著	2018年	土木学会	佐藤祐子, 奥村与志弘, 米山望, 渡辺健, 清野純史, 土木学会論文集A1 (構造・地震工学), Vol.74, No.4 (地震工学論文集第37巻), pp.I_777-I_787. 査読有
無人航空機を用いた津波避難開始行動調査手法の提案	共著	2018年	土木学会	土肥裕史, 奥村与志弘, 上大迫弘隆, 清野純史, 土木学会論文集A1 (構造・地震工学), Vol.74, No.4 (地震工学論文集第37巻), pp.I_906-I_916. 査読有
訓練時の行動データを用いた避難開始行動の分析	共著	2018年	土木学会	土肥裕史, 奥村与志弘, 土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I_415-I_420. 査読有
Coastal Subsidence Induced Several Tsunamis During the 2018 Sulawesi Earthquake	共著	2018年	Fuji Technology Press Ltd.	T. Arikawa, A. Muhari, Y. Okumura, Y. Dohi, B. Afriyanto, K. Sujatmiko, and F. Imamura, J. Disaster Res., Vol.13 Sci. Comm., sc20181204. 査読有
津波避難訓練時の行動把握調査へのUAV活用に向けた検討	共著	2018年	地域安全学会	奥村与志弘, 土肥裕史, 今恵史, 2018年地域安全学会梗概集, No.42, pp.79-82.
(その他, 論考・研究資料等) 東日本大震災から7年 事例に学ぶ生活復興——災後・災前にすぐに役立つ〈生活復興〉読本——	分担執筆	2018年3月	ひょうご震災記念21世紀研究機構	復興庁 2017 (平成 29) 年度委託事業「東日本大震災被災者の生活復興プロジェクト報告書」, 子ども・学び・地域防災, pp.50-69.
2018年大阪府北部の地震に関する調査報告	分担執筆	2018年8月	土木学会関西支部	土木学会関西支部『大阪府北部の地震に対する災害調査団』, 第7章 災害対応, pp.17-19.
災害多発時代を生き抜く知恵 (新連載) ① 安全・安心の新時代の幕開け	単著	2018年11月	日本ボイラ協会	ボイラ・ニュース, 2018年11月号, pp.6.
	単著	2018年3月20日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊3面, 関大 社会安全学部リレーコラム
大災害でも奪われないもの	単著	2018年7月17日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊3面, 関大 社会安全学部リレーコラム
残された危険を一掃せよ	単著	2018年10月16日	産経新聞社	『産経新聞』夕刊3面, 関大 社会安全学部リレーコラム
ドローンを活用した津波避難対策プロジェクト	単著	2018年8月	関西大学社会連携部	『関西大学 地域連携事例集』Vol.4, pp.43.
生まれる前のことから学ぶこと, 他の地域から学ぶこと	単著	2018年9月11日	朝日新聞社	『朝日新聞』広告記事, 子ども新聞2018寄稿文.

研 究 業 績

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表)				
Characteristics of Evacuation Start during the 2017 Tsunami Evacuation Drill in Minami-Awaji	共同	2018年6月6日	Asia Oceania Geosciences Society (AOGS)	Yuji Dohi and Yoshihiro Okumura, Japan, 15th Asia Oceania Geosciences Society (AOGS), IG03-A029, Honolulu.
Consideration of Tsunami Design Load for Building by Comparison Between Japan and the U.S.	共同	2018年6月6日	Asia Oceania Geosciences Society (AOGS)	Takashi Mori, Yoshihiro Okumura, Junji Kiyono, 15th Asia Oceania Geosciences Society (AOGS), IG03-A025, Honolulu.
マルチ UAV 撮影を用いた避難訓練行動把握調査の可能性	共同	2018年10月6日	自然災害学会	奥村与志弘, 今恵史, 土肥裕史, 第37回自然災害学会学術講演会, I-3-4, 仙台市中小企業活性化センター (宮城県・仙台市).
Evacuation Simulation Method Focusing on Evacuation Start	共同	2018年11月28日		Yoshihiro Okumura and Yuji Dohi, Vietnam-Japan Symposium on Natural Disasters, Ho Chi Minh.
(招待講演)				
南海トラフ地震に関連する情報, 熊本地震の特徴	単独	2018年1月17日	田原市	田原市防災会議 特別講演, 田原市役所
高槻だからできる安全・安心なまちづくり — 「大学・企業・行政・地域の強み」と「太陽の防災」	単独	2018年1月22日	高槻市・関西大学	2017年度高槻市防災講演会, 関西大学高槻ミュージアムキャンパス
津波防災対策から協働のまちづくりへの展開	単独	2018年1月25日	兵庫県まちづくり技術センター	平成29年度まちづくり研修, 南淡公民館
広川町だからできる安全・安心なまちづくり — 「企業・地域・行政の強み」と「太陽の防災」	単独	2018年3月17日	稲村の火の館	第8回稲村の火講座, 稲村の火の館
地震津波シンポジウム パネルディスカッション	共同	2018年3月24日	和歌山大学・東北大学総合学術博物館	和歌山県民文化会館
『北風の防災』から『太陽の防災』へ	単独	2018年6月16日	フロムページ	インテックス大阪, Yumenavi LIVE
東日本大震災で起きたこと・起きていること	単独	2018年6月17日	朝日新聞社	子ども新聞プロジェクト事前授業, 朝日新聞名古屋本社
民生児童委員だからできる安全・安心なまちづくり — 巨大災害で死者を出さないために —	単独	2018年7月2日	吹田市民生・児童委員協議会	研修会, 吹田市文化会館
大阪北部地震を受けて — 今, 備えるべきこと —	単独	2018年7月17日	大阪府私立幼稚園連盟	大私幼防災・危機管理研修会, 大阪私学会館
御坊だからできる安全・安心なまちづくり	単独	2018年7月23日	御坊警備対策連絡協議会	研修会, 御坊警察署
災害に強く生きる	単独	2018年7月26日	田原市教育委員会	田原市教育委員会「防災キャンブ事業」特別授業 WS 有, 田原市立清田小学校
津波災害の怖さと津波から身を守る方法	単独	2018年8月21日	土木学会 教育企画・人材育成委員会 高校教育小委員会	第52回夏期講習会, 関西大学高槻ミュージアムキャンパス
International Workshop for Young Engineers「When a Mega Disaster Strikes... How would you respond if you were a mayor?」	共同	2018年8月29日	土木学会「留学生グループ」	北海道大学札幌キャンパス
防災・減災の新時代の幕開け	単独	2018年9月5日	北陽中学校	北陽中学校 (防災特別授業, WS 有), 高槻市高槻ミュージアムキャンパス
Tsunami Disaster Management	単独	2018年9月10日	Institut Teknologi Bandung	Public Lecture on Soil Dynamics, Earthquake Engineering, and Disaster Mitigation, Institut Teknologi Bandung
Tsunami Disaster Management	単独	2018年9月12日	State University of Padang	Public Lecture on Soil Dynamics, Earthquake Engineering, and Disaster Mitigation, State University of Padang

「北風の防災」から「太陽の防災」へ	単独	2018年9月15日	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻、災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座	第17回市民防災講座——災害リスクを考える——地震・津波災害に備える、大阪市
災害に強く生きる	単独	2018年9月19日	田原市教育委員会	田原市教育委員会「防災キャンプ事業」特別授業、田原市立南部小学校
関西大学でもそこまで言って委員会NP～日本の安全は大丈夫！？防災総点検SP～	共同	2018年10月27日	読売テレビ、読売新聞大阪本社	関西大学千里山キャンパス
高潮対策を考える——台風21号を踏まえて——	単独	2018年10月30日	芦屋市議会	芦屋市議会議員研修会、人と防災未来センター
南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸直下型地震について	単独	2018年11月18日	兵庫県阪神北地域ビジョン委員会グループ「知っ得防災」	市民防災講演会、伊丹市
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)	分担	2017～2019年	700 (2400)	内陸型地震と海溝型地震の双方に対応できる社会インフラの頑強・強靱化とその定量評価
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2017～2019年	750 (2150)	激甚被災地探索を目的とした津波波源推定への機械学習の適用可能性
2017年度 西日本旅客鉄道株式会社 受託研究	代表	2018年	1080	南海トラフ巨大地震に対する社会の強靱化に向けた鉄道事業者の役割
シューワ株式会社 共同研究	分担	2017～2018年	1000	南海トラフ巨大地震等を想定した灯油巡回サービス事業者の防災・減災事業展開の可能性
首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト	分担	2017～2021年	0	首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ活用に向けた連携体制の構築
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会				
日本地震学会				
地域安全学会				
AGU (アメリカ地球物理学連合)				
(社会貢献活動)				
1. 学会				
土木学会 関西支部『大阪府北部の地震に対する災害調査団』団員				
土木学会 地震工学委員会『土木学会地震工学論文編集小委員会』委員				
土木学会 海岸工学委員会『津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会』委員, WG1 主査				
土木学会 国際部門国際センター『留学生グループ』委員				
日本自然災害学会『学術委員会』委員				
地震工学会『第15回日本地震工学シンポジウム運営委員会』委員				
The IUGG Joint Tsunami Commission Member				
2. 地方自治体				
兵庫県『災害時における住民避難行動に関する検討会』委員				
岡山県『岡山県「平成30年7月豪雨」災害検証委員会』委員				
兵庫県 教育委員会『学校安全(防災)総合支援事業』学校防災アドバイザー				
高槻市『高槻市学校ブロック塀地震事故調査委員会』委員長				
南あわじ市『福良地区円卓会議』座長				
田原市『愛知県田原市防災会議』委員				
田原市 教育委員会『田原校区みんな参加の防災キャンプ実行委員会』アドバイザー				

研 究 業 績

<p>草津市 老上西学区まちづくり協議会『草津市老上西学区地区防災計画策定』アドバイザー</p> <p>3. その他の委員など</p> <p>人と防災未来センター『災害メモリアルアクション神戸 実行委員会』委員</p> <p>日本赤十字社愛知県支部・朝日新聞愛知県支部『子ども新聞プロジェクト』アドバイザー</p> <p>NPO 法人 大規模災害対策研究機構 理事</p>
<p>(非常勤講師)</p> <p>神戸学院大学 現代社会学部</p> <p>京都大学 防災研究所</p>
<p>(報道・取材協力)</p> <p>H30.05.21：MBS ラジオ「ニュースなラヂオ 10分で現代（いま）を解説！『津波からの避難 自転車の可能性は？』（20時台約10分）、取材協力。</p> <p>H30.06.21：朝日新聞「地震 身近に潜む危険」朝刊24面、科学面、取材協力。</p> <p>H30.07.14：朝日放送テレビ「おはよう朝日土曜日です『西日本豪雨を受けて』（7時台約10分生放送）（スタジオ解説）。</p> <p>H30.07.31：産経、日経、毎日、朝日、読売、共同通信「ブロック塀倒壊 第三者委初会合」</p> <p>H30.07.31：NHK、MBS「ブロック塀倒壊 第三者委初会合」</p> <p>H30.09.01：NHK ラジオ（全国）「防災ラジオ2018」（13:05～15:55）（大阪北部地震に関するコメント）。</p> <p>H30.10.27：読売テレビ、「『防災総点検』シンポで活発な討論 関大」（関西大学でもそこまで言って委員会）</p> <p>H30.10.29：日経新聞「ブロック塀倒壊は耐力不足 大阪北部地震で第三者委」</p> <p>H30.10.29：朝日新聞「地震で倒壊ブロック塀「施工不良と腐食が原因」市報告」</p> <p>H30.10.29：毎日新聞「＜大阪北部地震＞ブロック塀倒壊答申「踏み込み不足」批判も」</p> <p>H30.10.29：産経新聞「大阪北部地震のブロック塀倒壊、原因は施工不良 高槻の女児死亡、第三者委答申」</p> <p>H30.10.29：時事通信「ブロック塀倒壊は施工不良＝女児死亡事故で報告書——大阪府高槻市」</p> <p>H30.10.29：NHK 関西ニュースウェブ「ブロック塀事故 原因は施工不良」（その他、ニュース シブ5時）</p> <p>H30.10.29：日テレ NEWS24「ブロック塀倒壊 内部の施工不良が主な原因」</p> <p>H30.10.29：ABC テレビ「地震 高槻ブロック塀倒壊「すべて撤去を…」」</p> <p>H30.10.29：MBS「ブロック塀倒壊事故 第三者委“強度極端に弱く、鉄筋も腐食”」</p> <p>H30.10.29：ABC テレビ「地震 高槻ブロック塀倒壊「すべて撤去を…」」</p> <p>H30.10.29：関西テレビ「『すべてブロック塀を撤去すべき』と答申、高槻市小学校のブロック塀倒壊死亡事故の調査委員会」</p> <p>H30.11.05：毎日新聞「死亡事故受け高槻市が公共施設から全面撤去へ」</p> <p>H30.11.05：テレビ大阪「大津波に備えて防災訓練 やさしいニュース」（16：45～）（津波に関するコメント）</p> <p>H30.11.05：毎日新聞「死亡事故受け高槻市が公共施設から全面撤去へ」</p> <p>H30.11.08：NHK ラジオ「関西ラジオワイド 防災コラム『ブロック塀倒壊の再発防止』（17時台約10分）</p> <p>H30.11.22：日経アーキテクチュア「ブロック塀倒壊は「施工不良」～大阪北部地震の死亡事故、「点検では見抜けず」と結論」、pp.10-13、取材協力。</p> <p>H30.12.05：朝日新聞「二度と事故を起こさない、問題を解決するには「すべて撤去するしかない。」朝刊3面。</p> <p>H30.12.06：朝日新聞「命が失われる前に、そして、「脅しの防災」から脱却したい。」朝刊3面。</p>

■ 桑 名 謹 三

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 原子力損害賠償責任保険の収支構造の問題 点：自賠責保険との定量的比較にもとづく 考察	単著	2018年3月	関西大学社会安全学 部	社会安全学研究 8, P 55-70 (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 強制保険を用いた公共政策におけるモラル ハザードについて 被保険者の資産制約と保 険金の効果を考慮した分析	単独	2018年7月15日	法と経済学会	法と経済学会 第16回全国大会、於関西 大学
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本保険学会 日本公共政策学会 日本経済政策学会 環境経済・政策学会 環境法政策学会 環境科学会 法と経済学会 PL 研究学会 日本私法学会				

研究業績

■ 河野和宏

発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(著書) 基礎から学ぶ情報処理 改訂版	分担執筆	2018年3月	培風館	榎原博之編著. 私は、「情報のセキュリティ (P87-106)」を担当した.
(分担執筆著書) 第2章 科学技術の発展と人間社会	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, P16-29, 辛島恵美子, 西村弘, 河野和宏
Advancement in Science and Technology and Human Societies	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, P15-26, E. Kanoshima, H. Nishimura, K. Kono
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 時空間の連続性を考慮した映像改ざん検出	共同	2018年3月5日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2017-81, P23-28, 奄美市名瀬公民館 (吉田崇晃, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
「特別の教科 道徳」の内容の分析と小学生向け情報モラル教育ツールの設計	共同	2018年3月21日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2018年総合大会, D-15-28, P160, 東京電機大学 (片山知明, 河野和宏) (査読なし)
編曲が与える感情的印象に関する一検討	共同	2018年3月21日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2018年総合大会, H-2-11, P187, 東京電機大学 (浅海真, 河野和宏) (査読なし)
大学生に対する違法動画視聴の防止対策に関する一検討～不正のトライアングル理論と状況的犯罪予防論からの検討～	単独	2018年8月14日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, SSS2018-15, P9-12, 京都市サーチパーク1号館 A会議室 (査読なし)
形態素解析と文法圧縮を利用した日本語テキストに対する圧縮手法の一検討	共同	2018年9月21日	電子情報通信学会	第17回情報科学技術フォーラム (FIT2018), A-020, P113-114, 福岡工業大学 (中村久美, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
時系列情報を持つ畳み込みニューラルネットワークを用いた映像改ざん検出	共同	2018年11月21日	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, EMM2018-71, P49-52, ホテルこうしゅうえん (大城将健, 河野和宏, 馬場口登) (査読なし)
Passive Video Forgery Detection Considering Spatio-Temporal Consistency	共同	2018年12月14日	Springer	14th International Conference on Information Assurance and Security (IAS 2018), 10 pages, The School of Engineering of the Polytechnic Institute of Porto (Kazuhiro Kono, Takaaki Yoshida, Shoken Ohshiro and Noboru Babaguchi) (査読あり)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (C)	代表	2018~2020年	800,000円 (2,300,000円)	攻防両視点から学習可能な情報セキュリティ・モラル教育ツールの開発
日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (S)	連携研究者	2016~2020年	0円 (0円)	メディアクローン攻撃を防御するコミュニケーション系
日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (B)	分担研究者	2017~2019年	750,000円 (2,150,000円)	激甚被災地探索を目的とした津波波源推定への機械学習の適用可能性
日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究 (C)	分担研究者	2018~2021年	405,000円 (405,000円)	中国における災害時パニックおよび災害時クレーズの発生要因についての研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 地域安全学会 (ISSS)				

日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM)
(社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM 研), 専門委員 (2016年4月1日～) 大阪連続セミナー, 企業・組織の安全・安心対策「情報セキュリティの罅と対策」(2018年4月27日)
(その他業績として記載を希望する事項) 情報処理安全確保支援士 (登録番号: 015391) 関西大学 IT センター副所長 (~2018年9月)

研究業績

■ 小山 倫 史

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 第6章 自然災害	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.64-80, 林能成, 一井康二, 小山倫史, 高橋智幸
第7章 社会災害	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.81-96, 小山倫史, 小澤守, 中村隆宏, 西村弘, 辛島恵美子
第15章 政府の防災・減災活動	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.193-210, 小山倫史, 奥村与志弘, 安部誠治, 高鳥毛敏雄, 近藤誠司, 城下英行
補章 社会安全学研究の国際的動向	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.267-277, 城下英行, 小山倫史, 亀井克之
Natural Disasters	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.57-71, K. Ichii, Y. Hayashi, T. Koyama, T. Takahashi
Social Disasters and Damages	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.73-86, T. Nakamura, E. Kanoshima, T. Koyama, H. Nishimura, and M. Ozawa
Government Systems for Disaster Management	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.169-184, T. Koyama, S. Abe, S. Kondo, Y. Okumura, H. Shiroshita and T. Takatorige
(学術論文) 無筋橋脚の打継目移動制限装置による地震対策工法の実験的研究	共著	2018年9月	土木学会	坂岡和寛, 大坪正行, 和田一範, 小山倫史, 土木学会論文集A1 (構造・地震工学), Vol.74, No.4 (地震工学論文集第37巻), pp.I_1-I_15, https://doi.org/10.2208/jscejsee.74I_1 (査読有り).
2016年熊本地震による熊本城石垣の変状の分析	共著	2018年7月	自然災害学会	神谷圭祐, 菊本統, 橋本涼太, 桑島流音, 小山倫史, 自然災害科学, Vol.37, 特別号, pp.1-16 (査読有り).
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 不連続面の摩擦測の陰的積分を導入した不連続変形法の開発	共同	2018年1月15~17日	土木学会	橋本涼太, 小山倫史, 菊本統, 第45回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, 土木学会「土木会館」, 東京, pp.303-308 (査読有り).
現地モニタリングに基づく事前道路通行規制区間の解除方法に関する研究	共同	2018年5月16~18日	砂防学会	館野祐一郎, 藤本将光, 小田和広, 小泉圭吾, 小山倫史, 鏡原聖史, 鳥居宣之, 平成30年度砂防学会研究発表会概要集, 米子コンベンションセンター BiG SHIP, 島根, pp.595-596.
市町村レベルでの自然災害リスクGNSの評価	共同	2018年7月4~6日	安全工学会	伊藤和也, 菊本統, 小山倫史, 永松伸吾, 今井龍一, 吉川直孝, 小花隆太郎, 大里重人, 稲垣秀輝, 日下部治, 安全工学シンポジウム2018, 日本学術会議, 東京 (査読有り).

ブレア・ヴィヘア寺院第三ゴープラにおける地盤調査と3次元計測による変状分析	共同	2018年7月6～8日	文化財保存科学会	桑島流音, 小山倫史, 橋本涼太, 岩崎好規, 福田光治, 石塚光雅. 日本文化財科学会第35回大会研究発表要旨集, 奈良女子大学, 奈良, pp.20-21.
熊本地震前後の熊本城の城郭石垣の変状分析——宇土櫓を例として	共同	2018年7月6～8日	文化財保存科学会	小山倫史, 桑島流音, 神谷圭祐, 菊本統, 橋本涼太. 日本文化財科学会第35回大会研究発表要旨集, 奈良女子大学, 奈良, pp.66-67.
福井市高須町におけるOSVを活用した土砂災害に対する防災活動について——住民参加型の防災活動(その1)——	共同	2018年7月24～26日	地盤工学会	小山倫史, 近藤誠司, 芥川真一, 小林泰三, 佐藤毅, 中田勝行, 下嶋一幸. 第53地盤工学研究発表会講演概要集, サンポートホール高松, 高松市, 香川, pp.301-302.
福井市高須町におけるOSVによる斜面モニタリングの試み——住民参加型の防災活動(その2)——	共同	2018年7月24～26日	地盤工学会	佐藤毅, 芥川真一, 小山倫史, 小林泰三, 中田勝行, 下嶋一幸. 第53地盤工学研究発表会講演概要集, サンポートホール高松, 高松市, 香川, pp.303-304.
ブレア・ヴィヘア寺院第三ゴープラにおける石積構造物の変状分析	共同	2018年7月24～26日	地盤工学会	桑島流音, 小山倫史, 橋本涼太, 岩崎好規, 福田光治, 石塚光雅. 第53地盤工学研究発表会講演概要集, サンポートホール高松, 高松市, 香川, pp.39-40.
アンコール遺跡ラテライトとエコチップ	共同	2018年7月24～26日	地盤工学会	福田光治, 岩崎好規, 本郷隆夫, 小山倫史, 桑島流音, 中川武, 新谷真人, 石塚充雅, 山田俊亮. 第53地盤工学研究発表会講演概要集, サンポートホール高松, 高松市, 香川, pp.41-42.
石垣の地震時安定性に対する鉛直動の影響に関する基礎的研究	共同	2018年7月24～26日	地盤工学会	末岡知紘, 橋本涼太, 菊本統, 小山倫史. 第53地盤工学研究発表会講演概要集, サンポートホール高松, 高松市, 香川, pp.37-38.
サクシジョンの現地計測結果に基づく粒子フィルタによる土壌水分特性パラメータの推定	共同	2018年7月24～26日	地盤工学会	藤本彩乃, 伊藤真一, 小田和広, 小泉圭吾, 横川京香, 鳥居宣之, 藤本将光, 小山倫史. 第53地盤工学研究発表会講演概要集, サンポートホール高松, 高松市, 香川, pp.2023-2024.
3次元レーザースキャナを用いた熊本城城郭石垣における変状分析——平櫓を事例として	共同	2018年8月29～31日	土木学会	桑島流音, 小山倫史, 神谷圭亮, 菊本統, 橋本涼太. 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, 北海道大学, 札幌市, 北海道, pp.379-380.
地理空間情報を用いた拡張版GNSによる大阪府内の市区町村間での自然災害曝露量の検討	共同	2018年8月29～31日	土木学会	向井友亮, 小山倫史, 伊藤和也, 菊本統. 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, 北海道大学, 札幌市, 北海道, pp.279-280.
GNSを用いた近畿地方の市町村の災害リスク分析	共同	2018年8月29～31日	土木学会	梶谷姿和, 向井友亮, 小山倫史. 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, 北海道大学, 札幌市, 北海道, pp.281-282.
平成28年(2016年)熊本地震による熊本城石垣の変状の分析	共同	2018年8月29～31日	土木学会	神谷圭亮, 菊本統, 橋本涼太, 桑島流音, 小山倫史. 土木学会第73回年次学術講演会講演概要集, 北海道大学, 札幌市, 北海道, pp.377-378.
無筋橋脚の打継目移動制限装置による地震対策新工法の解析的研究	共同	2018年10月4～5日	土木学会	坂岡和寛, 小山倫史, 橋本涼太. 第38回地震工学研究発表会, 東京, 講演番号: A23-1296
Experimental Study on the Seismic Retrofit of Plain Concrete Piers Using the Movement Restraining Devices for the Construction Joint	共同	2018年10月8～11日	International Federation for Structural Concrete (fib)	Sakaoka, K., Ootsubo, M., Wada, K. and Koyama, T.: 5th International fib Congress, Melbourne Australia, paper ID:No.201, pp.1-12 (査読有り).
Introduction of implicit integration of friction law into numerical manifold method	共同	2018年10月8～11日	ISRM	Hashimoto, R. Koyama, T. and Kikumoto, M. Proc. of the 10th Asian Rock Mechanics Symposium (ARMS10), Singapore (査読有り).

研究業績

山間地域における住民参加型斜面監視・モニタリングシステムの構築	共同	2018年12月14日	地盤工学会	小山倫史, 近藤誠司, 小林泰三, 芥川真一, 佐藤毅, 中田勝行, 下嶋一幸. 第61回地盤工学シンポジウム発表論文集, JGS会館, 東京, 論文番号5-2, pp.1-8 (査読有り).
(招待講演) ①モニタリング計測における利活用について, ②委員会で実施した計測・評価・伝達の取り組みについて——福井県福井市高須町の事例——	単独	2018年9月10日	地盤工学会関西支部	斜面の動きを知る方法——計測結果の活用方法とその課題——斜面動態モニタリングに基づく斜面安定評価研究委員会成果報告会, 平成30年9月10日, 建設交流館グリーンホール
2016年熊本地震における熊本城城郭石垣の変状およびその分析——宇土櫓を例として	単独	2018年9月12日	土木学会関西支部	地盤工学の知見に基づく歴史的地盤遺跡の保全と活用に関する研究委員会講習会, 平成30年9月12日, 大阪市立大学文化交流センター, 大阪
自然災害リスク評価手法(GNS)の提案およびリスクコミュニケーションを通じた住民参加型の斜面防災活動について	単独	2018年11月29日	特定非営利活動法人地球環境カレッジ活動法人(GEC)	GEC定例講演会, 2018年11月29日, いであ大阪支社, 大阪
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究補助金 基盤研究(B)	分担	2016~2018年	400 (17,680)	斜面内の変形と土壌水分の同時モニタリングに基づく斜面崩壊発生予測
文部科学省科学研究補助金 基盤研究(B)	分担	2016~2018年	300 (17,680)	自然災害安全性指標(GNS)構築のための脆弱性評価の確立と防災戦略への反映
国土交通省近畿地方整備局 新都市社会技術融合創造研究会	分担	2016~2018年	200 (15,000)	事前道路通行規制区間の解除のあり方に関する研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 土木学会 地盤工学会 資源・素材学会 岩の力学連合会 地下水学会 地すべり学会 計算工学会 地域安全学会 文化財保存科学会				
(社会貢献活動) 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会, 委員 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤動力学に関する研究小委員会, 委員 土木学会, 岩盤力学委員会 論文小委員会, 委員 土木学会, 土木学会論文集F2分冊編集小委員会兼地下空間シンポジウム表彰委員会, 委員長 土木学会, 地下空間研究委員会 維持管理小委員会, 委員 国際地盤工学会アジア地域技術委員会 ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia), 委員 地盤工学会, Soils and Foundations, 幹事委員 地盤工学会関西支部, 斜面災害のリスク低減に関する研究委員会, 利活用・教育部会 部会長 International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission), member International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Grouting, member 岩の力学連合会, 電子ジャーナル委員会, 委員 岩の力学連合会, RockNet 委員会, 委員長 国土交通省近畿地方整備局, 道路防災ドクター 国土交通省近畿地方整備局, トンネルアドバイザー 国土交通省近畿地方整備局, 技術スペシャリスト会議 トンネル技術研究会, 委員 近畿建設協会, 土木とAI検討委員会, 副委員長 原子力環境整備促進・資金管理センター, 検討委員会 分野別委員会(地質環境), 委員				

原子力発電環境整備機構 (NUMO), 技術アドバイザー委員会, 委員

(その他業績として記載を希望する事項)

第45回岩盤力学に関するシンポジウム優秀講演論文賞, 受賞 (2018年1月), 演題: 不連続面の摩擦側の陰的積分を導入した不連続変形法の開発

平成29年度「地盤と建設」論文賞, 地盤工学会中国支部, 受賞 (2018年5月), 受賞業績名: カンボジア・アンコール遺跡の石積構造物基礎の支持力特性に関する一考察

【記事掲載】「土砂災害警戒 精度を高めるには」, 産経新聞, 2018年1月16日, 夕刊3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」

【記事掲載】「土砂災害 データ蓄積が必要」, 産経新聞, 2018年4月17日, 夕刊3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」

【テレビ番組コメント】毎日放送「VOICE」, 6月4日放送, 「憤懣本舗」内容「大阪・岸和田市大沢町 梅雨入りが恐ろしい! 土砂崩れおびえる町 故郷を離れる住民も」

【新聞コメント】「丘陵地を造成 地滑り懸念」, 産経新聞, 2018年6月20日, 朝刊3面

【新聞コメント】「雨が上がっても土砂崩れに警戒」, 朝日新聞, 2018年6月21日, 朝刊1面

【記事掲載】「避難行動につなげる情報必要」, 産経新聞, 2018年8月21日, 夕刊3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」

【記事掲載】「AI活用へ学習用データ整備を」, 産経新聞, 2018年11月20日, 夕刊3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」

【記事掲載】「山間集落 防災力向上へ 高須町 関西大チームが実践調査」, 福井新聞, 2018年12月7日, 朝刊21面

■ 近藤 誠 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 第3章 現代社会とリスク	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.30-39, 土田昭司・越山健治・近藤誠司
第12章 リスクコミュニケーション	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.147-161, 近藤誠司・城下英行・広瀬幸雄
第15章 政府の防災・減災活動	共著	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.193-210, 安部誠治・奥村与志弘・小山倫史・近藤誠司・城下英行・高鳥毛敏雄
Contemporary Societies and Risk	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.27-36, S. Tsuchida, S. Kondo, K. Koshiyama.
Risk Communication and Disaster Information	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.129-140, S. Kondo, Y. Hirose, H. Shiroshita.
Government Systems for Disaster Management	共著	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.169-184, T. Koyama, S. Abe, S. Kondo, Y. Okumura, H. Shiroshita, T. Takatorige.
安全とリスクの心理学 ころがつくる安全のかたち	分担	2018年	培風館	「第6章 災害報道と心理」pp.121-154. (土田昭司編著)
(学術論文) 熊本地震時における知的障害者家庭の実態調査 — 質問紙調査の分析結果から —	共著	2018年	自然災害学会	「自然災害科学」, vol.37-3, pp.255-266. 近藤誠司・汐瀬拓馬 (査読有)
山間地域における住民参加型斜面監視・モニタリングシステムの構築	共著	2018年	地盤工学会	小山倫史・近藤誠司・小林泰三・芥川真一・佐藤毅・中田勝行・下嶋一幸 (査読有)
熊本地震時における外国人留学生の情報取得行動	共著	2018年	関西大学社会安全学部	「社会安全学研究」第9巻, 研究ノート, 近藤誠司・平山彩彩, (査読なし)
(その他, 論考・研究資料等) 災害報道における遺体画像の取り扱いに関する実態調査	単著	2018年7月	高橋信三記念放送文化振興基金	平成29年度助成事業成果報告書, pp.31-32.
災害メモリアルアクション2018 報告書 集める・伝える・活かす	共著	2018年	災害メモリアルアクション KOBÉ 企画委員会	「チーム CREDO」 pp.20-22. 「チーム SKH」 pp.23-25.
大阪北部地震 大学生が有する被災地イメージ調査 (速報版)	単独	2018年	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部ウェブサイト 災害調査報告「2018年大阪北部地震に関する調査報告」
折り紙ダルマ交流支援プロジェクト	単独	2018年8月	関西大学地域連携センター	関西大学地域連携事例集 2017, Vol.4, p4.
来るべき巨大災害に立ち向かう ~いのちを守る情報力~	単独	2018年8月	大阪国際サイエンスクラブ	大阪国際サイエンスクラブ会報 No.254, pp.1-6.
校内放送を基軸とした持続的な防災まちづくり活動 ~神戸市長田区真陽用学校区の挑戦~	単独	2018年8月	日本防火・防災協会	「地域防災」, No.21, pp.30-31.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 計画策定をめぐる連携と連帯——トロッコ列車問題を援用した基礎的考察——	単独	2018年3月3日	地区防災計画学会	第4回大会, 於・高知県立大学永国寺キャンパス (近藤誠司)

地区防災計画策定作業を通じた住民の意識変容 — 草津市山田学区におけるアンケート調査から —	共著	2018年3月3日	地区防災計画学会	第4回大会, 於・高知県立大学永国寺キャンパス (中村充博・近藤誠司)
ケーブルテレビ網を活用した防災情報周知策の検討 — 京丹波町質美地域における音声告知放送の実践から —	共著	2018年3月3日	地区防災計画学会	第4回大会, 於・高知県立大学永国寺キャンパス (西村公貴・近藤誠司)
福井市高須町におけるOSVを活用した土砂災害に対する防災活動について — 住民参加型の防災活動(その1) —	共著	2018年7月24-26日	地盤工学会	第53回地盤工学研究発表会講演概要集, サンポートホール高松, 高松市, 香川, pp.301-302. (小山倫史・近藤誠司・小林泰三・芥川真一・佐藤毅・中田勝行・下嶋一幸)
逆ベクトル型防災学習のポテンシャルティ — 和歌山県広川町における実践事例から —	共著	2018年9月8日	日本安全教育学会	第19回大会, 於・國學院大學 (近藤誠司・植竹 遥・石原凌河)
平成29年7月九州北部豪雨における“全員無事集落”の避難行動 ～福岡県朝倉市平榎地区住民の初動実態調査～	単独	2018年10月7日	日本自然災害学会	第37回学術講演会, 於・仙台市中小企業活性化センター (近藤誠司)
原発避難者の長期的な支援策に関する基礎的考察 — “折り紙ダルマ”交流事業が与える効果の分析 —	共著	2018年10月27日	日本災害復興学会	日本災害復興学会10周年記念大会, 於・東京大学本郷キャンパス, (近藤誠司・長谷川奈々)
「興をめぐることばの特性, 変容, 課題 ～復興ワードマップ研究会の報告～	共著	2018年10月27日	日本災害復興学会	日本災害復興学会10周年記念大会, 分科会, 於・東京大学本郷キャンパス, (近藤誠司・宮本 匠・石原凌河・李 勇昕・立部知保里・大門大朗)
限界集落における防災意識向上策の検討 — 福井市高須町・防災瓦版「たかすいかす」の実践 —	共著	2018年10月28日	日本災害情報学会	日本災害情報学会20周年記念大会, 於・東京大学本郷キャンパス, (近藤誠司・小山倫史)
“火の用心”CM キャンペーン効果に関する分析 — 京丹波町ケーブルテレビにおけるアクション・リサーチ —	共著	2018年10月28日	日本災害情報学会	日本災害情報学会20周年記念大会, 於・東京大学本郷キャンパス, (西村公貴・近藤誠司・松尾晃大・芥田慶佑)
廣井賞(社会的功績分野)受賞講演 ローカルメディアの可能性を拓く	単独	2018年10月28日	日本災害情報学会	日本災害情報学会20周年記念大会, 於・東京大学本郷キャンパス, (近藤誠司)
山間地域における住民参加型斜面監視・モニタリングシステムの構築	共著	2018年12月14日	地盤工学会	小山倫史, 近藤誠司, 小林泰三, 芥川真一, 佐藤毅, 中田勝行, 下嶋一幸. 第61回地盤工学シンポジウム発表論文集, JGS 会館, 東京, 論文番号5-2, pp.1-8.
限界集落における防災力向上策 ～福井市高須集落におけるアクションリサーチ～	共著	2018年12月15日	社会貢献学会	第9回大会, 於・東北福祉大学国見キャンパス (小山倫史・近藤誠司)
災害報道のありかたに関する研究 ～科学的な知見の活用手法に着目した分析～	共著	2018年12月15日	社会貢献学会	第9回大会, 於・東北福祉大学国見キャンパス (徐 浩展・近藤誠司)
災害報道従事者の対応力向上策の検討 ～ジレンマ状況に着目したクロスロード分析～	共著	2018年12月15日	社会貢献学会	第9回大会, 於・東北福祉大学国見キャンパス (董 夢然・近藤誠司)
津波避難の呼びかけ方に関する研究 ～テレビ放送のキャスターコメントの検討～	共著	2018年12月15日	社会貢献学会	第9回大会, 於・東北福祉大学国見キャンパス (福本晋悟・近藤誠司)
コンサマトリーな災害リスク観 ～「かもとりごんべえ」の内容分析～	単独	2018年12月15日	社会貢献学会	第9回大会, 於・東北福祉大学国見キャンパス (近藤誠司)
(招待講演) いのちを守る災害情報 — みんなの防災 —	単独	2018年1月31日	大谷学園大学	大谷学園大学人権教育研修会
CATVにおける 防災コンテンツの共同制作 ～地域防災力向上プロジェクト～	共同	2018年2月20日	京丹波町	平成29年度1まち1キャンパス事業報告会 於・京丹波町議場
ぼうさいマイ CREDO ～小さな約束プロジェクト～	単独	2018年2月25日	高槻市城内公民館	地域減災講座「減災ことはじめ みんなで地域のチカラを高めよう」
地域防災, さらなる一歩 — みんなで育てるコミュニティの力 —	単独	2018年3月11日	日吉台コミュニティ協議会	平成29年度 第4回 防災・福祉連絡会 高槻市日吉台コミュニティしんわ会館
偉大な思い出づくり	単独	2018年3月14日	KOBE 虹会	第61回 KOBE 虹会 於・NHK 神戸放送局

研究業績

災害にみる孤独 — みんなって、だれ? —	単独	2018年3月24日	本願寺	シンポジウム「生きづらさの先にある孤独死」 於・京都キャンパスプラザ
近藤ゼミの取り組み紹介	共同	2018年4月21日	関西大学校友会東北福島支部	関西大学校友会東北福島支部総会
不動浜地区防災アンケートについて	単独	2018年5月6日	草津市山田学区不動浜町内会	於・不動浜会館
第6回 危機対応における 情報共有と広報	単独	2018年5月25日	関西大学	関西大学社会安全学部 連続セミナー 企業・組織の安全・安心対策 於・関西大学梅田キャンパス
つながりのかたち	単独	2018年5月26日	茨城県大洗町	日本復興学会10周年記念事業 海と防災 がつなぐ大洗町と黒潮町
学校における防災教育の進め方 ～我が事にする、我々事にする～	単独	2018年6月29日	京都府教育委員会	平成30年度学校安全教室指導者講習会 於・ルビノ京都堀川
災害情報でいのちを守るために	単独	2018年7月19日	NHK 大阪放送局	NHK 災害報道勉強会 於・NHK 大阪放送局
人々の安全を科学する ～見て、話す（災害情報）～	単独	2018年8月6日	関西大学	社会安全学部セミナー2018
災害に立ち向かうために 福祉のチカラを防災に生かす知恵と工夫	単独	2018年8月21日	京丹波町	平成30年度 福祉教室及び災害から住民を守る事業 於・京都府京丹波町道の駅「和」 道路情報センター伝統芸能常設館
防災力アップ サバイバル情報術	単独	2018年8月25日	関西大学	関西大学サマーキャンパス特別講義 於・関西大学社会安全学部
災害時要援護者の支援を考える ～福祉力と防災力の向上～	単独	2018年8月27日	高槻市	平成30年度 災害時要援護者支援事業講演会 於・高槻市総合センター
地域防災力を高めるために ～ みんなが、みんなで～	単独	2018年9月11日	京丹波町	平成30年度 京丹波町区長会全体研修会
大阪北部地震に関する聞き取り調査報告	単独	2018年9月22日	日吉台コミュニティ協議会（コアティ）	於・コアティマンション集会室
災害列島・日本 災害情報学の新機軸 みんなのいのちを守るために	単独	2018年10月14日	関西大学校友会	平成30年度関西大学校友総会 於・関西大学BIG ホール100
地域防災力を向上するために ～みんなが、みんなで～	単独	2018年10月20日	高槻市芝谷中学校 PTA	芝谷中学校区 PTA 人権問題学習会 於・日吉台小学校
災害情報と防災行動 ～巨大災害に立ち向かうために～	単独	2018年10月23日	兵庫県	平成30年度 ひょうご講座2018 兵庫県会館
いのちを守る災害情報 ～災害多発時代を生き抜く知恵～	単独	2018年11月23日	東京オトナ大学（JR 東日本）	於・ステーションカンファレンス東京
災害多発時代を知る ～みんなが、みんなで～	単独	2018年11月24日	伊丹市	伊丹市立中央公民館 伊丹市防災訓練関連事業
ほうさいマイ CREDO ～小さな約束プロジェクト～	単独	2018年12月1日	伊丹市	伊丹市立中央公民館 伊丹市防災訓練関連事業
地域で取り組む 安全・安心なまちづくり	単独	2018年12月14日	高槻市	平成30年度 災害時要援護者支援事業講演会（パート2）、於・高槻市総合センター
みんなで、ほうさい！ きがるーちんのススメ	単独	2018年12月16日	尼崎市難病患者団体連絡協議会	第20回尼難連講演交流会 要援護者災害支援シンポジウムIV
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C)・17K00471	代表	2017年度～ 2019年度	910千円	地域防災活動を推進するローカルメディアの創発
京都府「1まち1キャンパス事業」	代表	2016年度～ 2019年度	450千円	CATVにおける防災コンテンツの共同制作による地域防災力向上支援プロジェクト
日本自然災害学会 緊急災害調査補助	代表	2017年度	200千円	九州北部豪雨 全員無事集落の避難行動調査

社会安全学研究 第9巻

特別奨励研究	代表	2018年度	300千円	限界集落における防災意識の向上策に関する研究
尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業	代表	2018年度	100千円	難病患者・障害児者の防災力向上プロジェクト
日本災害復興学会研究会設置助成	代表	2018年度	300千円	復興ワードマップ研究会
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会(編集委員)				
日本災害復興学会(編集委員)				
地区防災計画学会(幹事)				
日本安全教育学会				
日本グループ・ダイナミックス学会				
日本質的心理学会				
社会貢献学会(理事)				
(社会貢献活動)				
兵庫県「災害メモリアルアクション」企画委員				
神戸市「子育て世代」防災啓発プロジェクト検討会委員				
京都大学防災研究所・地震予知研究センター運営協議会委員				
(報道)				
2018.1.10. FM草津 (Happy BOUSAi) 「レッツ・クロスロード」				
2018.1.18. 日本経済新聞「防災教育、未災者が担う 若者自ら学び伝える」				
2018.1.24. FM草津 (Happy BOUSAi) 「阪神・淡路大震災23年」				
2018.1.27. OBCラジオ (プチちょこっとほうさい) 「だるま1000プロジェクト 福島だるま祭り訪問の報告」				
2018.2.14. FM草津 (Happy BOUSAi) 「大寒波にご用心」				
2018.2.22. NHKラジオ (防災こらむ) 「福島だるま折り紙プロジェクト」				
2018.2.23. 京都新聞「CATVで防災意識向上 京丹波で研究 関大生が報告」				
2018.2.24. OBCラジオ (プチちょこっとほうさい) 「救命ホイッスルの知見 総まとめ」				
2018.2.28. FM草津 (Happy BOUSAi) 「クロスロード第二弾」				
2018.3.11. 京都新聞「だるま折り紙で相互交流 復興へ 心の支援に重点」				
2018.3.14. FM草津 (Happy BOUSAi) 「春の火災予防！」				
2018.3.18. ラジオ関西「サンデー神戸 神戸・魅力人」				
2018.3.28. FM草津 (Happy BOUSAi) 「交通安全に注意しよう」				
2018.3.31. OBCラジオ (プチちょこっとほうさい) 「最終回 被災地における非常食調査の報告」				
2018.4.6. FM草津 (マイたうん草津) 「Happy BOUSAi パワーアップした新シリーズのPR」				
2018.4.7. OBCラジオ (あんぜん・あんしん・アンサンプル) 「シリーズの説明, 社会安全学部の紹介, 近藤ゼミの紹介」				
2018.4.11. FM草津 (Happy BOUSAi) 「自己紹介&キャッチフレーズ」				
2018.4.14. OBCラジオ (あんぜん・あんしん・アンサンプル) 「ケーブルテレビと協働した防災普及啓発プロジェクト」				
2018.4.21. OBCラジオ (あんぜん・あんしん・アンサンプル) 「災害時要配慮者の支援を考える 尼崎市と高槻市での取り組み」				
2018.4.23. 福島民友新聞「県内ボランティア貢献に感謝」				
2018.4.24. 日刊放送ジャーナル「関大、社会安全学部でコーナー企画 ラジオ大阪で1年間の情報発信スタート」				
2018.4.25. FM草津 (Happy BOUSAi) 「クロスロード 避難所で取材を受ける？」				
2018.4.27. 河北新報社「平時から啓発報道を メディアの役割議論」				
2018.4.28. OBCラジオ (あんぜん・あんしん・アンサンプル) 「福島県双葉町のみなさんと交流する「折り紙だるま」プロジェクト」				
2018.4.30. 週刊イマドキ学生新聞「防災意識高めて 関大生がラジオに出演」				
2018.5.1. 本願寺新報「孤独死から社会見直す」				
2018.5.2. 福島民報社「復興活動を表彰 関西大学」				
2018.5.9. FM草津 (Happy BOUSAi) 「クロスロード 避難所にペットを連れていく？」				
2018.5.15. 産経新聞「防災耳より情報 関大生 ラジオで情報発信」				
2018.5.23. FM草津 (Happy BOUSAi) 「豪雨災害に備える」				
2018.5.23. プームスポーツ「社会安全学部 OBCで情報発信」				
2018.5.25. 関大FACEBOOKページ「【社会連携ニュース】関大生がラジオ放送を通して、安全・安心について発信します！」				

研究業績

- 2018.5.30. OBC ラジオ（高岡美樹のべっぴんラジオ）「あんぜん・あんしん・アンサンプルのシリーズ紹介」
- 2018.6.7. 読売新聞「災害時の約束、写真集に」
- 2018.6.13. FM 草津（Happy BOUSAi）「クロスロード 災害時のプライバシーの問題」
- 2018.6.18. NHK 関西ラジオワイド「大阪北部地震」
- 2018.6.18. NHK ラジオ（ニュース）「大阪北部地震」
- 2018.6.19. NHK ラジオ（関西ホットライン）「大阪北部地震 高槻は今」
- 2018.6.25. NHK 関西ラジオワイド「大阪北部地震から1週間」
- 2018.6.27. FM 草津（Happy BOUSAi）「大阪北部地震について」
- 2018.6.28. NHK 関西ラジオワイド（防災こらむ）「3つの福から大阪北部地震を考える」
- 2018.7月. 広報京丹波 No.153 安心ほっと便り series 1
- 2018.7月. Reed Kansai University News Letter「社会安全学部がラジオ放送スタート！」
- 2018.7.9. NHK マイあさラジオ「豪雨にあった地域の皆さんに対する今後の注意点」
- 2018.7.10. NHK マイあさラジオ「避難生活の注意点」
- 2018.7.11. FM 草津（Happy BOUSAi）「大阪北部地震について」
- 2018.7.12. NHK マイあさラジオ「西予市 豪雨被害の状況」
- 2018.7.13. 福井テレビ「福井地震から70年 地域防災力を高める取り組み」
- 2018.7.15. 朝日中高生新聞「災害情報 冷静にキャッチ！」
- 2018.7.25. FM 草津（Happy BOUSAi）「知って役立つ防災アプリ」
- 2018.7.25. 京都新聞「京丹波町ケーブルTV制作CM 全国優秀賞」
- 2018.7.26. NHK（中国地方）ひるまえ直送便「今後、気を付けるべきこと」
- 2018.7.27. NHK（中国地方）中国！ちゅーもく！ラジオ「豪雨災害について」
- 2018.8.1. 朝日新聞「豪雨災害 十分だったか」
- 2018.8.3. 朝日新聞「てんでんこ 九州と豪雨 真相」
- 2018.8.6. NHK マイあさラジオ（私の見方・私の視点）「豪雨災害から1ヵ月」
- 2018.8.8. FM 草津（Happy BOUSAi）「被災地支援のありかたを考える」
- 2018.8.18. NHK マイあさラジオ（私の見方・私の視点）「豪雨災害 確実に避難するために」
- 2018.8.19. NHK マイあさラジオ「台風の注意点」
- 2018.8.22. FM 草津（Happy BOUSAi）「熱中症対策」
- 2018.8.30. 京都新聞「火の用心CM 100本目」
- 2018.8.31. FM 草津（マイたうん草津）「9月1日 防災特番のPR」
- 2018.9.1. FM 草津「防災の日スペシャル みんなのぼうさい！」
- 2018.9月. 広報京丹波 No.155 安心ほっと便り series 2
- 2018.9.3. NHK 防災ラジオ2018「巨大地震 都市での震災にどう備える ～大阪北部地震の教訓とは～」
- 2018.9.4. NHK 関西ラジオワイド「台風21号の注意点」
- 2018.9.6. NHK マイあさラジオ「北海道地震 支援の注意点」
- 2018.9.8. OBC ラジオ（あんぜん・あんしん・アンサンプル）「えふえむ草津の取り組み紹介」
- 2018.9.12. FM 草津（Happy BOUSAi）「おススメ防災情報+防災アンニョンハセヨ総復習」
- 2018.9.13. 読売新聞（月刊大学）「防災 地域で学ぶ ラジオ局から情報発信」
- 2018.9.15. OBC ラジオ（あんぜん・あんしん・アンサンプル）「限界集落での防災支援について」
- 2018.9.20. NHK おうみ発630 しが！防災応援団「大阪北部地震の教訓とは」
- 2018.9.20. NHK 京都「京丹波町と関西大学が防災協定」
- 2018.9.21. 京都新聞「防災番組 安全安心地域まちづくり 京丹波町、関西大学と連携協定」
- 2018.9.21.NHK 大津「しが！防災応援ラジオ 次の震災にどう備える？ 大阪北部地震の教訓とは」
- 2018.9.22. OBC ラジオ（あんぜん・あんしん・アンサンプル）「校内放送を活用した防災学習支援」
- 2018.9.26. FM 草津（Happy BOUSAi）「非常食の最新情報」
- 2018.9.29. OBC ラジオ（あんぜん・あんしん・アンサンプル）「大阪北部地震 マンション被害調査報告」
- 2018.10.1. 日刊ケイサイ「社会安全学部 京丹波町と包括連携協定」
- 2018.10.2. 産経新聞「災害時の知恵 ラジオで紹介 エフエムあまがさきで防災意識発信」
- 2018.10.2. 尼崎経済新聞「尼崎の地元FMで新コーナー「ぼうさいアイアイ」 大学生ら「命守る情報」発信」
- 2018.10.4. FM 尼崎（防災アイアイ）「自己紹介とコーナーのねらい」
- 2018.10.10. FM 草津（Happy BOUSAi）「復興支援ソング勝手にベスト10スピノフ」

<p>2018.10.11. FM 尼崎 (防災アイアイ)「南海トラフ巨大地震の被害想定」</p> <p>2018.10.18. FM 尼崎 (防災アイアイ)「ぐっどもっとカルテの紹介」</p> <p>2018.10.24. FM 草津 (Happy BOUSAi)「知らなきゃ損する停電対策」</p> <p>2018.10.25. FM 尼崎 (防災アイアイ)「防災情報の入手法」</p> <p>2018.11月. 広報京丹波 No.157 安心ほっと便り series 3</p> <p>2018.11.1. FM 尼崎 (防災アイアイ)「余裕避難 4つの要諦」</p> <p>2018.11.8. FM 尼崎 (防災アイアイ)「ご存知ですか 世界津波の日」</p> <p>2018.11.14. FM 草津 (Happy BOUSAi)「暖房器具を安全に使おう」</p> <p>2018.11.15. FM 尼崎 (防災アイアイ)「マンション防災の留意点 大阪北部地震の教訓から」</p> <p>2018.11.22. FM 尼崎 (防災アイアイ)「知って得する停電対策 (1)」</p> <p>2018.11.28. FM 草津 (Happy BOUSAi)「防災あれこれクイズ！」</p> <p>2018.11.29. FM 尼崎 (防災アイアイ)「知って得する停電対策 (2)」</p> <p>2018.12月 市報あまがさき「防災をキーワードに活躍する若者たち」</p> <p>2018.12.5. 毎日新聞「ほうさい甲子園 関大・近藤研究室 大賞」</p> <p>2018.12.6. 読売新聞「防災の知恵発信 FMあまがさき」</p> <p>2018.12.8. 福井新聞「山間集落 防災力向上へ 関大チームが実践調査」</p> <p>2018.12.6. FM 尼崎 (防災アイアイ)「支え合おう、尼崎の福祉と防災」</p> <p>2018.12.7. 福井新聞「山間集落 防災力向上へ 関西大チームが実践調査」</p> <p>2018.12.12. FM 草津 (Happy BOUSAi)「山田学区の取り組み ～全世帯調査の報告～」</p> <p>2018.12.13. FM 尼崎 (防災アイアイ)「尼難連シンポのご紹介」</p> <p>2018.12.13. NHK 京都ニュース630京いちにち「町民テレビで防火・防災」</p> <p>2018.12.20. FM 尼崎 (防災アイアイ)「福井高須集落の知恵」</p> <p>2018.12.26. FM 草津 (Happy BOUSAi)「2018年の災害を振りかえる」</p> <p>2018.12.27. FM 尼崎 (防災アイアイ)「災害列島日本 1年をふりかえる」</p> <p>2018.12.29. OBC ラジオ (あんぜん・あんしん・アンサンブル)「災害列島この1年」</p> <p>2018.12.31. 毎日新聞「メディア駆使し情報伝達 ほうさい大賞 関西大学社会安全学部・近藤誠司研究室」</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>神戸学院大学現代社会学部・学際教育機構 非常勤講師</p> <p>京都府京丹波町と「安全・安心まちづくり」を基軸に据えた包括連携協定を締結</p> <p>復興ワードマップ研究会主宰・KOBЕ 虹会主宰・関西なまずの会世話人</p>
<p>(受賞)</p> <p>平成29年度「1.17防災未来賞・ほうさい甲子園」大学部門・優秀賞受賞</p> <p>関西大学・学長奨励表彰 近藤誠司研究室</p> <p>第23回防災まちづくり大賞・消防庁長官賞</p> <p>防災のための学生福島賞2018・復興大臣表彰</p> <p>関西大学地域連携センター〈地域で活動する若い力〉奨励賞 最優秀賞 校内防災放送プロジェクト～SKH 真陽こども放送局～</p> <p>関西大学地域連携センター〈地域で活動する若い力〉奨励賞 優秀賞 京丹波 CAVT 防災普及啓発プロジェクト</p> <p>日本災害情報学会・廣井賞「社会的功績部門」近藤誠司研究室</p>

研究業績

■ 城下英行

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Governance of Risk, Hazards and Disasters: Trends in Theory and Practice	分担執筆	2018年2月	Routledge	Forino, G., Bonati, S., Calandra, L.M. (Eds). 私は「Is Disaster Education just Knowledge Transmission? Co-learning and Disaster Governance in Japan」(pp.274-287)を担当した.
第1章 社会安全学とは何か	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.3-15, 安部誠治・小澤守・城下英行(本人担当部分抽出不能)
第12章 リスクコミュニケーション	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, 私は, 「3 防災教育」(pp.156-161)を担当した.
第15章 政府の防災減災活動	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, 私は, 「3-3 地方公共団体と防災訓練」(pp.208-209)を担当した.
補章 社会安全学研究の国際的動向	分担執筆	2018年4月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, 私は, 「英語圏」(pp.267-270)を担当した.
What Do Societal Safety Sciences Aim at?	分担執筆	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (Eds), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.3-13, S. Abe, M. Ozawa, H. Shiroshita
Risk Communication and Disaster Information	分担執筆	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (Eds), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.129-140, Y. Hirose, S. Kondo, H. Shiroshita
Government Systems for Disaster Management	分担執筆	2018年12月	Springer	S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (Eds), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.169-184, T. Koyama, S. Abe, S. Kondo, Y. Okumura, H. Shiroshita, T. Takatorige
(その他, 論考・研究資料等) 原子力防災に市民は主体的に関与できるのか? — 防災学から原子力防災を考える —	共著	2018年3月	東海村委託事業	城下英行・佐藤雅彦・高橋潤・家田修(著). 平成29年度原子力と地域社会に関する社会科学的研究支援事業研究成果報告書, 33p.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表(自発表のみ)) How can we tackle black swans through disaster education?	単独	2018年7月17日	International Network of Disaster Studies	Global Conference on the International Network of Disaster Studies in Iwate, Aiiina, Japan.
実施方法の違いが防災学習の効果に与える影響	共同	2018年9月8日	日本安全教育学会	日本安全教育学会第19回横浜大会, 國學院大學横浜たまプラーザキャンパス
継続的な津波避難訓練の成果と課題	単独	2018年10月7日	日本自然災害学会	第37回日本自然災害学会学術講演会, 仙台中小企業活性化センター
人災論を乗り越えるために	単独	2018年10月28日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第20周年記念大会, 東京大学
原子力防災に市民は主体的に関与できるのか? — 原子力防災のための議論の場とは —	単独	2018年12月9日	科学技術社会論学会	科学技術社会論学会第17回年次研究大会, 成城大学
(招待講演(学術的なもの)) Planning and Implementing Disaster Prevention Education: A case of Japan		2018年4月11日	Taiwan Institute of Education for Disaster Preparedness	International Conference on School's Disaster Risk Reduction and Resilience Education in Practice 2018, Mingchuan University Taipei Jihher Campus

(招待講演 (講演会・研修会等)) アクティブ・ラーニングのための防災学習 ——いかに学び合いを生み出すか——		2018年1月22日		平成29年度防災教育を中心とした実践的 安全教育総合支援事業「防災教育関連事 業」成果発表会, 大阪国際交流センター
市民が主役となる防災の学びを考える		2018年3月13日		平成29年度防災講演会, 京都市伏見消防 署
2015年ネパール地震に学ぶこと		2018年6月1日		第5回「震災対策技術展」大阪, コング レコンベンションセンター
泉大津市立学校での防災学習の展開		2018年6月5日		泉大津市防災学習研修会, 泉大津市教育 センター
学校園の危機管理体制の整備		2018年6月26日		平成30年度高槻市学校安全研修, 高槻市 教育センター
避難所運営と防災管理・防災教育		2018年8月23日		平成30年度高槻市立第七中学校校内研修, 高槻市立第七中学校
防災共育の最前線——防災教育から防災共 育へ——		2018年9月21日		衛星都市郡部赤十字奉仕団連合協議会研 修会, 日本赤十字社大阪府支部
災害との付き合い方を再考する		2018年10月14日		大阪難病連学習講演会, エル・大阪
災害発生時の安全対策を進めるために		2018年12月11日		河北及び雄勝・北上地区における学校・ 園と地域等が連携して児童生徒等の安全 を考える研修会, 石巻市立河北中学校
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成29年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (A)	分担	2014年度～ 2018年度	1200千円 (予定)	新しい津波避難支援ツールの開発に関す るアクションリサーチ——巨大想定に挑 む——
文部科学省科学研究費補助金・若手研究 (B)	代表	2016年度～ 2018年度	2300千円	防災の意味を協働構築するための学習プ ログラムの開発研究
以下, フリー記入				
(所属学会)				
日本自然災害学会 (企画委員会 委員)				
日本安全教育学会				
日本災害情報学会				
地域安全学会				
日本地震工学会				
大学教育学会				
科学技術社会論学会				
地区防災計画学会				
Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society				
(社会貢献活動)				
大阪府 安全教育推進委員会 委員長				
泉大津市 防災会議 委員				
泉大津市 セーフコミュニティ推進協議会 委員				
印南町 防災会議 委員				
(その他業績として記載を希望する事項)				
京都大学防災研究所 非常勤講師				
大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター 共同研究員				
一般社団法人 地域原子力防災支援協議会 理事				
和歌山県印南町印南地区津波防災ワークショップ講師 (2018年1月16日, 2018年10月16日, 印南町役場)				
京都大学防災研究所 総合防災セミナー「How can we recognise a black swan as a special bird? The importance of co-learning for DRR」(2018年2月2日, 京都大学防災研究所)				
2018年度関西大学おおさか文化セミナー (前期)「災害に備えるための学び——その理論と大阪での実例——」(2018年5月2日, 関西大学梅田キャンパス)				
大阪市東淀川区BCP運営会議講師 (2018年8月31日, 2018年12月7日, 東淀川区役所)				

研 究 業 績

サイエンスミュージアムDAY2018「防災教育の視点から見る阿武山～市民参画がつくる地震学×減災学～」(2018年11月4日, 京都大学阿武山観測所)

ソーシャル・コミュニケーションリーダー(SCL)養成講座「『関わる』防災教育のデザイン」(2018年12月1日, 関西大学梅田キャンパス)

いわて高等教育コンソーシアム2018年度後期集中講義「危機管理と復興」の「防災教育」(2018年12月22日, 岩手県立大学アイーナキャンパス)

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 第16章 防災・減災・縮災のための民間システム System for Disaster Management in the Private Sector	共著 共著	2018年4月 2018年12月	ミネルヴァ書房 Springer	関西大学社会安全学部、社会安全学入門, pp.211-224, 菅磨志保, 桑名勤三, 永松伸吾, 中村隆宏, 高野一彦 S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.185-187, M. Suga, K. Kuwana, S. Nagamatsu, T. Nakamura, K. Takano.
(その他、論考・研究資料等) コミュニティなき災害における「広域避難者支援」の展開(第2章) JCNは何を目指したのか	単著 単著	2018年3月 2018年12月	文部科学省(科学研究費補助金) 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)	「空間なきコミュニティ」における避難者の生活構造の再編に関する社会学的研究平成26-28年度 科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書(代表:松園祐子, 課題番号26285114), pp.11-19 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)5年検証報告書(2011-2016), pp.43-46.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 多様な主体の連携・協働に基づく被災者支援活動を可能にする「場」の可能性と課題——2016年熊本地震後に開設された連携会議の分析を通じて	共同	2018年3月23日	社会学系4学会連合	第4回東日本大震災研究交流会(社会学系4学会連合), 於・早稲田大学
(招待講演) 都道府県・指定都市社協の有するネットワークの現状と課題 行政とNPO・ボランティア等との連携・協働概論 官民連携の現状と課題(分科会2:「災害時に機能する都道府県域の支援ネットワークとは」報告・総括コメント) 官民連携に基づく被災者支援体制の可能性と課題 災害と市民活動——災害多発時代を乗り越えるために	共同 単独 共同 単独 単独	2018年1月19日 2018年1月22日 2017年6月13日 2018年11月13日 2018年12月13日	全国社会福祉協議会 内閣府 全国災害ボランティア団体支援ネットワーク(JVOAD) 西宮市 名古屋大学	シンポジウム:都道府県域・広域ネットワークの災害対応力を高めるために, 於・新霞ヶ関ビル(千代田区) 行政とNPO・ボランティア等との連携・協働研修会, 於:徳島県防災人材育成センター(板野郡北島町) 災害時の連携を考える全国フォーラム, 於・国際ファッションセンター(墨田区) 平成30年度 西宮市課長第2部研修, 於・西宮市役所(西宮市) 名古屋大学大学院環境学研究科「総合防災論2」
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費(挑戦的萌芽研究)	研究分担者	2018年度~2020年度	230,000円(690,000/6,240,000円)	地域の「受援力」概念構成と応用可能性に関する総合的研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会 地域社会学会 日本都市学会・関東都市学会 日本災害復興学会 日本災害情報学会 地域安全学会 日本自然災害学会				

研 究 業 績

(社会貢献活動)

震災がつなぐ全国ネットワーク 幹事 (平成16年度～現在に至る)

高槻市地域防災会議 委員 (平成24年3月～現在に至る)

特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所 理事 (平成27年12月～現在に至る)

全国社会福祉協議会「都道府県域における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会」委員 (平成28年9月～現在に至る)

東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)「JCN 5 カ年検証事業」評価協力者 (平成29年4月～平成30年12月)

内閣府「防災ボランティア活動の連携・協働に関する検討会」委員長 (平成30年4月～現在に至る)

大阪ボランティア協会「大阪北部地震における『おおさか災害支援ネットワーク (OSN)』成果検証調査」検証協力者 (平成30年11月～現在に至る)

■ 永田尚三

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(分担執筆著書) 第14章 防災・減災・縮災のための公的シ ステム Public Systems for Disaster Management	共著 共著	2018年4月 2018年12月	ミネルヴァ書房 Springer	関西大学社会安全学部, 社会安全学入門, pp.177-192, 高野一彦, 永田尚三, 山崎 栄一, 一井康二 S. Abe, M. Ozawa, Y. Kawata, (eds.), Science of Societal Safety: Living at Times of Risks and Disasters, pp.153- 167, K. Takano, K. Ichii, S. Nagata, E. Yamasaki
(学術論文) マルチハザード型危機管理体制の最新動向 ——日欧比較—— ガラパゴス化するわが国の危機管理——大 災害における危機管理体制について——	単著 単著	6月16日 12月31日	日本公共政策学会 政策研究フォーラム	2018年度日本公共政策学会研究大会報告 論文集, p1-26 改革者1月号, p48-51
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) マルチハザード型危機管理体制の最新動向 危機管理体制の日欧比較	単独 単独	6月17日 10月27日	日本公共政策学会 日本自治体危機管理 学会	日本公共政策学会2018年度第22回研究大 会, 桜美林大学町田キャンパス 日本自治体危機管理学会2018年度第12回 研究大会, 明治大学駿河台キャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費基盤研究(C)	代表	2018年4月1日 -2021年3月31日	1,690千円 (4,420千円)	国民保護行政における専門性の補完体制 の比較研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本行政学会(理事 5月まで) 日本公共政策学会(理事, 学生政策コンペ(一般部門)実施委員長, 学術委員会副委員長, 2020年度研究大会実行委員長) 日本オンブズマン学会(理事) 日本地域政策学会(理事 6月まで) 日本計画行政学会				
(社会貢献活動) 一般社団法人地域原子力防災支援協議会(RASA)理事長				

研究業績書（大学院生）

氏名	著書、学術論文等の名称	分担執筆 単著・共著	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有もしくは査読相当の場合はその旨
【著書】					
<博士3年> 石井 至	外国人観光客を呼ぶ日本の勝ちパターン	単著	2018年 8月	日経BP社	199p
【論文（査読有り）】					
<博士3年> 石井 至	「観光リスクの俯瞰図 ～観光リスクマネジメント詩論～」	単著	2018年 5月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第49号、3.11被災地復興の新たな展開と課題 — 風化を乗り越えて — pp.159-178
初谷 友希	模擬飛行実験における航空機操縦未熟練者の技能習熟度と認知課題成績および自己評価との関連性	共著	2018年 8月	日本プラント・ヒューマンファクター学会	『ヒューマンファクターズ』Vol.23 No.1, P12-29, 初谷友希, 中村隆宏（査読有） 共同研究につき、本人担当部分抽出不可能
【学会発表】					
<博士3年> 久保田 稔	東日本大震災の復興におけるリーダーの在り方についての考察：サーバント・リーダーシップと実践研究	共同	2018年 10月28日	日本災害復興学会	日本災害復興学会10周年記念大会（東京大学 [東京都文京区]）（久保稔・土田昭司）
	A study on Disaster related death associated with the Great East Earthquake in Fukushima Prefecture	共同	2018年 3月13日	Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018（関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市]）（Kubo, M., Tsuchida, S.）
静間 健人	メタ認知が援助要請意図に与える影響	単独	2018年 3月4日	援助要請研究会	2017年度 援助要請研究会（名古屋大学東山キャンパス [愛知県名古屋市]）
	要配慮者の地域防災活動への関与に影響する要因の検討	共同	2018年 8月25日	日本応用心理学会	日本応用心理学会第85回大会（大阪大学吹田キャンパス [大阪府吹田市]）（静間健人・土田昭司）
初谷 友希	Investigation on the relationship between the proficiency of basic flight skill and the cognitive skill, and the self-evaluation of unskilled person: The case of elementary flying training with flight simulator	単独	2018年 3月	The Society for Risk Analysis	SRA Asia Conference 2018, 関西大学
<修士2年> 桑島 流音	プレア・ヴィヘア寺院第三ゴープラにおける地盤調査と3次元計測による変状分析	共同	2018年 7月 6～8日	日本文化財科学学会	日本文化財科学学会第35回大会、奈良、講演番号A-07（桑島流音、小山倫史、橋本涼太、岩崎好規、福田光治、石塚充雅）
	プレア・ヴィヘア寺院第三ゴープラにおける石積建造物の変状分析	共同	2018年 7月 24～26日	地盤工学会	第53回地盤工学研究発表会、（高松大会）、DS-5 遺産建造物および歴史遺跡の保存における地盤工学（桑島流音、小山倫史、橋本涼太、岩崎好規、福田光治、石塚充雅）
	3次元レーザースキャナを用いた熊本城城郭石垣における変状分析-平槽を事例として	共同	2018年 8月 29～31日	土木学会	第4部門「測量・リモートセンシング(3)」, 札幌, 第73回年次学術講演会講演概要集 p.379-380, 講演番号IV-190（桑島流音、小山倫史、神谷圭亮、菊本統、橋本涼太）
<修士1年> 浦山 郁	福島第一原子力発電所の廃炉作業に対する市民のリスク認知構造	単独	2018年 8月31日	日本原子力学会 関西支部	第14回 若手研究者による研究発表会（大阪科学技術センター [大阪府大阪市]）
徐 浩展	災害報道のありかたに関する研究 ～科学的な知見の活用手法に着目した分析～	共同	2018年 12月15日	社会貢献学会	第9回大会、於：東北福祉大学国見キャンパス（徐浩展・近藤誠司）
董 夢然	災害報道従事者の対応力向上策の検討 ～ジレンマ状況に着目したクロスロード分析～	共同	2018年 12月15日	社会貢献学会	第9回大会、於：東北福祉大学国見キャンパス（董夢然・近藤誠司）
福本 晋悟	津波避難の呼びかけ方に関する研究 ～テレビ放送のキャスターコメントの検討～	共同	2018年 12月15日	社会貢献学会	第9回大会、於：東北福祉大学国見キャンパス（福本晋悟・近藤誠司）

【ポスター発表】					
<p><博士3年> 静間 健人</p> <p>The effect of metacognition on help-seeking intentions by the scene imagination method: Preliminary survey in high school students</p> <p>受動的な支援関係から能動的な支援関係へ：被支援者の援助要請に着目して</p> <p>Effect of the housing recovery process on the people who faced damages caused by the Great East Japan</p>	共同	2018年 3月13日	Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018 (関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市]) (Shizuma, T., Tsuchida, S.)	
	単独	2018年 8月6日	地域安全学 夏の学校	夏の学校2018 (人と防災未来センター)	
	共同	2018年 10月3日	Integrated Disaster Risk Management (IDRiM)	The 9th Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management (University of South Wales (USNW)) (Shizuma, T., Motoyoshi, T., Nagamatsu, S.)	
<p><修士1年> 浦山 郁</p> <p>Attitude of Japanese Citizens toward Decommissioning of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: Risk Perception and Trust</p>	共同	2018年 3月13日	Society for Risk Analysis	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018 (関西大学社会安全学部 [大阪府高槻市]) (Urayama, K., Tsuchida, S.)	
【招待講演】					
<p><修士1年> 福本 晋悟</p> <p>民放アナウンサーにとっての気象災害報道～現状と課題～</p>	単独	2018年 3月10日	日本気象予報士会関西支部	日本気象予報士会関西支部勉強会 於・大阪市総合生涯学習センター	
氏名	資金制度・研究費名	役割 (代表/分担)	期間	平成30年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
【競争的資金】					
<p><博士3年> 静間 健人</p> <p>公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団</p>	代表	平成30年度	400	地域防災活動における災害時要配慮者の主体性の構築に関する研究	
<p><修士1年> 福本 晋悟</p> <p>高橋信三記念放送文化振興基金</p> <p>放送文化基金</p>	代表	2018年度	500	津波避難を促す効果的なアナウンスメントに関する研究	
	代表	2018年度	170	大津波警報発表時の初動報道におけるアナウンサーの効果的な声とは	
【以下、フリー記入】					
【所属学会】					
<p><博士3年> 石井 至</p> <p>日本リスクマネジメント学会 ソーシャル・リスクマネジメント学会</p> <p>久保田 稔</p> <p>日本原子力学会 日本災害復興学会 日本リスク研究学会 リスクセンス研究会</p> <p>静間 健人</p> <p>日本社会心理学会 日本応用心理学会 日本災害情報学会</p> <p>初谷 友希</p> <p>日本プラント・ヒューマンファクター学会 ヒューマンインタフェース学会</p> <p><博士2年> 大森 勉</p> <p>日本リスクマネジメント学会 企業価値創造ERM学会</p> <p><修士2年> 桑島 流音</p> <p>地盤工学会 日本文化財科学会 土木学会</p> <p><修士1年> 浦山 郁</p> <p>日本社会心理学会 日本原子力学会</p>					

研究業績書（大学院生）

徐 浩展	社会貢献学会
董 夢然	社会貢献学会
福本 晋悟	日本災害情報学会 社会貢献学会 地区防災計画学会
【社会貢献活動】	
<博士3年>	
石井 至	明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（首相官邸）委員 観光立国推進有識者会議（国土交通省）委員 広域観光周遊ルート（観光庁）検討委員 国立公園満喫プロジェクト（環境省）有識者 観光財源のあり方検討会（観光庁）委員 北海道観光審議会特別委員 釧路市政策アドバイザー 登別市観光大使 函館市観光大使
久保田 稔	福島県南相馬市復興活動支援（南相馬野馬追祭り支援）
【その他業績として記載を希望する事項】	
<博士3年>	
石井 至	日本リスクマネジメント学会 評議員会 副会長 関西大学 非常勤講師（学生生活とリスク）
久保田 稔	東京大学大学院工学系研究科原子力専攻（非常勤講師）
静間 健人	震災問題研究ネットワーク 拡大幹事会 淀川区医師会看護専門学校 看護専門課程（心理学 [非常勤講師]） 大阪保健福祉専門学校 社会福祉科（心理学の基礎, 心理学と心理的支援 [非常勤講師]） 四天王寺大学および四天王寺大学短期大学部（心理学Ⅱ [非常勤講師]）
<博士2年>	
大森 勉	関西大学 非常勤講師（学生生活とリスク）
<修士1年>	
福本 晋悟	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 特別研究調査員

